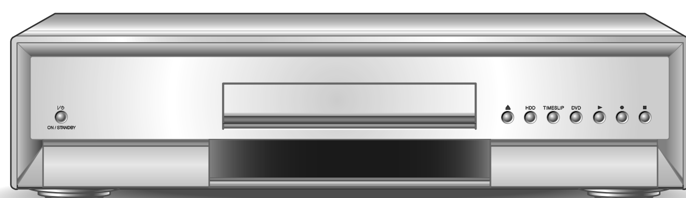
TOSHIBA

東芝 HDD&DVD ビデオレコーダー取扱説明書

形名 RD-Z1

▶ 操作編



●最初に「接続・設定編」をお読みください。







G-CODE® HDMI™









●このたびは東芝 HDD&DVD ビデオレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●お求めの HDD&DVD ビデオレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、大切に保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
●インターネットによるオンライン登録または、同梱されております FAX 用紙によるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス http://room1048.jp/）

本機の特長

地上デジタル放送受信

●地上デジタル放送対応のUHFアンテナを使用することで、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

●BS、110度CSデジタル用アンテナのご使用によって、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。

デジタルハイビジョン画質をそのまま録画

●ハイビジョン画質の美しい映像も、マルチ映像・音声もそのまま録画できます。

番組表機能搭載

●地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組表が表示できます。
●番組表から番組を選んで簡単に録画予約ができます。

豊富な予約録画機能

●番組ナビ……………番組表からお好みの番組を選んで録画予約。
●録るナビ……………録るナビ画面に入力するだけで簡単予約。
●Gコード予約………新聞のテレビ欄や雑誌などに載っているGコード番号を使って簡単予約。(地上アナログ放送のみ)
●ネットdeナビ………パソコンの画面上で録画予約できます。携帯電話からも予約できます。
●スカパー！連動……スカパー!チューナーを本機に連動させて、スカパー!の番組を録画予約できます。

タイムスリップ機能

●放送中の番組をワンタッチで録画してあとから見られる「TVお好み再生」
外出先から予約録画の途中に帰宅したときなど、録画終了を待たずに、録画しながら内容を最初から見られます。
●録画途中の番組でも前に戻って見られる「追っかけ再生」
急な来客などで席をはずさなければならないときなどに便利です。

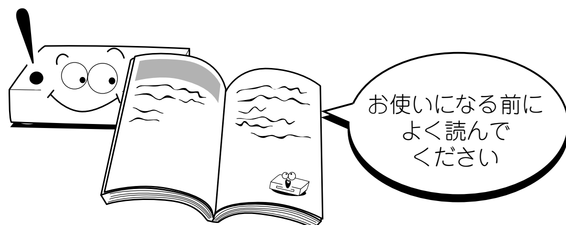
映像ライブラリとして残す

●いつどこへ何を録画したかが検索できる「ライブラリ」機能
たくさんあるディスクを管理できます。

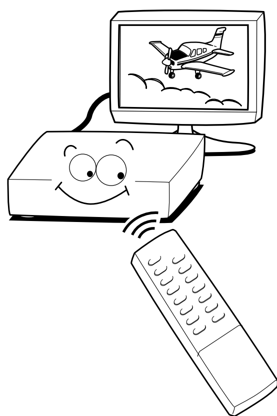
もくじ

はじめに（2ページ～）

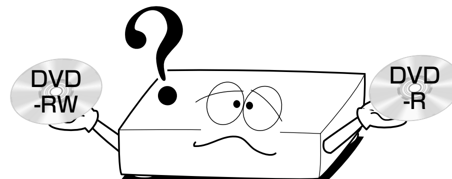
●お使いになる前にお読みください。



番組を楽しむ（19ページ～）



録画の前に（29ページ～）



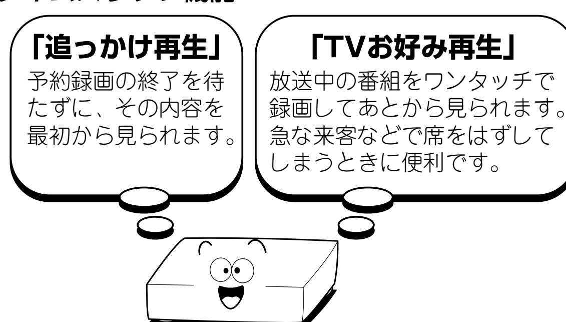
録画（41ページ～）

●豊富な予約録画機能
番組表予約－お好きな番組を選んで楽々予約！
Gコード予約－Gコード入力で簡単予約！



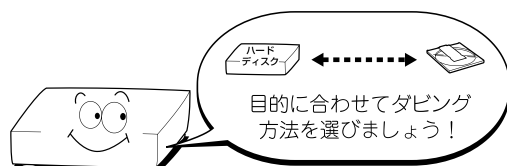
再生（69ページ～）

●タイムスリップ機能



編集（83ページ～）

ダビング（89ページ～）



機能設定（103ページ～）

その他（119ページ～）

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

***1： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。**
***2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。**
***3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。**

■ 図記号の例

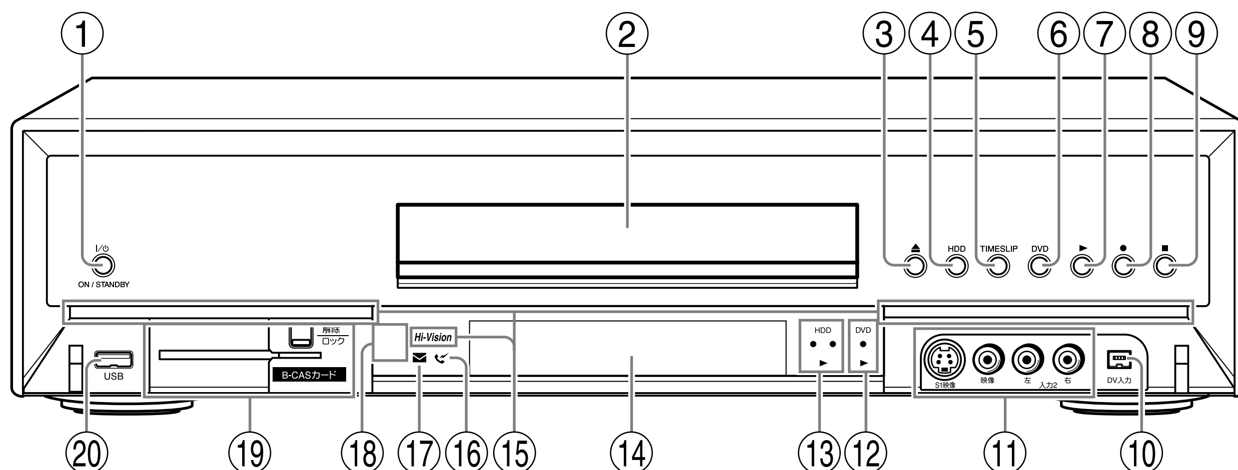
図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

別冊（接続・設定編）の安全上のご注意を必ずお読みください。

各部の名前

くわしくは のページをご覧ください。

前面



① **電源ボタン 13 ページ**
電源を入／待機にします。
入／待機でインジケーターの色が変わります。

② **ディスクトレイ 14 ページ**
DVD ドライブにディスクを入れます。

③ **トレイ開／閉ボタン (▲) 14 ページ**
ディスクトレイを開閉します。

④ **HDD ボタン 37 ページ**
録画／再生するドライブを内蔵 HDD にします。
ドライブが選ばれているときにボタンが点灯します。

⑤ **タイムスリップボタン（TIME SLIP） 72 ページ**
TV お好み再生や、追っかけ再生をします。

⑥ **DVD ボタン 37 ページ**
録画／再生するドライブを DVD にします。
ドライブが選ばれているときにボタンが点灯します。

⑦ **再生ボタン (▶) 77 ページ**
再生を開始します。再生開始するとボタンが点灯します。（表示窓が消灯の設定のときは点灯しません。）

⑧ **録画ボタン (●) 46 ページ**
録画を開始します。録画開始するとボタンが点灯します。（表示窓が消灯の設定のときは点灯しません。）

⑨ **停止ボタン (■) 47 ページ**
再生や録画を停止します。

⑩ **DV 入力端子 66 ページ**
デジタルビデオカメラなどからの映像・音声をダビングするときに使います。

⑪ **入力 2 端子 51 ページ**
カメラ一体型ビデオなどの外部機器から映像・音声をダビングするときに使います。

⑫ **DVD インジケーター**
●：DVD ドライブで録画中に点灯します。
▶：DVD ドライブで再生中に点灯します。

⑬ **HDD インジケーター**
●（左側）：内蔵 HDD でデジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）中に点灯します。
●（右側）：内蔵 HDD で録画中（TS 録画以外）に点灯します。
▶：内蔵 HDD で再生中に点灯します。

⑭ **表示窓 12 ページ**

⑮ **Hi-Vision インジケーター**
現在選ばれている（視聴中・再生中・録画中）の映像の解像度が HD（デジタルハイビジョン画質）の場合に点灯します。左右の扉上部（上図参照）も連動して光ります（表示窓が減光または消灯の設定のときは左右の扉上部は光りません）。

⑯ **通信インジケーター**
電話回線を使用中のときに点灯します。

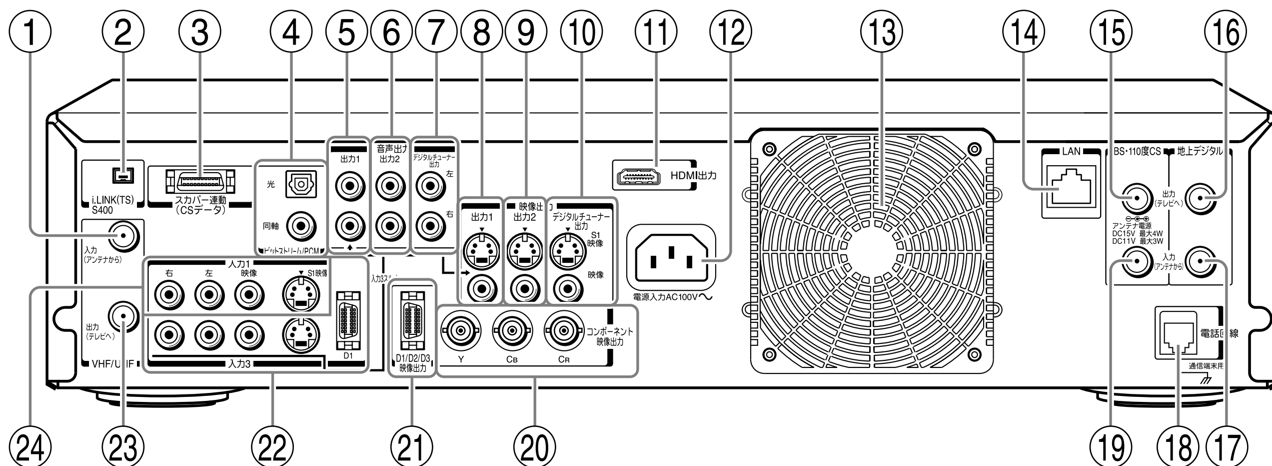
⑰ **お知らせインジケーター 117 ページ**
未読のデジタル放送のお知らせ（放送局からのお知らせ／本機に関するお知らせ）があるときに点灯します。

⑱ **リモコン受光部 接続・設定編 30 ページ**

⑲ **B-CAS カードスロット 接続・設定編 52 ページ**
付属の B-CAS カードを挿入します。

⑳ **USB 端子 接続・設定編 83 ページ**
Bluetooth 通信をする機器を接続します。

背面



① **VHF/UHF 入力端子**
➯接続・設定編 14 ページ
テレビのアンテナ線を接続します。

② **i.LINK（TS）端子** **➯接続・設定編 27 ページ**
D-VHS ビデオデッキの i.LINK 端子と接続します。

③ **スカパー連動（CS データ）端子**
➯接続・設定編 21 ページ
スカパー！チューナーの CS データ端子と接続します。

④ **ビットストリーム／ PCM（光／同軸）端子**
➯接続・設定編 20 ページ

⑤ **出力 1 端子（音声出力）****➯接続・設定編 14 ページ**
テレビや AV アンプに音声信号を出力します。

⑥ **出力 2 端子（音声出力）****➯接続・設定編 14 ページ**
テレビや AV アンプに音声信号を出力します。

⑦ **デジタルチューナー出力端子（音声出力）**
➯接続・設定編 18 ページ
本機で受信しているデジタル放送の音声を出力します。テレビやモニター、ビデオデッキなどの外部機器の音声入力端子と接続します。

⑧ **出力 1 端子（映像出力）****➯接続・設定編 14 ページ**
テレビや AV アンプに映像信号を出力します。

⑨ **出力 2 端子（映像出力）**
➯接続・設定編 14 ページ
テレビや AV アンプに映像信号を出力します。

⑩ **デジタルチューナー出力端子（映像出力）**
➯接続・設定編 18 ページ
本機で受信しているデジタル放送の映像を出力します。テレビやモニター、ビデオデッキなどの外部機器の映像入力端子と接続します。

⑪ **HDMI 出力端子** **➯接続・設定編 19 ページ**
テレビやモニターに映像／音声信号を出力します。テレビやモニターに HDMI 端子があるときに接続します。

⑫ **電源入力端子** **➯接続・設定編 14 ページ**
付属の電源コードを接続します。

⑬ **冷却用ファン**
通風孔をふさがないでください。

⑭ **LAN 端子** **➯接続・設定編 26 ページ**
パソコンなどのネットワークと接続します。

⑮ **BS・110 度 CS アンテナ出力端子**
➯接続・設定編 17 ページ
75Ω 同軸ケーブルで、本機と BS・110 度 CS 対応のチューナーやテレビの BS・110 度 CS アンテナ入力端子と接続します。

⑯ **地上デジタルアンテナ出力端子**
➯接続・設定編 15 ページ
アンテナ線で、地上放送対応のチューナーやテレビのアンテナ入力端子と接続します。

⑰ **地上デジタルアンテナ入力端子**
⇨接続・設定編 15 ページ
UHF アンテナから出ているアンテナ線を接続します。

⑱ **電話回線端子** **⇨接続・設定編 24 ページ**
付属の電話線を接続します。

⑲ **BS・110 度 CS アンテナ入力端子**
⇨接続・設定編 17 ページ
BS・110 度 CS アンテナから出ているアンテナ線を接続します。

⑳ **コンポーネント映像出力端子**
⇨接続・設定編 20 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

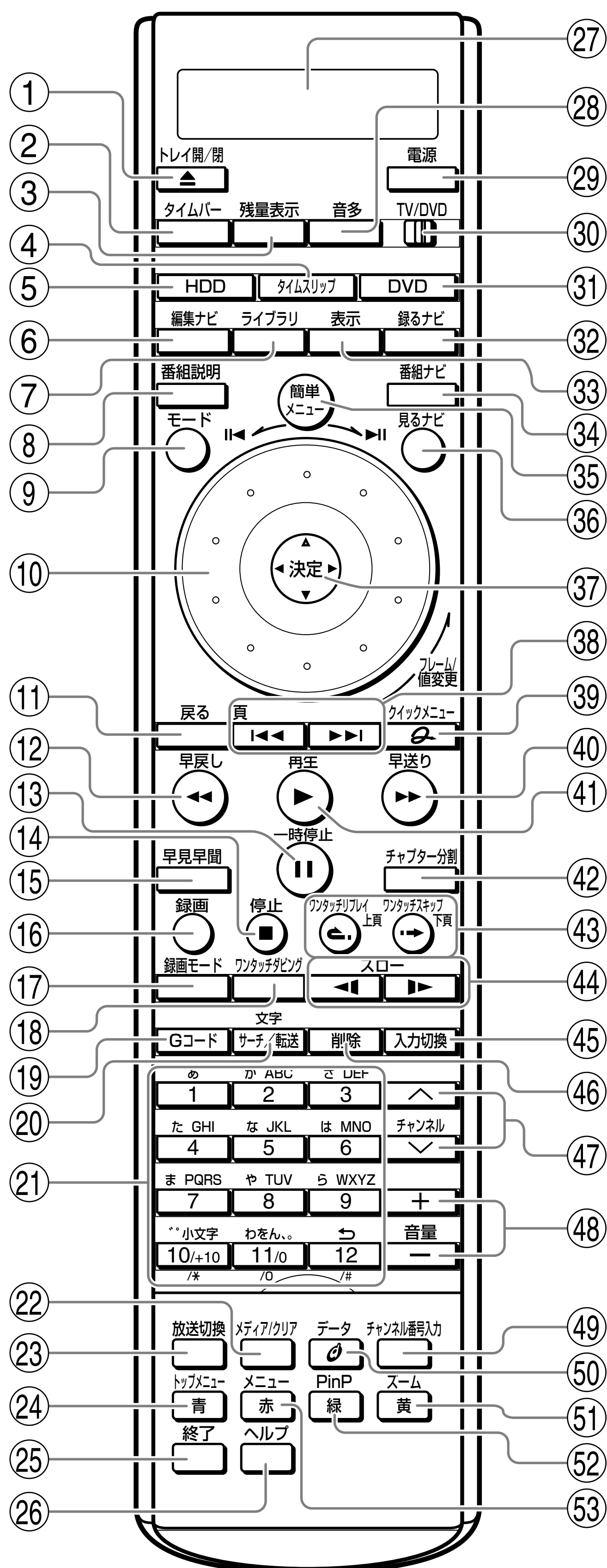
㉑ **D1/D2/D3 映像出力端子**
⇨接続・設定編 20 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターに D1/D2/D3 端子があるときに接続します。

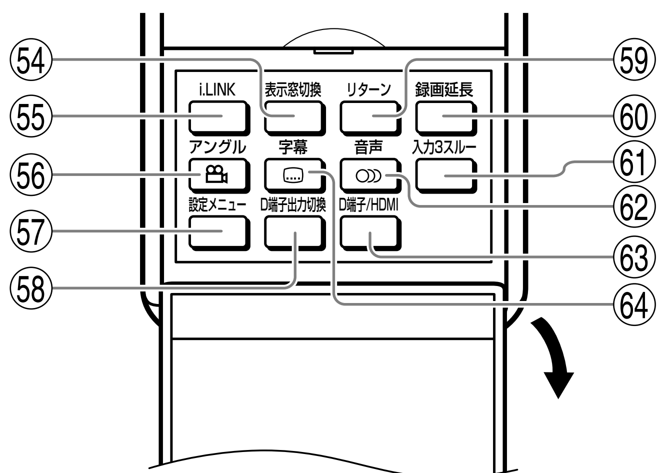
㉒ **入力 3 端子** **⇨接続・設定編 21 ページ**
BS デジタルチューナー、スカパー！チューナーなどの外部機器に接続します。BS デジタルのワイド放送を録画するには、S1 または D1 端子に接続してください。ただし、チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子（黄）で接続している場合は正しく動作しません。

㉓ **VHF/UHF 出力端子** **⇨接続・設定編 14 ページ**
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

㉔ **入力 1 端子** **⇨接続・設定編 21 ページ**
他のビデオデッキ、カメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声入力と接続します。

リモコン


トレイ開/閉
電源
タイムバー
残量表示
音多
TV/DVD
HDD
タイムスリップ
DVD
編集ナビ
ライブラリ
表示
録るナビ
番組説明
番組ナビ
簡単メニュー
モード
見るナビ
決定
フレーム/値変更
戻る
頁
クイックメニュー
早戻し
再生
早送り
一時停止
早見早聞
チャプター分割
録画
停止
ワンタッチリプレイ
上頁
ワンタッチスキップ
下頁
録画モード
ワンタッチダビング
スロー
文字
Gコード
サーチ/転送
削除
入力切換
チャンネル
音量
放送切換
メディア/クリア
データ
チャンネル番号入力
トップメニュー
青
メニュー
赤
PinP
緑
ズーム
黄
終了
ヘルプ


i.LINK
表示窓切換
リターン
録画延長
アングル
字幕
音声
入力3スルー
設定メニュー
D端子出力切換
D端子/HDMI

ふたをあける

① トレイ開／閉 ボタン ⇨14ページ
② タイムバー ボタン ⇨81ページ
③ 残量表示 ボタン ⇨操作ガイド16ページ
④ タイムスリップ ボタン ⇨72ページ
⑤ HDD ボタン ⇨37ページ
⑥ 編集ナビ ボタン ⇨66、86、98ページ
⑦ ライブラリ ボタン ⇨操作ガイド118ページ
⑧ 番組説明 ボタン ⇨24、58ページ
⑨ モード ボタン ⇨58、70、80、92ページ
⑩ フレーム／値変更ジョグダイヤル ⇨60、78ページ
⑪ 戻る ボタン ⇨58、80、87ページ
⑫ 早戻し ボタン ⇨78ページ
⑬ 一時停止 ボタン ⇨14、47ページ
⑭ 停止 ボタン ⇨47ページ
⑮ 早見早聞 ボタン ⇨78ページ
⑯ 録画 ボタン ⇨46ページ
⑰ 録画モード ボタン ⇨37ページ
⑱ ワンタッチダビング ボタン ⇨93ページ
⑲ Gコード ボタン ⇨68ページ
⑳ サーチ／転送 ボタン ⇨68ページ、操作ガイド56ページ
㉑ 番号 ボタン ⇨22ページ
㉒ メディア／クリア ボタン ⇨22、80ページ
㉓ 放送切換 ボタン ⇨22ページ
㉔ トップメニュー ボタン ⇨操作ガイド55ページ[*3]
㉕ 終了 ボタン ⇨106ページ
㉖ ヘルプ ボタン ⇨13ページ
㉗ リモコン表示窓 ⇨68ページ
㉘ 音多 ボタン ⇨24、79ページ
㉙ 電源 ボタン ⇨13ページ
㉚ TV ／ DVD スイッチ ⇨13ページ
㉛ DVD ボタン ⇨37ページ
㉜ 録るナビ ボタン ⇨60ページ
㉝ 表示 ボタン ⇨81ページ
㉞ 番組ナビ ボタン ⇨52、53、56ページ
㉟ 簡単メニュー ボタン ⇨16ページ
㊱ 見るナビ ボタン ⇨70、92ページ
㊲ 方向キー／決定ボタン
- 方向キー：カーソルを動かす ⇨15ページ
  動かしたい方向に倒します。
- 決定ボタン：選んだ内容を決定する ⇨15ページ
  中央部を押します。

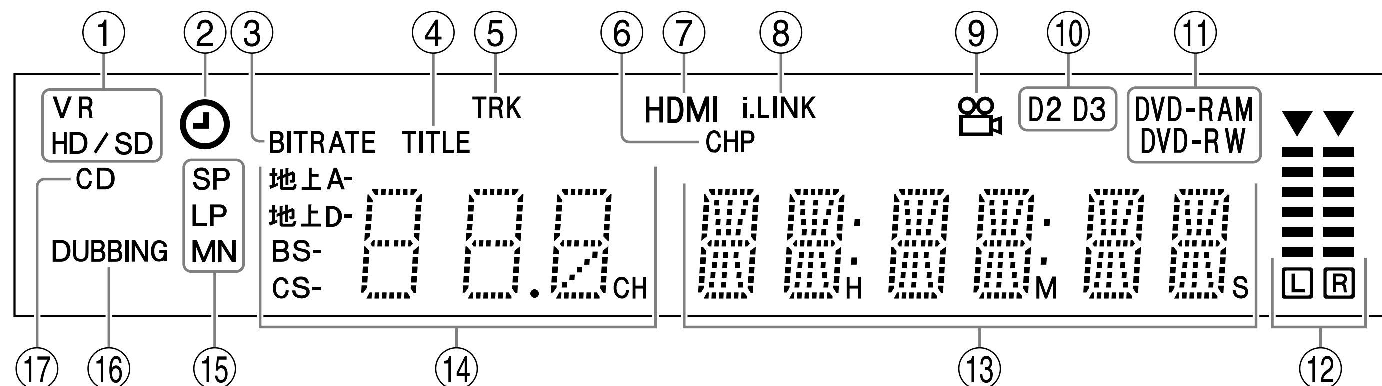
㊳ 頁(ページ) ボタン ⇨70、72、78、92ページ
㊴ クイックメニュー ボタン ⇨15ページ
㊵ 早送り ボタン ⇨78ページ
㊶ 再生 ボタン ⇨77ページ
㊷ チャプター分割 ボタン ⇨47、85ページ
㊸ ワンタッチスキップ ボタン ⇨58、71、78ページ
ワンタッチリプレイ ボタン ⇨58、71、78ページ
㊹ スロー ボタン ⇨78ページ
㊺ 入力切換 ボタン ⇨50、96ページ
㊻ 削除 ボタン ⇨68ページ
㊼ チャンネル ボタン ⇨23ページ
㊽ 音量 ボタン ⇨接続・設定編80ページ
㊾ チャンネル番号入力 ボタン ⇨23ページ
㊿ データ ボタン ⇨24ページ
(51) ズーム ボタン ⇨71、80ページ
(52) P in P ボタン ⇨80ページ
(53) メニュー ボタン ⇨操作ガイド55ページ[*3]
(54) 表示窓切換 ボタン ⇨12ページ
(55) i.LINK ボタン ⇨操作ガイド137ページ
(56) アングル ボタン ⇨25、79ページ
(57) 設定メニュー ボタン ⇨39、40、106ページ
(58) D端子出力切換 ボタン ⇨接続・設定編20ページ
(59) リターン ボタン[*2]
(60) 録画延長 ボタン ⇨操作ガイド15ページ
(61) 入力3スルー ボタン ⇨13ページ
(62) 音声 ボタン ⇨79ページ
(63) D端子／ HDMI ボタン ⇨接続・設定編19ページ
(64) 字幕 ボタン ⇨24、79ページ

[*1] メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使って再生する」(⇨操作ガイド55ページ)と同様の手順で行ないます。
ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

[*2] リターンボタン
市販のソフトディスクで指定された画面に戻ります。
ディスク側の説明書もご覧ください。

[*3] カラーボタン(青／赤／緑／黄)
データ放送などを視聴中、画面上で指示が出たときに使用します。
トップメニューとメニューボタンは、デジタル放送視聴時にはカラーボタンとして機能します。

表示窓



① **録画方式表示** ➪ 32 ページ
現在選ばれている録画方式が点灯します。（再生時にも点灯します。）
- V　：Video モード録画
- VR：VR モード録画
- HD：TS 録画で解像度が HD（デジタルハイビジョン画質）
- SD：TS 録画で解像度が SD（デジタル標準画質）

※ TS 録画できる設定・状態のとき、HD/SD が点灯します。

② **録画予約アイコン表示**
録画予約があるときに点灯します。

③ **ビットレート表示**
録画時設定されたビットレート値、または再生時の実際のビットレート値を表示しているときに点灯します。

④ **タイトル表示**
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

⑤ **トラック表示**
トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑥ **チャプター表示**
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑦ **HDMI 表示** ➪接続・設定編 19 ページ
HDMI 出力を設定している場合に点灯します。

⑧ **i.LINK 表示** ➪接続・設定編 27 ページ
i.LINK 接続が行なわれているときに点灯します。

⑨ **アングルアイコン表示** ➪ 25、79 ページ
マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。

⑩ **D 出力表示** ➪接続・設定編 20 ページ
D 端子／HDMI の D 出力をしている場合に点灯します。（D1 の場合は消灯します。）

⑪ **ディスク表示**
ディスクトレイに入っているディスクの種類が点灯します。

⑫ **音声出力レベルメーター**
音声の出力レベルを表示します。
L＋R　　：ステレオおよび二重放送（主＋副）
L　　　　：左チャンネル（主音声）
R　　　　：右チャンネル（副音声）
L、R 消灯：モノラル
レベルメーター表示はあくまでも目安であり、正確に音量を表示するものではありません。

⑬ **マルチ表示**
現在の時刻、録画予約時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑭ **チャンネル表示**
チャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号、ビットレートなどを表示します。

⑮ **画質モード表示** ➪ 37 ページ
現在選ばれている画質モードが点灯します。ただし、TS（トランスポート・ストリーム＝ HD/SD 画質）の場合は全部消灯します。MN（マニュアル＝任意）／ SP（スタンダード･プレイ＝標準）／ LP（ロング･プレイ＝長時間）／ A1、A2 のときは「MN」「SP」「LP」が同時に点灯します。

⑯ **ダビング表示**
番組のコピーまたは移動中に点灯します。

⑰ **CD 表示**
ディスクトレイに CD が入っているときに点灯します。

■ 表示窓の見かた

表示窓切換　チャンネル表示、タイトル番号、時刻表示など、それぞれの表示をリモコンの「表示窓切換」ボタンで切り換えます。ディスクや録画されている状態によって表示が切り換わらないことがあります。

■ 表示窓の明るさを変えるには

リモコン上の「表示窓切換」ボタンを約 3 秒以上押し続けるごとに表示窓の明るさが切り換わります。

表示窓切換　普通の明るさ ──→ 減光 ──→ 消灯（→ 普通の明るさに戻る）

- 電源を入れ直すと、消灯の設定は解除されます。（減光の設定は解除されません。）

電源を入れる／番組を見る／ディスクを入れる

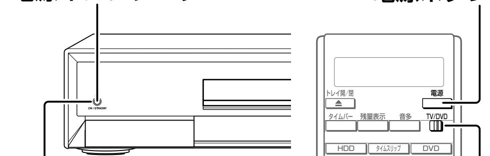
電源を入れる

・テレビの電源を入れて、本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてください。

1



本体またはリモコンの「電源」を押す



電源がはいると、本体の電源インジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
画面右上には、「読込み中」アイコンが表示され本機が使えるまでの準備をしています。



起動・ディスクの読み込み・録画終了時に表示されます。

お知らせ

• お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときには、画面に「自動ダウンロードについて」のメッセージが表示されます。メッセージをお読みになり、リモコンの「ヘルプ」を押して、画面を閉じてください。

電源の切りかた

本体またはリモコンの「電源」を押します。

電源インジケーターが赤に変わり、そのあと電源が切れて待機状態になります。



ディスクの取出し・終了時に表示されます。

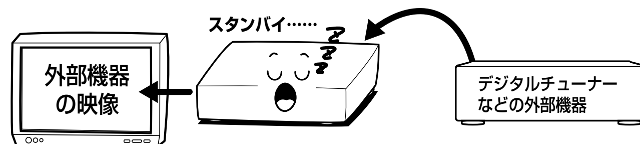
お知らせ

• 本機が操作中に止まってしまい、15 分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった場合は、本体の「電源」を約 10 秒間押し続けると、強制的に電源を切ることができます。ただし、非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用されるときは、十分注意していただくとともに、頻繁に行なわないでください。正常な動作中、特に「読込み中」、「処理中」のアイコンの表示中などに行なうと、ディスクを初期化しなければならなくなる場合があります。

本機を通してテレビを見る

本機の電源がはいったあとは、通常は放映中の映像が接続したテレビに出ています。
番組の選局のしかたについては⇨ 22 ページをご覧ください。

入力 3 スルー機能を使う



デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力 3 端子に接続していると、本機の電源を切った状態（待機状態）でもリモコンの「入力 3 スルー」ボタンを押すだけで、外部機器からの番組が見られます。

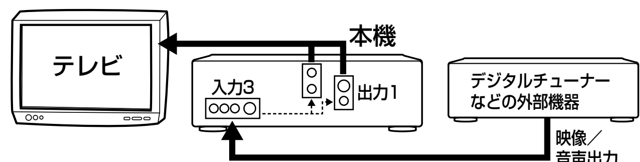
入力3スルー

本機が待機状態でも、接続を変えずに、そのまま見られます。

• 番組選局は、外部チューナー側のチャンネル切換えで行なってください。
• 本機が電源入りの状態で、この機能が働いているときは、本体表示窓に「MONI」が表示されます。
• 入力 3 スルー機能を解除するには、もう一度「入力 3 スルー」を押します。

接続

接続例は、接続・設定編 14、15、21 ページをご覧ください。



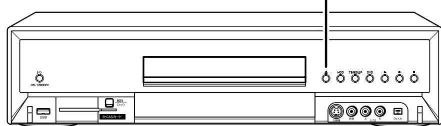
• デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力 3 端子に接続する
• 出力 1 端子とテレビを接続する
• 本機入力 3 端子（S 端子）に外部機器を接続した場合は、必ず本機出力 1 端子（S 端子）とテレビを接続する
• 本機入力 3 端子（映像／黄）と外部機器を接続した場合は、必ず本機出力 1 端子（映像／黄）とテレビを接続する

入力 3 端子と出力 1 端子の接続端子の種類が異なると、本機能が働きませんのでご注意ください。
この機能をお使いのときは、テレビなどの外部機器を必ず出力 1 端子に接続してください。
出力 1 端子以外では、入力 3 端子からの映像信号が白っぽい映像となり、映像出力端子から出力されます。

お知らせ

• 入力 3 の D1 端子からの映像は、この機能が働きません。
•「入力 3 スルー」ボタンを押してこの機能を使うと、本機から「カチッ」と音がしますが、これは異常ではありません。
• 入力 3 端子からの映像を録画中に、入力 3 スルー機能の切換えを行なうと録画画像にノイズが発生します。入力 3 端子からの録画をするときは、「入力 3 スルー」ボタンを押さないでください。
• 本機に接続された外部機器の状態や本機の動作状態によっては、入力 3 スルー機能を使うとノイズが入ったり、音量の低下がおこったりすることがあります。そのため録画をするときは、入力 3 スルー機能を使わないでください。

ディスクの入れかた

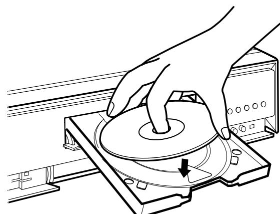




1 本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押す

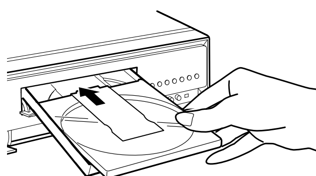


●カートリッジなし



ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

●カートリッジあり



片面ディスク

印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

両面ディスク

記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向け、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

ディスクを入れたら本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押してトレイをとじます。



トレイの引出し時に表示されます。



トレイの収納時に表示されます。

トレイロック機能

ディスクトレイが不意の操作で開かないようにロックできます。



リモコンの「一時停止」を約３秒以上押しつづける

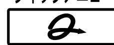
- ロックを解除するときも、停止中に「一時停止」を約3秒以上押しつづけます。
  電源を切ると、ロックは解除されます。

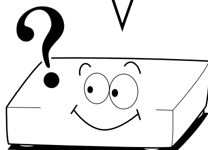
お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護機能によって自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損することがありますのでご注意ください。
- 万一ディスクがトレイから取り出せなくなった場合は、いったん本機の電源を切ります。その後本体またはリモコンの「▲トレイ開／閉」ボタンを押せば、本機の電源がはいってディスクトレイが開くことがあります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は、本取扱説明書の裏表紙に記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出る DVD-RAM を、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので注意してください。
  ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。

クイックメニューの使いかたと状態表示

録画中／再生中など、その状態ごとに関連する機能を表示し、手軽に操作できます。困ったら、まずクイックメニューを出してみてください。







クイックメニューの使いかた

1 「クイックメニュー」を押す

例



クイックメニュー
録画中や再生中などで、その状態ごとに関連する機能の一覧が表示されます。

2 方向キーでメニューを選び、「決定」を押す



画面に表示される方法に従って操作することで、いろいろな機能が使えます。

メッセージが現れたら

操作中、メッセージ画面が表示されることがあります。状況によって内容は異なりますが、おもに以下のように操作してください。



選択項目が二つ

方向キー（◄/►）でどちらかを選んだあと（緑色で選択）「決定」を押してください。
メッセージ画面が消えます。



選択項目が一つ

内容を確認したら「決定」を押してください。
メッセージ画面が消えます。



選択項目なし

自動的に消えます。

状態表示

操作をすると、以下のようなマーク（アイコン）が画面左上に約 3 秒間表示され、動作の状態を示します。

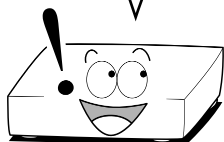
おもな状態表示



- ►：再生
- ❚❚：一時停止
- ■：停止
- ►►：早送り
- ◄◄：早戻し
- ►►❚：進む方向のスキップ（頭出し）
- ❚◄◄：戻る方向のスキップ（頭出し）
- ❚►x1/2：進む方向のスローモーション
- ◄❚x1/2：戻る方向のスローモーション
- ❚❚►：コマ送り
- ◄❚❚：コマ戻し
- ●：録画
- ●❚❚：録画一時停止
- タイトルエンド：タイトルの最後まで再生したときに表示
- ワンタッチスキップ：ワンタッチスキップ
- ワンタッチリプレイ：ワンタッチリプレイ
- チャプター分割：チャプター分割
- 1/20：進む方向の1/20スキップ
- 1/20：戻る方向の1/20スキップ

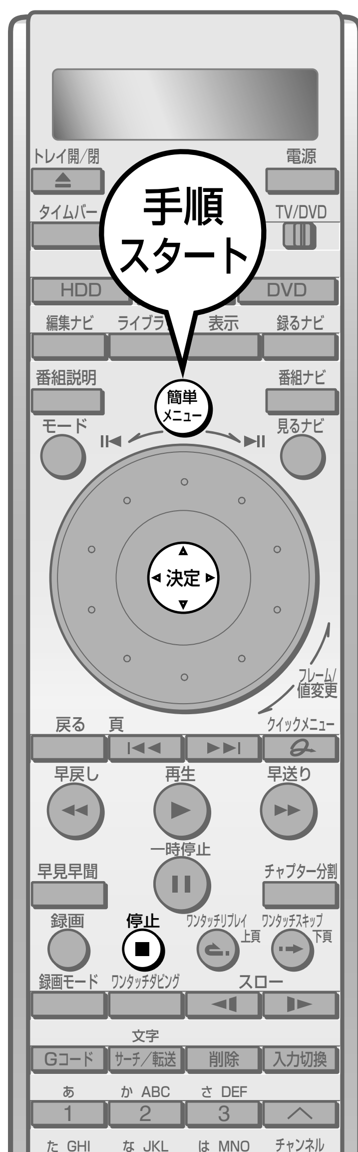
簡単メニューで操作する

操作は「簡単メニュー」から始めると便利です。



準備

- 「TV／DVD」スイッチを「DVD」にします。
- テレビの電源を入れて、本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えます。

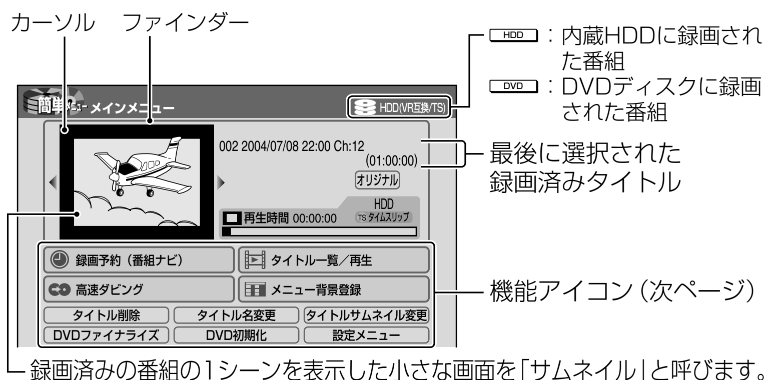


1 「簡単メニュー」を押す

「簡単メニュー」画面が表示されます。

（表示される画面は操作状態で変わります。また音声は聞こえません。）

例：



録画済みの番組の1シーンを表示した小さな画面を「サムネイル」と呼びます。

■ファインダーの使い方

「簡単メニュー」画面を表示したときには、最後に選択されたタイトルのサムネイルが最初に表示されます。
（DVD-R/RW（Video モード）では本機で録画されファイナライズされていないものだけが対象です。）

1) ファインダー上にカーソルがあるときに、方向キー（◀/▶）で選ぶ

録画済みタイトルのサムネイルが表示されます。
（フォルダ機能で施錠されているカギ付フォルダ内のタイトルは表示されません。）

- 表示するドライブを「HDD」、「DVD」で選べます。

※TS録画(TS画質で録画)（32ページ)されたタイトルのサムネイルは表示されない場合があります。

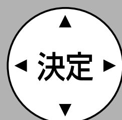
2) ファインダー上で再生したい番組（タイトル）のサムネイルが表示されたら、「再生」または「決定」を押す

選んだ番組の再生が始まります。

※ TS 録画（TS 画質で録画）（32 ページ）されたタイトルは、ファインダー上での再生ができません。

- ファインダー上で再生中に、「決定」を押すと、フルスクリーンで表示されます。
- 再生の操作方法の詳細は、70ページ～をご覧ください。

3) 「停止」を押して再生を止める



■機能アイコンの使いかた

方向キー（▲/▼/◀/▶）で操作したい機能アイコンを選び、「決定」を押す

「番組ナビ」画面になります。番組表を使って録画予約をします。
➡53ページ

残したい番組をダビングします。
➡92ページ



「見るナビ」画面になります。
➡71ページ
（録画済みの番組を一覧表示して再生できます。）

現在の番組のシーンをDVD-Video作成するときのメニュー背景にできます。
➡操作ガイド84ページ

タイトル削除	ファインダー上に表示されている番組を削除します。メッセージで「はい」を選ぶと、その番組を削除します。
タイトル名変更	ファインダー上に表示されている番組のタイトル名を変更できます。 ➡操作ガイド52ページ
タイトルサムネイル変更	ファインダー上に表示されている番組のサムネイル画面を変更できます。 ➡操作ガイド50ページ
DVDファイナライズ	DVD-R/RWディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生したいときに、DVD-VideoまたはDVD-VRファイナライズ処理をします。 ➡98、99ページ
DVD初期化	本機の機能を十分に使うために、新品のDVD-RAM/R/RWディスクを初期化します。➡38ページ ※DVD-Rディスクの初期化はVRモードでお使いになる場合に必要です。
設定メニュー	各設定画面になります。➡106ページ

2 終了するときは､｢簡単メニュー｣を押す

簡単メニュー

この取扱説明書について

●この取扱説明書に記載されている画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面でご確認ください。
●操作方法は特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。
●特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。
それらの用語については操作ガイド 132 ページ～の用語解説をご覧ください。

放送の種類を表すマークについて

■特定の放送にだけかかわる機能や操作手順である場合に、以下のマークを表記しています。
マークがついていない機能や手順は、すべての放送が対象であることを示します。

マーク	表す放送メディアの種類
地上アナログ	地上アナログ放送
地上デジタル	地上デジタル放送
BSデジタル	BSデジタル放送
CSデジタル	110度CSデジタル放送

・各放送についての詳細は20ページをご覧ください。

ディスクの種類を表すマークについて

■使用可能を表すマーク

〈全章にわたり使用〉

マーク	表すメディアの種類	表す録画モード
HDD	内蔵HDD（ハードディスク）	TSモード VRモード
DVD-RAM	DVD-RAM	VRモード
DVD-RW (VRモード)	DVD-RW	VRモード
DVD-RW (Videoモード)	DVD-RW	Videoモード
DVD-RW	DVD-RW	VRモード、 Videoモード共通
DVD-R (VRモード)	DVD-R	VRモード
DVD-R (Videoモード)	DVD-R	Videoモード
DVD-R	DVD-R	VRモード、 Videoモード共通

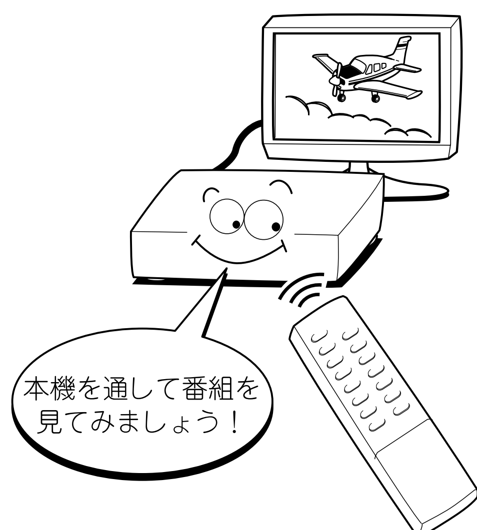
〈再生・機能設定の章のみで使用〉

マーク	表すメディアの種類
DVDビデオ	DVDビデオディスク
CD	音楽用CD

■使用不可を表すマーク

（例）

DVD-R (Videoモード)	表示マークが左のようなときは、その機能についてディスクが使用できないことを表します。（左のアイコン表示は、DVD-R（Videoモード）が使用できないことを表しています。）



番組を楽しむ

本機を通して、テレビ放送を視聴するための方法や便利機能についてご紹介します。

受信できるテレビ放送について

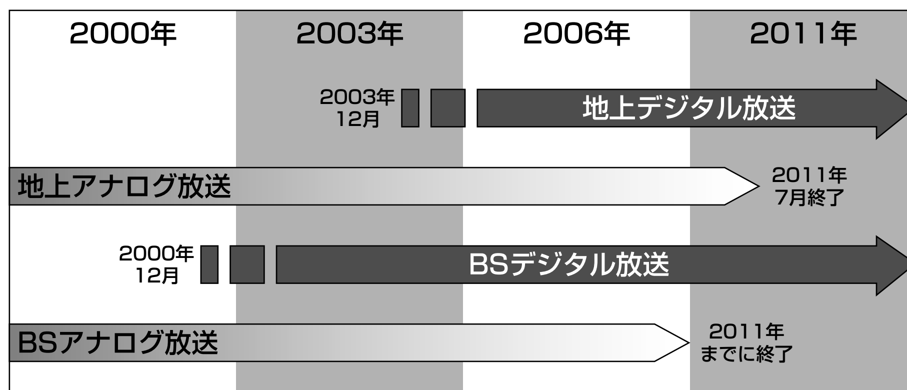
放送の種類	説明	本機で利用できる主なサービス（○：利用できる　×：利用できない）			
		番組表（DEPG）	字幕放送	データ放送	双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	・従来のNHKや民放各局の地上波のテレビ放送（VHF/UHF）です。	○	×	×	×
地上デジタル 地上デジタル	・地上波のUHF放送（13〜62ch）の周波数帯域を使って行なうデジタル放送です。アナログ放送は、今後このデジタル放送に変わっていきます。 ・最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 ・音声信号を効率よく圧縮して放送することができ（デジタルオーディオ：M-PEG2 AAC方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに、5.1chのサラウンド放送も行なわれています。 ・放送は各地域の放送局から送信されます。地域密着型データ放送や、双方向通信サービスによる視聴者参加型プログラムなども予定されています。	○	○	○	○
BSデジタル BSデジタル	・ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行なわれる放送のため、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。	○	○	○	○
110度CSデジタル CSデジタル	・通信衛星（Communications Satellite）を使って行なう放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。 ・ほとんどの番組は有料です。 ・スカパー！110への加入申込みと契約が必要です。	○	○	○	○

■110度CSデジタル放送について

「スカパー！ 110」にはCS1とCS2の二つの放送サービスがあります。

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

・地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



お知らせ

• 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。
• 地上デジタル放送では、車や電車などでの移動体受信サービスや、携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予定されています。本機では移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

テレビ放送について

デジタルハイビジョン放送を中心に、 4 種類のフォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送（従来のBSアナログ放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125i(1080i) 放送	750p（720p）放送	525p（480p）放送	525i（480i）放送
走査線の数	1125本（有効 1080 本）	750 本（有効 720 本）	525 本（有効 480 本）	525 本（有効 480 本）
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

デジタルハイビジョン放送 1 番組と通常放送 3 番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。

ラジオ放送について

●ラジオ放送は、BS デジタルおよび 110 度 CS デジタル放送で行なわれています（2005 年 1 月現在、110 度 CS デジタル放送ではラジオ放送は放送されていません。）

●地上デジタル放送では行なわれていません。
（ラジオ放送とは別の音声放送は行なわれています。）

●静止画や動画を使ったデータ付きのラジオ放送もあります。

データ放送について

●番組連動データ放送
デジタル放送の番組に関連したデータ放送です。（例 : 野球放送中に他球場の速報を放送、クイズ番組への参加、など）

●独立データ放送
番組とは無関係の独立したデータ放送です。（例 : 天気予報、ショッピング情報（オンライン通販）、など）
※本機は ep サービスに対応していません。
（ep サービスは、イーピー株式会社が提供する事前蓄積用データ放送サービスです。）

●双方向通信サービス
電話回線などを使用した、視聴者参加型のサービスです。番組連動データ放送や独立データ放送で、画面に表示される操作ガイドに従って、リモコンのカラーボタンなどで操作をします。
双方向通信サービスに使用される通信方式には、以下の三種類があります。
※使用される通信方式は双方向通信サービスを行なう事業者によって異なります。詳しくは、各事業者にお問合せください。

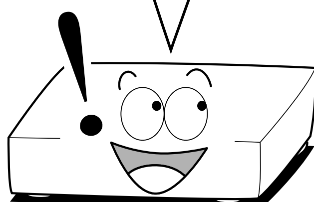
①電話回線を使用した基本通信
・本機の電話回線接続端子を使った通信です。
・地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送で使用されます。
・接続・設定については⇨接続・設定編 24、53 ページをご覧ください。

②イーサネット通信
・本機の LAN 端子を使用したネットワーク通信です。ADSL や CATV などによる通信があります。
・地上デジタル放送で使用されます。
・接続・設定については⇨接続・設定編 26、97 ページをご覧ください。

③ダイヤルアップ通信
・本機の電話回線接続端子を使用したネットワーク通信です。
・地上デジタル放送では、番組によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。
また、ダイヤルアップ通信を使用する場合は、「通信環境設定」を「イーサネット優先」にしてください。
（お買い上げ時は「イーサネット優先」に設定されています。詳しくは⇨接続・設定編 99 ページをご覧ください。）

番組の選びかた

本機を通して、番組を見てみましょう！
テレビ側で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ1）に切り換えてね！

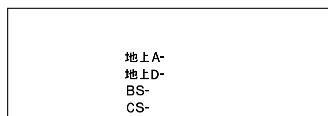




1 「放送切換」を押して、放送を選ぶ

放送切換

本体表示窓



地上A：地上アナログ放送
地上D：地上デジタル放送
BS　：BSデジタル放送
CS　：110度CSデジタル放送

- ボタンを押すたびに、地上A→地上D→BS→CS→地上A…と切り換わります。

2 デジタル放送（地上D・BS・CS）の場合は、「メディア／クリア」を押して、メディアを選ぶ

メディア/クリア

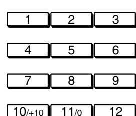
- ボタンを押すたびに、テレビ→（ラジオ）→データ→テレビ…と切り換わります。
- 地上Dの場合はラジオ放送はありません。

3 チャンネルを選ぶ

- 以降の選局方法の中から選んで行なってください。

番号ボタンを押して選局する

1) 番号ボタンを押して、チャンネルを選ぶ



- 1～12の番号に割りあてられた放送局が選べます。
（割りあてる放送局を変更するには➡接続・設定編 38、46ページ）

■お買い上げ時に設定されている内容

●手順1でBS（BSデジタル放送）を選択したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1	NHK BS1	101	BS デジタル放送
2	NHK BS2	102	
3	NHK ハイビジョン	103	
4	BS 日テレ	BS テレビのチャンネル	
5	BS 朝日		
6	BS-i		
7	BS ジャパン		
8	BS フジ		
9	WOWOW		
10/+10	スターチャンネル		

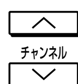
●手順1でCS（110度CSデジタル放送）を選択したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1	CS プロモーション CH	001	110 度 CS デジタル放送
2	CS プロモーション CH	100	

※他のボタンには設定されていません。

チャンネル(∧/∨)ボタンで選局する

1) 「チャンネル(∧/∨)」を押して、チャンネルを選ぶ

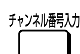


・チャンネルを順送りで選局します。

3桁チャンネル番号を入力して選局する

(地上デジタル) (BSデジタル) (CSデジタル) ※地上アナログ放送の場合は2桁入力になります。

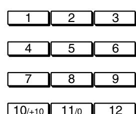
1) 「チャンネル番号入力」を押す



・画面左上に3桁入力欄が表示されます。



2) 番号ボタンを押して、3桁チャンネル番号を入力する



・選局されたチャンネルに切り換わります。

■「✻」マークを使った入力方法

見たいチャンネルの3桁の番号がはっきりわからないとき、✻ボタンを使って、次のように選ぶことができます。

例1：BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSチャンネルを見たいとき

[チャンネル番号入力] → [3] → [10/+10 /✻] と押す

・300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

例2：BSデジタル放送を選んでいる状態で、450番台のBSチャンネルを見たいとき

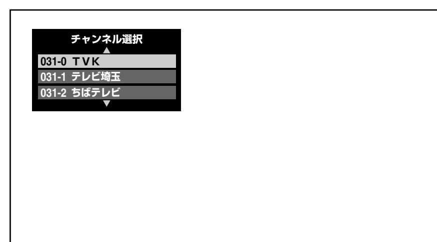
[チャンネル番号入力] → [4] → [5] → [10/+10 /✻] と押す

・450番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

■枝番号の異なる放送を選局するには(地上デジタル放送)

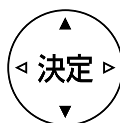
枝番号とは、将来多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。

(例) 手順2)で入力した3桁チャンネルに枝番号がある場合



・画面左上に枝番号チャンネル選択の表示がでます。





方向キー(▲/▼)で放送局を選び、「決定」を押して選局します。

番組を楽しむ

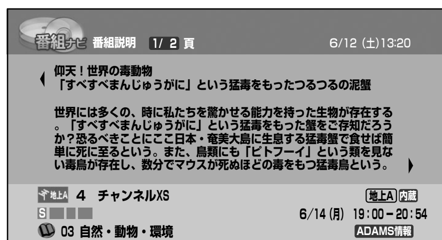
番組情報を見る

1) 番組を視聴中に、「番組説明」を押す

番組説明

・番組情報が表示されます。

（例） 番組説明画面



・2ページ以上ある場合は頁(|◀◀/▶▶|)を押してページを切り換えます。

2) 番組説明を消すには、もう一度「番組説明」を押す

番組説明

・視聴していた画面に戻ります。

字幕を切り換える

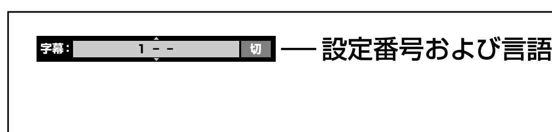
地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

・字幕のある番組をご覧のとき、字幕の表示切換えをすることができます。

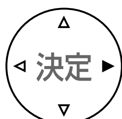
1) リモコンのふたをあけ、「字幕」を押す

字幕

・現在の字幕設定が表示されます。



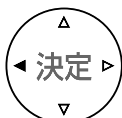
2) 方向キー（▶）で「入」または「切」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して切り換える





・「切」にすると字幕は表示されません。

3) 「入」にした場合は、方向キー（◀）で「字幕」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して好きな言語を選ぶ





・字幕設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

お知らせ

・「クイックメニュー」からも、字幕の切換えができます。（27ページ）

データ放送を見る

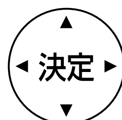
地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

1) デジタル放送のある番組を選局し（22 ページ）、「データ」を押す



・データ放送の画面が表示されます。

2) 方向キーで見たい項目を選び、「決定」を押す



・番組によって、カラーボタンや番号ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。

お知らせ

・サービスの種類によっては、電話回線を使用する場合があります。電話回線の接続・設定については接続・設定編24、53ページをご覧ください。
・データ放送を表示中に、各ナビ画面などを表示させた場合、データ放送が表示されなくなることがあります。
・DVDが選択されていて、DVDビデオディスクがディスクトレイにはいっているときは、データ放送は見られません。
・録画中は、データ放送は見られません。

音声を切り換える

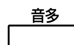
・主音声と副音声がある番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しむことができます。

1) 「音多」を押す



・現在の音声設定が表示されます。

2) 音声設定の表示中に「音多」をくり返し押して好きな音声を選ぶ



二重音声の番組

「主」（主音声）→「副」（副音声）→「主＋副」（主音声＋副音声）（→「主」に戻る）

お知らせ

・「クイックメニュー」からも、音声の切換えができます。（26ページ）マルチ音声の場合は、クイックメニューから切り換えます。
・デジタル放送では、TS録画（32ページ）以外の録画中に主音声と副音声の切換えはできません。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

・マルチビュー放送とは、複数の映像（音声・データも含む）を同じチャンネルで楽しむことができる放送です。

1) マルチビュー放送を行なっている番組を選局する

2) リモコンのふたの中の「アングル」を押して、見たい映像を選ぶ



・「アングル」を押すたびに、映像が切り換わります。

例えば、野球中継で、3方向(バックネット裏、真上、バックスタンド)からの映像を切り換えて見るときに使います。

お知らせ

• 「クイックメニュー」からも、映像切換ができます。（26ページ）
• 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます。）

文字スーパー表示の設定を変更する

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

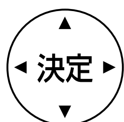
・デジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。
文字スーパー表示の入／切と、表示言語の設定を変更することができます。（お買い上げ時は「入」で日本語を優先で表示する設定になっています。）
詳しくは接続・設定編 74 ページをご覧ください。

有料放送（PPV：ペイ・パー・ビュー）を購入して見る

BSデジタル　CSデジタル

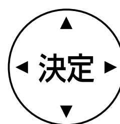
・有料放送を番組単位で購入して見ることができます。
・有料チャンネルを見るには、放送事業者との契約が必要です。また、ペイパービュー（番組単位で購入）を視聴・録画するには、以下の購入操作が必要です。

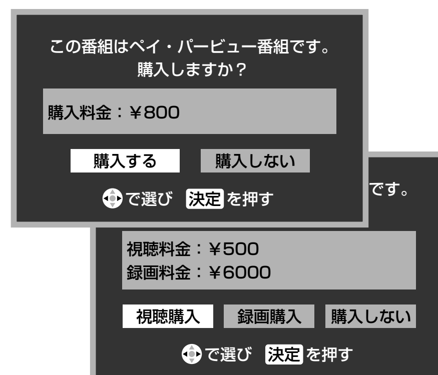
1) ペイパービューの番組を選局し、「決定」を押す



• 番組によっては、プレビュー画面が表示されます。（プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。）

2) 方向キーで項目を選び、「決定」を押す





• 番組によって、選べる項目が変わります。

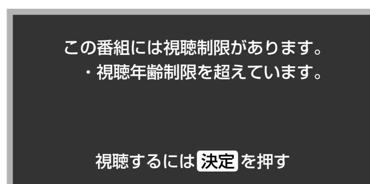
購入する：　番組を購入したことになり、視聴できます。
コピーガードのある番組は、録画ができません。

購入しない：番組を購入しません。

視聴購入：　料金を払うと視聴できますが、コピーガードのある番組は録画ができません。

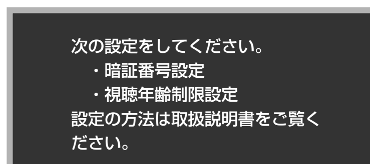
録画購入：　料金を払うと視聴と録画ができます。

■視聴制限がはたらいている場合



• 左のメッセージが表示されます。購入する場合は以下の操作を行ないます。

①「決定」を押す
暗証番号入力画面になります。
②番号ボタンで暗証番号を入力する



• 左のメッセージが表示されたら、以下の設定をしてください。

・暗証番号の設定（接続・設定編66ページ）
・視聴年齢制限の設定（接続・設定編68ページ）
・番組購入限度額の設定（接続・設定編69ページ）

お知らせ

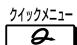
• 番組購入後は、視聴購入から録画購入への変更、またはその逆の変更はできません。
• 複数の映像・音声・データを視聴するには追加購入が必要な場合があります。この場合は、購入したい映像／音声／データに切り換えてから追加購入してください。
• 録画予約を登録したときに購入することはできません。放送開始時に録画購入の操作を行なってください。
• TS録画（32ページ）をするときは、あとで視聴したいものはすべて追加購入の操作を行なってください。

クイックメニューからの切換（デジタル放送）

（地上デジタル）（BSデジタル）（CSデジタル）

・「クイックメニュー」からデジタル放送の信号（映像・音声・データ・字幕・降雨対応）を切り換える方法をご紹介します。

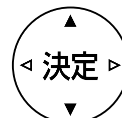
①デジタル放送を視聴中に「クイックメニュー」を押す







②方向キー（▲/▼）で「信号切換」を選び、「決定」を押す

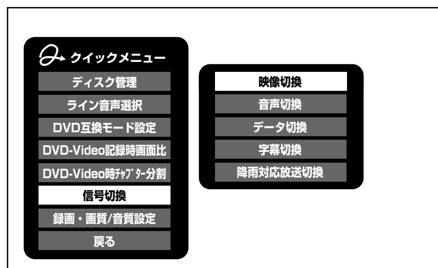


・「信号切換」は、デジタル放送を視聴中のときだけ表示されます。


③各項目選択へ

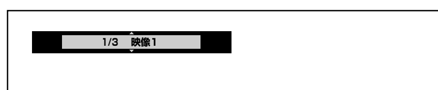
映像を切り換える（マルチビュー放送のとき）

1) 方向キー（▲/▼）で「映像切換」を選び、「決定」を押す



2) 方向キー（▲/▼）で、見たい映像を選び、「決定」を押す

（例）



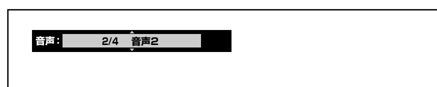
音声を切り換える（マルチ音声のとき）

1) 方向キー（▲/▼）で「音声切換」を選び、「決定」を押す



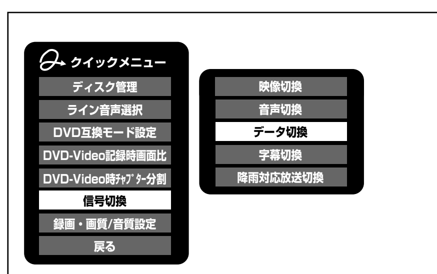
2) 方向キー（▲/▼）で、好きな音声を選び、「決定」を押す

（例）



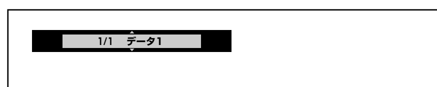
データを切り換える（データ放送のとき）

1) 方向キー（▲/▼）で「データ切換」を選び、「決定」を押す



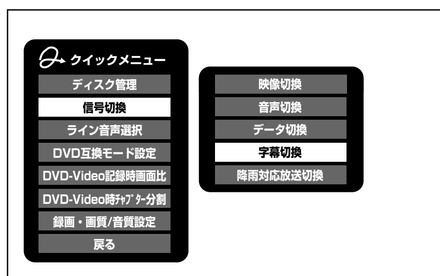
2) 方向キー（▲/▼）で、見たい項目を選び、「決定」を押す

（例）



字幕を切り換える（字幕放送があるとき）

1) 方向キー（▲/▼）で「字幕切換」を選び、「決定」を押す



2) 方向キー（▲/▼）で、好きな字幕を選び、「決定」を押す

（例）

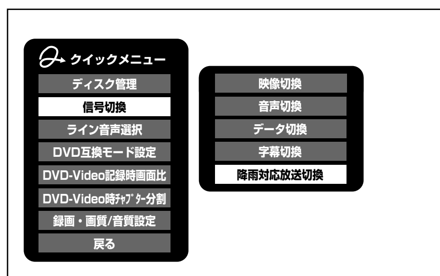


降雨対応放送に切り換える

BSデジタル　CSデジタル

・衛星を利用した放送では、雪や雨などの影響で電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。その場合でも、降雨対応放送が行なわれているときには、以下の操作で放送をご覧になることができます。

1) 方向キー（▲/▼）で「降雨対応放送切換」を選び、「決定」を押す



・降雨対応放送が行なわれているときだけ、メニューが表示されます。

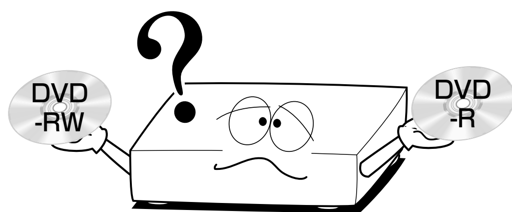
2) 方向キー（▲/▼）で、「降雨対応放送」を選び、「決定」を押す



・通常の放送に戻すときは、ここで「通常の放送」を選び、「決定」を押します。

お知らせ

- 放送の電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品質が落ちる場合があります。
- 録画中に、降雨対応放送に自動的に切り換わることがあります。
- TS録画（デジタル放送をTS画質で録画）中に降雨などで通常の受信ができなくなると、その間の録画は一時停止状態になります。



録画の前に

本機で録画をする前に知っておきたいことや準備について説明しています。

- 本機で録画が可能なディスク
- 録画方式（録画対応モード）とディスクの選択
- 1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画について
- 録画モード（録画画質／音質）の設定をする
- 録画する前のディスクの初期化
- DVD-R ／ RW（Video モード）で録画するときの設定

本機で録画が可能なディスク

録画 / 再生が行なえます

ディスク	マーク（ロゴ）	内容	録画方式 *1	1 回だけ録画可能な番組 (コピーワンス) 録画の対応	推奨ディスク／確認済ディスク *2
HDD (ハードディスクドライブ)		RD-Z1：600GB	· TS 録画 · VR モード録画	可	
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	· 片面 4.7GB (12cm) · 両面 9.4GB (12cm) · 規格 *2 Ver.2.0 または 2.1 に準拠	· VR モード録画	可 *4 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** Panasonic（2X、3X、5X）
DVD-RW	DVD RW	· 12cm · 規格 Ver.1.1 Ver.1.2	· VR モード録画	可 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** ビクター · JVC（2X、4X）
			· Video モード録画	不可	
DVD-R	DVD R R4.7	· 4.7GB For General · 規格 Ver.2.0	· VR モード録画	可 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** 太陽誘電（4X、8X） 東芝 RD-RVR 120 (CPRM 対応) 東芝 RD-RVR 120P5 (CPRM 対応) 太陽誘電 DR-C12WTY5PA (CPRM 対応) 太陽誘電 DR-C12WPY10SA (CPRM 対応) 太陽誘電 DR-C12WPY10BA (CPRM 対応) 日立マクセル DRD120B.1P (CPRM 対応) 日立マクセル DRD120B.1P5S (CPRM 対応)
			· Video モード録画	不可	

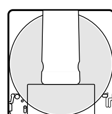
*1 録画方式については 32 ページをご覧ください。

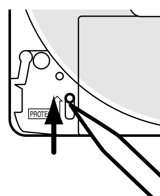
*2 推奨ディスク、確認済みディスクについて、動作確認はしておりますが、すべてのディスクの動作を保証するものではありません。

*3 · 記載された規格に準拠していない (他の規格でフォーマットされた)DVD-RAM は、そのままでは使用できません。
ご使用になる場合は、本機のディスク初期化機能で初期化してお使いください。
· 規格に準拠した DVD-RAM でも、他社の機器やパソコンで記録・編集されたもの、タイトル数が非常に多かったり空き容量が少ないものなどは、録画・編集・ダビングができない場合があります。
また、静止画を含むタイトルなども編集やダビングができない場合があります。
· パソコンで UDF2.0 で初期化された DVD-RAM は、DVD-RAM 規格の Version2.0 に準拠しておりません。必ず本機で初期化しなおしてからお使いください。

*4 DVD-RAM は、パッケージに「このディスクは 4.7GB DVD-RAM ディスクに対応したビデオレコーダーとドライブでご使用いただけます」や「このディスクは 1 回だけ録画が可能な番組の録画にも対応しています」または「CPRM 対応ディスク」などの表示があるディスクを選んでお使いください。

*5 カートリッジ付きディスクについて





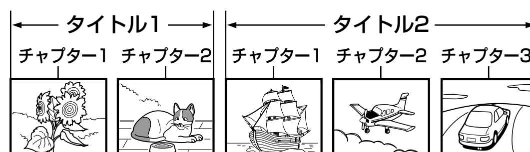
· カートリッジには、中のディスクが取り出せるもの (TYPE2/4) と取り出せないもの (TYPE1) があります。
取り出せるものでも、できるだけ取り出さずに使用することをお勧めします。
市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画・編集ができなくなるものがあります。
· カートリッジのシャッターは手であけないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでもはいると、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。
· 録画内容を誤って消さないために・・・
カートリッジには録画を禁止する機能がついています。
ライトプロテクトタブ (誤消去防止用のつまみ) を先の細いもので「PROTECT」側にしてください。
再生はできますが、録画や消去はできなくなります。ディスクの説明書もご覧ください。

	備考
	・本機では、カートリッジ付きDVD-RAM(市販品)をお使いになることをお勧めします。*5 カートリッジ付きのディスクのほうがカートリッジなしディスクに比べてキズやほこりなどが付きにくいので、安定した録画・再生・編集が行なえます。 ・カートリッジなしディスク(市販品)を使う場合は、指紋やキズなどがつかないように注意して取り扱ってください。
	・ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。 ・録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、Videoモードでは録画できません。コピーワンスの映像を録画するには、CPRM対応の表示があるディスクを、VRモードで初期化してご使用ください。(VRモードとVideoモードの切換は初期化をしなおすことで行なえますが、 録画されていた内容はすべて消去されます。) ・くり返し録画ができる回数には限りがあります。また、くり返し録画を行なうなどで記録層の劣化が進むと、本機で録画再生が可能でも、他機種やパソコンでの再生ができなくなる場合があります。
	・2倍速記録対応ディスク(Ver.2.0/2Xなどと表記)や4倍速記録対応ディスク(Ver2.0/4Xなどと表記)も使用できます。 ・ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。 ・録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、 Videoモードでは録画できません。コピーワンスの映像を録画するには、 CPRM対応の表示があるディスクを、VRモードで初期化してご使用ください。(VRモードとVideoモードの初期化をしなおすことはできません。)

●万一、何らかの不具合が発生した場合でも、録画／編集ができなかった内容の補償、録画／編集されたデータの損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような場合に発生した不具合も含まれます。
・本機で録画した DVD ディスクを他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで動作（挿入、再生、録画、編集など）させた場合。
・上記の動作を行なった DVD ディスクを、再び本機で動作させた場合。
・他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで記録した DVD ディスクを本機で動作させた場合。
● PC 用のディスクではライブラリ機能など一部の機能が正常に働かない場合があります。

ディスクの内容の区分

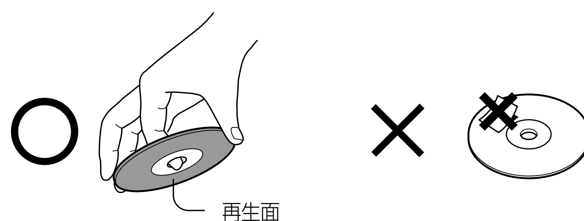
●DVD-RAM/R/RWまたは内蔵HDDに録画をした場合、1回の録画を一つの「タイトル」として収録します。
●「タイトル」は本機の編集機能で「チャプター」という小さい区切りに分けることができます。



タイトル： 1回の録画内容を一つの「タイトル」とします。
チャプター： タイトルの内容を、場面ごとにさらに小さく区切ったものです。

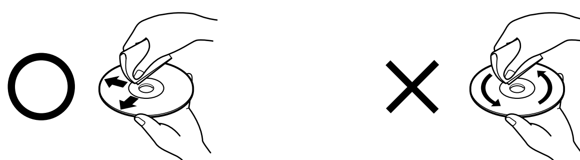
ディスクの取扱いかた

●再生面には手を触れないでください。
●ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクのお手入れのしかた

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

ディスクの保管のしかた

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

録画方式（録画対応モード）とディスクの選択



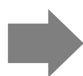
本機で使用する録画方式(録画対応モード)とディスクの選びかたについてご紹介します。

本機で使用する録画方式（録画対応モード）について

本機は、以下の録画方式（録画対応モード）から選んで使用できます。

1 HDD（内蔵ハードディスク）への「TS 録画」（Transport-stream Recording） HDD

・デジタル放送番組をそのままに録画する方式です。
・録画モード（画質・音質）は、TS（Transport Stream）に固定されます。
・ハイビジョン画質や 5.1ch 音声をそのまま録画でき、録画したタイトルを i.LINK 機器にダビング（移動）できます。
・ただし、編集機能に制限があります。（84 ページ）



こんな場合に選択します。 地上デジタル BS デジタル CS デジタル

・デジタル放送のハイビジョン放送を、そのままの高画質で録画したい！
・デジタル放送の 5.1ch 音声をそのままの音質で録画したい！
・録画タイトルを i.LINK 機器にダビング（移動）したい！

2 HDD・DVD ディスクへの「VR/Video 録画」

・任意の録画モード（SP、LP、A1、A2、MN）で録画することができます。
・デジタル放送を録画するときに、録画モード（SP、LP、MN）を選択するとこの録画方式で録画されます。
・ハイビジョン画質や 5.1ch 音声などをデジタル放送そのままの画質・音質で録画することはできません。

VR/Video 録画には、以下の 2 種類のモードがあります。

① VR モード（Video Recording Format） HDD DVD-RAM DVD-RW (VRモード) DVD-R (VRモード)

・録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。
・録画したディスクは、各ディスクの VR モードに対応した DVD プレーヤーでだけ再生ができます。
・「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を、DVD-RAM や CPRM 対応の DVD-R/RW に録画することができます。
・録画したタイトルを i.LINK 機器にダビングすることはできません。



こんな場合に選択します。 地上デジタル BS デジタル CS デジタル

・デジタル放送を録画したあとに編集したい！
・デジタル放送を DVD ディスクに録画したい！

こんな場合に選択します。 地上アナログ

・デジタル放送以外の放送を録画するとき。
・録画したあとに編集したいとき。
・二カ国語放送の音声を切換えできるようにしたい！

② Video モード（Video Format）※ DVD-R/RW だけで対応 DVD-RW (Videoモード) DVD-R (Videoモード)

・市販の DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブと互換性のある録画方式です。
・ただし、編集機能には多くの制限があります。
・「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を録画することはできません。
・録画したタイトルを i.LINK 機器にダビングすることはできません。



こんな場合に選択します。 地上アナログ

・「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」以外の放送を録画するとき。
・録画したタイトルを他のプレーヤーで再生したいとき。
・個人で撮影した映像集などをダビングして配付したいとき。

VRモードとVideoモードについて

同じ DVD ディスクでも、VR モードで録画するか、Video モードで録画するかによって、以下のような違いがあります。ディスク選択やモード選択の際の参考にしてください。

	VR モード	Video モード
対応ディスク	・内蔵HDD（ハードディスク） ハードディスクへの録画はVRモードとほぼ同等のVR互換での録画となっています。 ・DVD-RAM（Ver.2.0/2.1） くり返し録画・消去できます。 ・DVD-RW（Ver.1.1/1.2）※VRモードに初期化したもの*1 くり返し録画・消去できます。 ・DVD-R（Ver.2.0）※VRモードに初期化したもの*2 いちど録画すると、消去して書き換えることができません。（編集によって不要なタイトルやチャプター削除ができますが、削除した分のデータ容量が復帰することはありません。）	・DVD-RW（Ver.1.1/1.2）※Videoモードに初期化したもの*1 くり返し録画・消去できます。 ・DVD-R（Ver.2.0） いちど録画すると、消去して書き換えることができません。内蔵HDDからこのモードのDVD-Rにダビングする場合、DVD互換モードを「入」で録画したタイトルでないと、二カ国語放送の主・副音声が混在した音声になってしまうなど、正しくダビングができませんのでご注意ください。
二カ国語放送の音声について（DVD 互換モードの選択 *3）	以下の三とおりからお好みの音声を選択できます。 ①DVD互換モード「切」： 再生時に音声（主・副）を選択できます。 ②DVD互換モード「入（主音声）」： 主音声で録画されます。 ③DVD互換モード「入（副音声）」： 副音声で録画されます。	DVD-Video規格によって、音声は主音声か副音声のどちらか一方しか録画できません。以下の二通りからの選択になります。 ①DVD互換モード「入（主音声）」： 主音声で録画されます。 ②DVD互換モード「入（副音声）」： 副音声で録画されます。 ※DVD互換モードを「切」に設定しても、「入（主音声）」で録画されます。
編集機能について	・不要部分の削除やチャプター分割、プレイリスト編集など、録画したあとに編集できます。	・録画したあとに編集することができません。 （録画しながらチャプター分割することなどは可能）
コピーワンス番組の録画について	・「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を録画できます。 **（CPRM対応のディスクであることが必要です。）**	・「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組は、録画できません。
他プレーヤーとの互換性	・このモードで録画したディスクは、それぞれのディスクのVRモード再生に対応したDVDプレーヤーでだけ再生ができます。また、「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を録画したディスクは、プレーヤーがCPRMに対応していなければ再生できません。	・本機で録画したディスクをファイナライズすることによって、他のDVDプレーヤーでも再生することができます。 （再生できないプレーヤーもあります。）

*1 DVD-RW について
本機で新品の DVD-RW をご使用になるときは、まず VR モードで使うか Video モードで使うかを選んで初期化をする必要があります。初期化の方法は38 ページをご覧ください。

*2 DVD-R について
本機で DVD-R を VR モードでご使用になるには、VR モードに初期化をすることが必要です。（初期化をしない場合は、Video モードとして認識されます。）初期化の方法は38 ページをご覧ください。
DVD-R の場合、いちど初期化をすると、再度初期化しなおすことはできません。また、VR モードに初期化をしても、他のディスクと違い、編集回数などいくつかの制限があります。編集機能の制限や注意事項について詳しくは操作ガイド 64 ページをご覧ください。

***3 DVD 互換モードの設定のしかたは 40 ページをご覧ください。**
※その他 DVD ディスクの使い分けについての詳細は次ページからの「DVD ディスク使い分けのヒント！（はじめて HDD&DVD レコーダーをお使いになる方へ）」、「DVD-R/RW の VR モードについて」をご覧ください。

DVD ディスク使いわけのヒント！
（はじめて HDD & DVD レコーダーをお使いになる方へ）

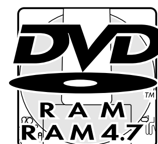
本機は DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW の 3 種類の DVD ディスクに対応しています。
ディスクにはそれぞれ特徴があります。

対応メディア	DVD-RAM	DVD-R	DVD-RW
特　徴	くり返し録画が可能	1回だけ録画が可能	くり返し録画が可能
メディアの容量	4.7GB/9.4GB	4.7GB	4.7GB
おすすめ用途	・VRモードでの録画・編集 ・録画番組のバックアップ	・DVD-Videoの作成	・DVD-Videoの試し書き・作成 ・録画番組のバックアップ
備　考	DVD-RAM対応のDVDレコーダーなどでの再生や編集が可能。カートリッジタイプはキズやホコリが付きにくい	DVD-R対応のDVDプレーヤーなどでの再生が可能	DVD-RW対応のDVDプレーヤーなどでの再生が可能

・初めてお使いになる方は、DVD-RAM、DVD-R（Video モード）、DVD-RW（Video モード）をお使いになることをお薦めします。
・応用的な使い方として DVD-R（VR モード）、DVD-RW（VR モード）があります。次のページ

■ たいせつな映像を保存するには…DVD-RAM

たいせつな映像を保存するにはカートリッジ付き DVD-RAM をお使いください。カートリッジ付きは両面ディスクでも扱いやすく、保存性にも優れています。録画のときの制限事項も少なく、CPRM 対応のディスクなら 1 回だけ録画可能な映像の録画にも対応しています。
DVD-RAM ディスクは、DVD プレーヤーなど他の DVD 機器では再生できないことがありますので、ご注意ください。他の DVD 機器で再生する場合は、DVD-RAM ディスクに対応しているかご確認ください。



■ DVD プレーヤーなどの他の DVD 機器で再生するには…DVD-R（Video モード）

DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は、互換性の高い DVD-R（Video モード）をお使いください。
はじめにフォーマット (初期化) をしないで録画すると、DVD プレーヤーなどの互換性のある他の DVD 機器で再生できる Video モードで録画されます。
DVD-R は録画が 1 回しかできず、録画したものを消去することもできません。また、他の DVD 機器で再生したい場合は、ファイナライズ（終了処理）が必要です。
Video モードでお使いの DVD-R は、デジタル放送のコピーワンス番組（1 回だけ録画可能な番組）の録画ができないなど、録画に関する制約事項が多数あります。CPRM 対応のディスクでも Video モードで使用する場合には、コピーワンス番組を録画することはできません。



■ DVD-R の試し書きや DVD プレーヤーなどで再生するには…DVD-RW（Video モード）

DVD-R にダビングする前に、書き込めるか確かめたいとき、ディスクにすでに書かれている録画内容を消して、くり返し使いたいとき、また、DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は DVD-RW をお使いください。
ただし、一部の DVD 機器では再生できないことがあります。
使用する前 (録画前) に Video モードでのフォーマット (初期化) が必要です。他の DVD 機器などで再生するためにはファイナライズ（終了処理）が必要です。コピーワンス番組の録画については、DVD-R と同様です。



DVD-R/RW の VR モードについて（応用的な使いかたをする方へ）

VR モードを使用することで、DVD ディスクの使いこなしの幅が広がります。ただし、ディスクの使用に関してさまざまな制約があるため、DVD レコーダーをはじめてお使いになる方や、DVD-R/RW を他の DVD 機器などで再生するために使用している方は、このモードでの使用は控えてください。
以下をお読みになり、ディスクの使い分けができると判断された場合だけ、DVD-R/RW の「VR モード」をお使いください。

■ VR モードとは…

VR モードは、録画の際の制限事項が少なく、CPRM 対応のディスクならデジタル放送などの 1 回だけ録画が可能 (コピーワンス) の映像を録画することもできる録画方式です。このモードは内蔵 HDD や DVD-RAM の録画に使用されているモードですが、本機では、初期化をすることで DVD-R、DVD-RW でもこのモードを使った録画が可能です。ただし、このモードで録画されたディスクは、本機または各ディスクの VR モードの再生に対応した機器でないと再生ができません。（本機以外で再生するにはファイナライズ処理をすることをお勧めします。）
VR モードに未対応の機器に VR モード録画をしたディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。

■ DVD-R/RW で VR モードを使う際の注意点

- DVD-R/RW に VR モードで録画するには、録画する前に必ず VR モードでのディスクの初期化（論理フォーマット）をしてください。（38 ページ）
- DVD-R ディスクを初期化せずに録画した場合は、Video モードでの録画になります。
- 1 回だけ録画が可能（コピーワンス）の映像を録画したいときは、新品の「CPRM 対応」表示のあるディスクをお使いください。
- 「CPRM 対応」「VR モード録画対応」の表示があるディスクでも、はじめに必ず VR モードでのディスクの初期化をしてください。
- 「VR モード録画対応」の表示がない DVD-R ディスクでも、VR モードで初期化をすると録画ができることがありますが、動作については保証しません。
- **本機で VR モードで録画したディスクは、本機および VR モードに対応した機器以外では再生ができません。VR モード未対応の機器にディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。**
- **CPRM 対応という表示のある DVD-R/RW ディスクに VR モードで録画した場合でも、本機および CPRM 方式に対応した機器以外では再生ができません。未対応の機器にディスクを挿入するだけで、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。**
  その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。
- DVD-R の VR モード録画は、録画したあとの編集回数に制限があります。
  その他編集時の制約についての詳細は操作ガイド 64 ページをご覧ください。
- 本機で DVD-R の VR モードで録画する場合は、以下の推奨ディスクをお使いください。

CPRM対応DVD-R 推奨品

メーカー	東芝	太陽誘電	日立マクセル
形名	RD-RVR120 RD-RVR120P5	DR-C12WTY5PA DR-C12WPY10SA DR-C12WPY10BA	DRD120B.1P DRD120B.1P5S

1回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画について

デジタル放送は番組制作者等の著作権を守るため、コピー制御信号を入れて録画を 1 回に制限する「1 回だけ録画可能」な（コピーワンス）番組を放送しています。

■ デジタル放送の録画制限と CPRM 対応について

ディスク／放送番組の種類	HDD TS録画	HDD VRモード録画	DVD-RAM（CPRM対応）	DVD-RAM（CPRM非対応）	DVD-R（CPRM対応）	DVD-R（CPRM非対応）	DVD-RW（CPRM対応）	DVD-RW（CPRM非対応）
制限なしに録画可能／コピー可能	○	○	○	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	○	×	○	×	○	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×	×

○：録画ができます　×：録画ができません

- 「1 回だけ録画可能」な番組は CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画ができます。
- 「1 回だけ録画可能」な番組を録画したディスクを、他の機器で再生する場合は、その機器が CPRM 方式の著作権保護技術と各ディスクの VR モードの再生に対応している必要があります。
- CPRM 対応の DVD-R/RW で「1 回だけ録画可能」な番組を録画する場合は、お使いになる前に VR モードで初期化（論理フォーマット）してください。

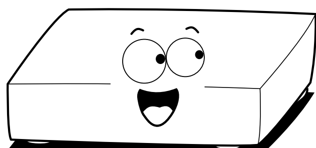
■ 本機での録画

- 1 回だけ録画可能な（コピーワンス）番組は一世代だけ録画が許された番組で、録画するとその時点で一世代目となり、コピー禁止のタイトルとなります。
- 内蔵 HDD（ハードディスク）に TS 録画した場合は、CPRM 対応の DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW）に対して「見るナビ」からのレート変換ダビングによる「移動」のみ可能です。また、TS 画質以外（VR モード）で録画した場合は、「簡単メニュー」／「見るナビ」からの高速ダビングによる「移動」も可能です（逆方向はできませんので、ご注意ください）。移動すると内蔵 HDD 内の移動された部分のみ削除されます。
- Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できません (コピー管理システムに対応していないためです)。

■ 各機能別の対処方法および制限

- 見るナビ : タイトル一覧 / チャプター一覧
  - ・タイトル名の末尾の行にコピー禁止マークが表示されます。
- 簡単メニュー・見るナビ : 高速ダビング
  - ・TS 録画以外のタイトルで「移動」のみ選択できます。
  - ・一つのチャプターを移動した場合、その部分のみが移動され、残されたタイトルは移動した部分が欠けた状態になり、元に戻すことはできません。
  - ・一つのタイトルから必要な部分だけをディスクに保存するには、まず不要なチャプターを「編集ナビ」の「一括削除」または「見るナビ」のクイックメニューで削除し、必要な部分だけの [オリジナル] タイトルにして、これを高速ダビングでタイトルとして移動します。また、必要な部分だけの［プレイリスト］を作成して、高速ダビングでタイトルとして移動することもできます。
  - ・移動は、できるだけオリジナルタイトルごとに行なってください。プレイリストを移動したり、チャプターを一つ一つ移動したあとに結合しても、チャプターの境界で再生時に一瞬静止するようになってしまいます。
  - ・余計にチャプター分割をしすぎた場合は、移動前に「チャプター編集」のクイックメニューから「前と結合」、「後ろと結合」など、チャプターを結合することで、いったん移動する単位に戻してください。DVD ディスクに移動したあとで、あらためてチャプター分割してください。
- 見るナビ : レート変換ダビング
  - ・「移動」のみ選択できます。
  - ・TS 録画したタイトルは容量が大きいので、指定のレートに変換して移動します。
- 編集ナビ : プレイリスト編集
  - ・作成したプレイリストを移動やレート変換ダビングすると、プレイリストが参照するオリジナルタイトルの一部分が削除されます。
- 編集ナビ :DVD-Video 作成、DVD-Video ファイナライズ、DVD-Video 背景画面登録
  - ・Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できないので、コピーワンスでの DVD-Video 作成はできません。したがって、DVD-Video 背景画面登録もできません (コピー管理システムに対応していないためです)。
- 編集ナビ : 一括・高速ダビング、一括・レート変換ダビング
  - ・「移動」に対応していないため、ご利用になれません。

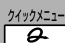
録画モード（録画画質／音質）の設定をする



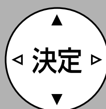
録画モード(画質と音質の組合せ)で、録画できる容量が変わります。
よく使う録画モードをあらかじめ設定しておくと、録画するときに設定する手間が省けて便利です。

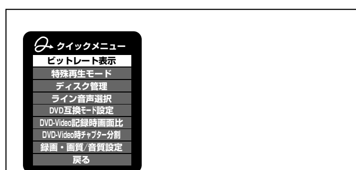
録画の画質／音質の詳細設定

1 停止中にクイックメニューを押す



2 方向キー（▲/▼）で「録画・画質／音質設定」を選ぶ





3 画質／音質の設定をする

（例）



画質・音質の組合せを作る（お好み設定）

1）方向キーで項目（「モード」、「レート」、「音質」）を選ぶ
2）「値変更」ジョグダイヤルを回して設定を変える

画質／音質の組合せを選択する（録画･画質／音質設定）

1）方向キーで録画先を選ぶ
- HDD への録画：デジタル放送（内部チューナー）、アナログ放送＋外部入力
- DVD への録画

2）「値変更」ジョグダイヤルで「お好み設定」の設定 No. を選ぶ
3）「決定」を押す

お知らせ

- 以下の表で×になっている画質と音質の組合せは設定できません。（A1・A2 は録るナビ予約・メール予約のときだけ選択可能。詳しくは⇨ 64 ページ、操作ガイド 101 ページをご覧ください。）

	音質設定					
	DD D /M1		DD D /M2		L-PCM	
画質設定	DVD	HDD	DVD	HDD	DVD	HDD
SP	○	○	○	○	×	×
LP	○	○	○	○	×	×
MN	○	○	○	○	○	○
A1	○	○	○	○	○	○
A2	○	○	○	○	○	○

- HDD［デジタル放送（内部チューナー）］の設定に SP、LP、MN を選択すると、VR モード録画（⇨ 32 ページ）の設定となります。

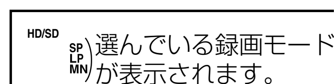
録画モードの設定方法

1 HDD/DVDの録画モードの設定：

HDD
DVD
録画モード

1）録画モードを設定したい「HDD」／「DVD」を押す
2）「録画モード」を押して録画モードを選ぶ

本体表示窓



「録画モード」を押すたびに録画・画質／音質設定(お好み設定)のNo.ごとに変わります。

例 MN→SP→LP→MN→MN→(消灯：HD/SD点灯※)
(1) (2) (3) (4) (5) (6)

※デジタル放送でHDDのときだけ(6)があります。

例：DVD-RAM片面4.7GBに録画した場合の目安

録画モード	録画時間	画質
SP	約2時間*1	標準
LP	約4時間*1	SPより劣る
MN	自由に変更できます。録画・画質／音質設定(お好み設定)で設定してください。	
消灯：HD/SD点灯（TS）※HDDでデジタル放送のときのみ	(放送内容とHDDの空き容量によって変動します)*2	HD（デジタルハイビジョン画質）／SD（デジタルスタンダード画質）

*1 DVD-RAM片面4.7GBに記録した場合の目安です。
*2 詳しくは⇨125ページ「録画可能時間一覧表」をご覧ください。

- 録画中のタイトルは、録画モードの変更ができません。
- 「表示窓切換」ボタンを押して、表示窓にビットレート表示(「BITRATE」)を点灯させると、モードとレートが確認できます。

録画する前のディスクの初期化

本機の機能を使う前に、新品の DVD ディスクは初期化をする必要があります（DVD-R の Video モードは除く）。以下の表を参考にしてください。

	HDD	DVD-RAM	DVD-RW		DVD-R	
			VR モード	Video モード	VR モード	Video モード
録画前のディスク初期化	不要 *1	必要 *2	必要	必要	必要 *3	不要

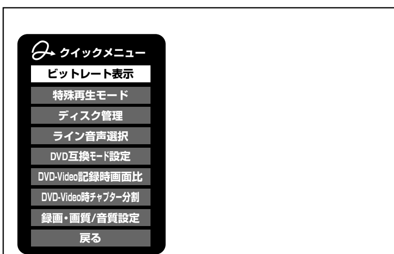
*1 HDD 自身のトラブルで正常に使用できなくなった場合、初期化することで使用できるようになることがあります。（116 ページ）
*2 DVD-RAM の初期化には以下の二とおり方法があります。
①論理フォーマット・・・通常はこの方法で初期化してください。
②物理フォーマット・・・論理フォーマットをしても使用できない場合、この方法で初期化してください。
（初期化しても使用できない場合もあります。）
*3 DVD-R ディスクを VR モードに初期化する場合、新品のディスクでしか行なえません。

ディスクの初期化（論理フォーマット）

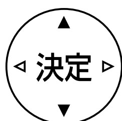
1) ディスクを入れる（14 ページ）

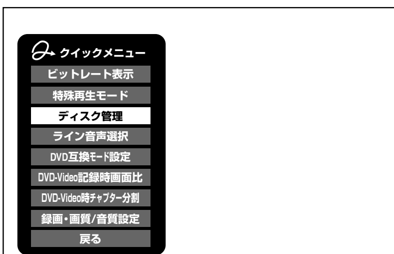
2) 「クイックメニュー」を押す



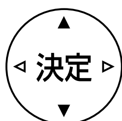


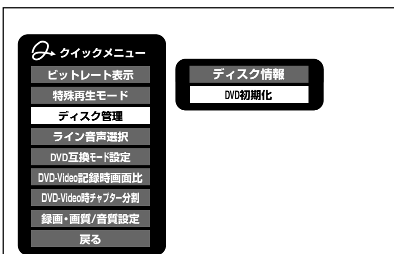
3) 「ディスク管理」を選び「決定」を押す





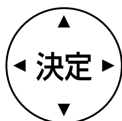
4) 「DVD 初期化」を選び「決定」を押す

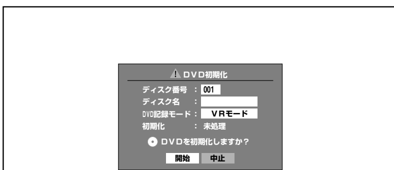




5) DVD 記録モードとディスク情報を入力する

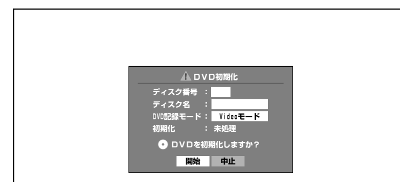
●DVD-RAMの場合





・ディスク番号　：変更できます。
・ディスク名　：変更できます。
・DVD 記録モード：VR モードで固定

●DVD-RWの場合

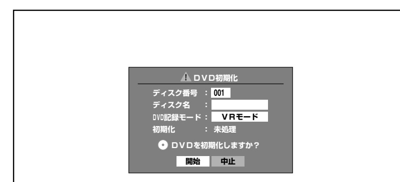


・**モードを選ぶ（必須です33 ページ）**
①方向キー（◀/▶）で「Video モード」または「VR モード」を選び「決定」を押す

・ディスク番号
自動で番号がつけられますが、好きな番号（3 ケタ）に変更できます。4 ケタ目は、両面ディスクの区分用に「A」か「B」を設定します。
①方向キー（▲/▼）でディスク番号を選び「決定」を押す
②方向キー（▲/▼/◀/▶）で番号を入力し「決定」を押す
※「Video モード」を選ぶと、ディスク番号は設定できません。

・ディスク名
ディスクに名前をつけることができます。
①方向キーでディスク名を選び「決定」を押す
②「文字入力のしかた」（操作ガイド 18 ページ）に従って、ディスク名を入力する
③リモコンの「モード」を押してディスク名を保存し、初期化画面に戻る

●DVD-Rの場合



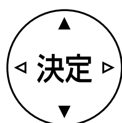
・ディスク番号　：変更できます。
・ディスク名　：変更できます。
・DVD 記録モード：VR モードで固定

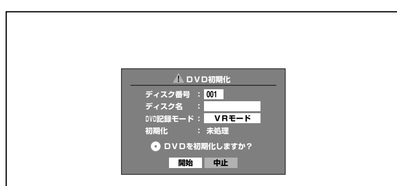
ご注意

本機では、以前の RD シリーズで作成された「予約ディスク」は扱えません。ご利用になるには、設定した RD シリーズで予約ディスクを解除するか、必要なタイトルをバックアップしたのち本機で初期化してお使いください。

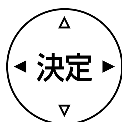
ディスクの初期化（論理フォーマット）つづき

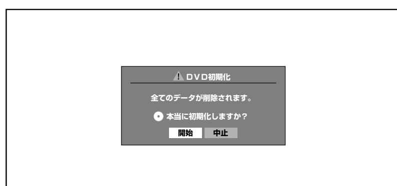
6)「開始」を選び「決定」押す





7) もう一度「開始」を選び「決定」を押す





・初期化が始まります。



お知らせ

- ディスクに劣化や欠陥が多くなると、録画ができなくなることがあります。

DVD-RAM の物理フォーマット

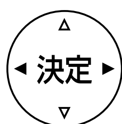
何度初期化をしても正しく認識されなかったり、使用しているうちに認識されなくなった DVD-RAM に対して行なってください。（使用可能になることを保証するものではありません。）

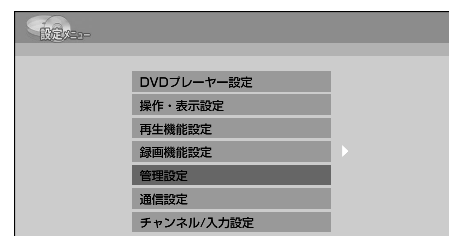
1) DVD-RAM を入れ、「設定メニュー」を押す

設定メニュー

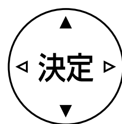
設定画面が表示されます。

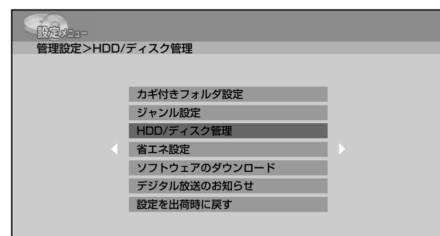
2)「管理設定」を選び「決定」を押す



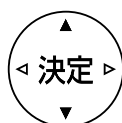


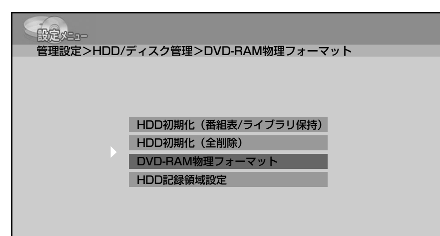
3)「HDD／ディスク管理」を選び「決定」を押す



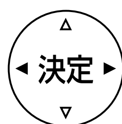


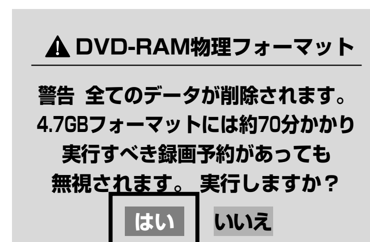
4)「DVD-RAM」物理フォーマットを選び「決定」を押す





5)「はい」を選び「決定」を押す





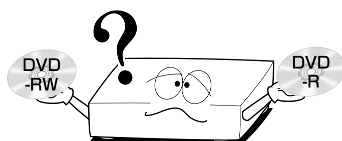
・中止するときは「いいえ」を選び「決定」を押す。

6) 終了後自動で電源を切るかのメッセージが表示されたら「はい」または「いいえ」を選び「決定」を押す

お知らせ

- ディスクがよごれている状態で「DVD-RAM 物理フォーマット」をすると、物理フォーマットに失敗する場合があります。また、物理フォーマットできても、録画に失敗しやすいディスクになります。必ず事前によごれを確認し、必要に応じてディスクをクリーニングしてください。クリーニングをしても取り除けない傷やよごれがある場合、物理フォーマットはしないでください。
- 途中で物理フォーマットに失敗した、または中止したディスクを使用する場合は、物理フォーマットを最初からやり直す必要があります。
- ディスク内部の欠陥数が、本機の管理上限を超えた場合、物理フォーマットをしても使用できません。
- 物理フォーマットでエラーが発生すると、表示窓に「ERR－01」が表示されます。
  このエラーメッセージを消すときは、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

DVD-R／RW（Videoモード）で録画するときの設定



他のDVDプレーヤーで見るためなどの目的で、Videoモードで録画（32ページ）したいときに必要な設定です。

設定する項目

Videoモードで録画する場合、DVD-Video規格による制約があります。そのため、録画する前に以下の設定をしておく必要があります。のちに内蔵HDDからDVD-R/RW（Videoモード)にダビングする場合も、あらかじめ設定しておいてください。

●DVD互換モード

DVD-Video規格によって、音声は主音声か副音声かのどちらかしか記録できません。

切：
DVD-Video作成を前提としていません。画質・音質の設定によっては、DVD-Video作成ができない場合もあります。（Videoモードのディスクに直接録画するときは、「切」を選んだ場合も「入（主音声）」で録画されます。）

入（主音声）：
音声多重放送の場合、元の主音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

入（副音声）：
音声多重放送の場合、元の副音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

※外部入力から録画するときは、この設定によらず入力された音声信号がそのまま記録されますので、記録したい音声を外部機器側で選んでおいてください。

●画面比（アスペクト比）

DVD-Video規格によって、1タイトルの中に通常の4：3放送と16：9スクィーズ放送の混在ができません。
そのため、録画前に、「4：3」か「16：9」の画面比を固定して選ぶ必要があります。

4：3固定： アスペクト比を4：3で固定します。
16：9固定： アスペクト比を16：9で固定します。

●チャプター分割

1タイトルをいくつかのチャプターに分ける設定です。チャプターを作ることで、シーンをとばすときに便利です。

切：チャプターの分割をしません。
5分、10分、15分、20分：
チャプター分割の間隔を選びます。
・チャプター数が上限に達したときは、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態で変わります。

お知らせ

・「Video モード記録時設定」は初期化していない DVD-R や Video モードで初期化した DVD-RW ディスクを使用する場合にだけ有効です。
・「Video モード記録時設定」は「ダビング」の際には働きません。

設定のしかた

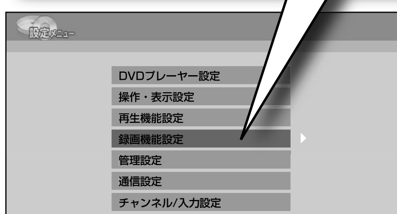
1 停止中に、「設定メニュー」を押す



設定画面が表示されます。

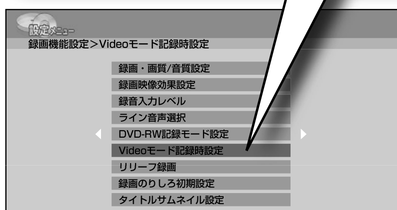
2 「録画機能設定」を選び、「決定」を押す





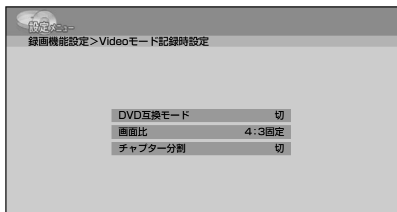
3 「Videoモード記録時設定」を選び、「決定」を押す





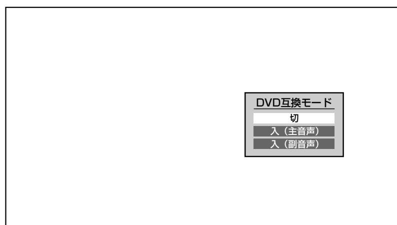
4 方向キー（▲/▼）で項目を選び、「決定」を押す

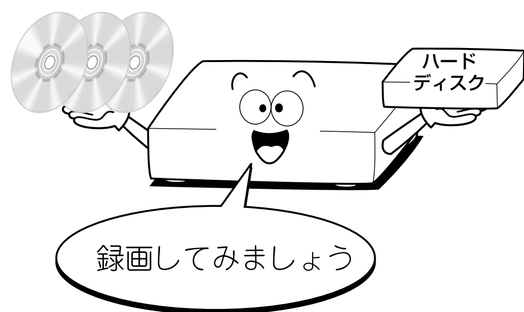




5 方向キー（▲/▼）で内容を選び、「決定」を押す







録　画

録画中にコピーガード信号を検出した場合には、録画は自動的に一時停止し、画面にはメッセージが表示されます。この状態は「一時停止」ボタンを押しても解除できません。(「停止」ボタンで録画を停止させることはできます)コピーガード信号が継続して検出されると録画を停止します。

制限事項と免責事項および動作環境

番組表の番組データをご使用になるにあたっての制限事項と免責事項、動作環境です。

ADAMS での制限事項

- ADAMSの番組データは、テレビ朝日系列から送信されています。テレビ朝日系列を受信できない以下の地域では、ADAMSによる番組データ提供サービスを利用することができません。（2005年1月現在）
  富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、宮崎
  上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。
- ADAMSによる番組データの提供は、2005年1月現在、以下の地域では通常当日を含めて8日分(ただし一部局は2日分)です。
  北海道、関東(栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川)、中部(愛知、岐阜、三重)、関西(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)、福岡(ただし一部局を除く)
  その他の提供地域は2日分になります。
- 番組表を開いた現在時刻より過去の番組表は表示されません。そのため、8日分または2日分のすべての番組表が表示されない場合もあります。
- ADAMSによる番組データ提供サービスで番組データが提供される放送局や番組データの提供日数は、将来変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ADAMSによる番組データ提供サービスは、将来地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、2011年までに中止や廃止となります。あらかじめご了承ください。
- お買い上げ後、番組ナビ設定をしてから番組データをはじめて受信するまで一日程度かかる場合があります。
- 一部のCATVでは、ADAMSからのデータを受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、気象条件や電波環境(不法電波混入やゴーストなど)によって送信電波が弱くなり、正常に受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、マンションなどの共同受信システムでは受信できないことがあります。
- ADAMSによる番組データの受信中に以下のことが行なわれると、受信を延期し、次回のADAMSデータ受信時刻に再受信を試みます。
  – テレビ朝日系列局以外の録画・予約録画の開始
  – HDDの初期化
  – 本機の電源を切った場合
  – 「ワンタッチダビング」が押された場合
  – iNETからの番組情報取得
  – 「ネットdeナビ」機能のネットdeナビ設定で「登録」が押された場合
  – ソフトウェアのダウンロード作業
  また、各ナビ画面、ライブラリ画面などを表示しているときや、外部接続(ライン)を録画中、レート変換ダビング中にADAMS受信時刻になった場合も同様に受信を延期し、次回配信時刻に再受信を試みます。
  また、ADAMS受信時刻から20分以内に予約録画が開始される場合は、ADAMSの受信は延期されます。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回配信時刻にデータを取得し、再表示ができます。
  – HDDを初期化(全削除)した場合
  上記の作業をする場合は、直後に番組ナビ機能を使用する予定がないかご確認ください。
- 以下の作業を行なったあとに、ADAMSによる番組データの受信を中断すると、番組表が空の状態になる場合があります。
  – 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  – 「番組ナビチャンネル設定」の「チャンネル表示／順変更」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  – 「設定メニュー」の「操作・表示設定」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  – 「設定メニュー」の「チャンネル／入力設定」の「地上アナログ設定」で、地域設定を変更した場合
- 予約名や番組タイトルは、途中で切れて番組説明の冒頭についたり、番組説明の冒頭部が予約名や番組タイトルの後ろについてしまうことがあります。
- 「番組ナビチャンネル設定」で多くのチャンネルを追加し、取得する番組データが多量になったときには、一部の番組データを取得できなくなる場合があります。このとき、遠い日付の番組データから取得されなくなります。
- 再生中にADAMSデータの受信を行なうと、再生が一時的に止まることがあります。

iNET での制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部またはすべてが使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください(携帯電話によるメール予約の送受信の費用も含む)。なお、プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に10BASE-Tまたは、100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約借款などによって、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります）
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリー 5と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。
- iEPGと、「録るナビ」や「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明はサーバーから提供されるデータが異なるため、同一の内容にならない場合があります。また、サーバーから提供されるデータは取得した時期やサイトによっても内容は異なります。

- iEPGと「録るナビ」や「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明は、起動する状況や画面によって、表示する内容が異なります。番組ナビや放送表示中の画面では基本的にリアルタイムにサーバーの情報を確認します。録るナビでは予約設定時の内容または、一日1回更新された内容が、見るナビ、ライブラリ、編集ナビでは、録画時の内容が表示されます。リアルタイムに表示するものを除き、保存できる文字数は番組名が全角で最大32文字、番組説明は全角で最大400文字です。
また、サーバーで提供されるデータは取得した時期、サイトによっても内容は異なり、同一の内容にならない場合があります。
- 番組情報はランダムな日時に更新されますが、他の操作や動作と重なった場合は更新が延びる、またはできない場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができます。(再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります。)
  - 「番組ナビ設定」で「番組データダウンロード」の設定を変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」の「チャンネル表示／順変更」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  - 「操作・表示設定」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  - 「チャンネル／入力設定」の「地上アナログ設定」の「地域選択」で、地域設定を変更した場合
  - HDDを初期化(全削除)した場合

  上記の作業をする場合は、一つずつではなくできるだけまとめて行なうことをお勧めします。
- 自動毎○(毎日や毎週など)予約設定は、日刊編集センターから提供される、地上波アナログ放送で放送される一部のドラマに関してだけ対応しています。

デジタル放送の番組表での制限事項

- 番組表取得のため、毎日3時間以上、本機の電源を待機状態(リモコンで電源を切った状態)にしてください。
デジタル放送の場合、番組についての情報(番組名や放送時間など)が放送電波の中にはいって送られてきます。本機はその番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、予約などに使用します。そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されないといったことが起きます。番組情報の取得は電源待機時に行なわれます。(本体の電源プラグを抜いている場合や、「番組ナビチャンネル設定」で各デジタル放送の「表示」のチェックマークをすべてはずしている場合(➡操作ガイド26ページ)には、番組情報は一切取得できません。)

  [詳しい説明]
  電源が「入」のときにも番組情報の取得は行なわれますが、今ご覧のデジタル放送以外の放送については、番組情報を取得できない場合があります。(デジタル放送の種類や本機のそのときのモードによって、取得できる内容は異なります。)
  また、本体の電源プラグを抜いている場合や、「番組ナビチャンネル設定」で各デジタル放送の「表示」のチェックマークをすべてはずしている場合(➡操作ガイド26ページ)には、番組情報は取得できません。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表に表示されません。
- お買い上げ後、デジタル放送のチャンネル設定をしてから番組データをはじめて受信するまで一日程度かかることがあります。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。
- 番組情報取得中に、番組説明を表示したり、日時切換をしたり番組表から予約をしようとしたり、放送や放送メディアを切り換えると、番組情報取得を中止します。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。
- 移動体受信サービスについては、数番組しか表示されない場合があります。

その他の制限事項

- 番組表の番組名や放送時間と、番組説明の内容とは一致しないことがあります。
- 番組説明を表示する際は、可能なかぎり全番組名や番組説明を表示しますが、予約情報や録画結果には、番組名は最大32文字、番組説明は最大400文字(全角換算)までしかはいりません。
- 番組表と、番組リスト、検索結果、番組説明の結果がそれぞれ異なる場合があります。番組表や検索結果、番組説明、予約画面で表示される番組のジャンルを表す記号(マーク)は目安です。
- 「人名で検索」で表示される人名選択リストは、チャンネル設定で登録している放送局の番組に出演しているおもなタレントのリストで、情報提供サイトで作成したものです。番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。
- 番組リスト「お気に入り」の検索対象は番組名＋サブ番組名の先頭から64文字と出演者情報(漢字＋読み)(番組説明で表示される出演者情報とは異なる場合があります)です。よって、キーワードが番組説明に含まれていても「お気に入り」にはいらない場合があります。また、キーワード変更や追加のお気に入り結果の反映は次回の番組表更新時以降に直近の日付からになります。(iNETの番組データの場合、番組表一週間分がお気に入りの対象となる場合には数日要します。)

- 外部機器の接続などによって、「番組ナビチャンネル設定」で同じチャンネルに対してADAMSとiNETを併用して設定した場合、「番組ナビ」の各検索機能の結果がADAMSとiNETで異なることがあります。
- ADAMSの番組データとiNETの番組データは内容が異なることがあります。
- ネットワークの障害などによりiNETから番組情報を取得できないために、ADAMSやデジタル放送波から取得済みの番組表や番組説明も表示できない場合があります。その場合は番組ナビのiNETのチェックをはずすと、ADAMSやデジタル放送波の番組表や番組説明が表示できます。
- デジタル放送の番組表の取得をしている場合、ジャストクロック機能はデジタル放送の番組データ配信の放送波を利用して自動で調整されます。また、デジタル放送の番組表の取得をしないでADAMSの番組表を利用している場合は、ADAMS配信の放送波を利用してジャストクロック機能が調整されます。したがって、上記に該当する場合はジャストクロックの設定は固定になり選択することができません。

免責事項

- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 番組ナビはDEPG機能に番組内容を表示する機能を提供するもので、表示する内容に関しては一切の責任を負いません。
- 検索結果やお気に入りの番組リストの結果は指標としてお使いください。結果については保証いたしません。
- 本機能によって、接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- iNETを利用する設定にした場合､DEPG機能では､サーバーにアクセスしてデータを取得します。サーバー側では、お使いの機器で設定されたチャンネルやキーワード、録画予約に基づいて、番組名、番組説明などの番組データを機器に送信し、番組ナビや録るナビで表示します。サーバー側にはお客さまのアクセスログとして履歴が蓄積されますが、この情報で個人を特定することはありません。
  これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。情報の取り扱いについては東芝の個人情報保護方針
  (http://www.toshiba.co.jp/privacy/)をご覧ください。
- ダウンロードした番組表のデータには再放送番組の情報(人名や番組説明など。また再放送番組は番組タイトルが異なる場合があります｡)が含まれていない場合があります。
- iEPGなどのネットワークサービスを前提とするデータの提供は、その継続を永久保証するものではなく、予告なく一時停止したり終了する場合があります。
  ADAMSやiNETから提供されるサービスやDEPGは、お客様への予告無く一時的に停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ネットワーク動作環境

本機は、IEEE（米国電気電子技術者協会）802.3規格に準拠しています。番組ナビ機能をお使いいただくためには、以下の環境が必要です。

- DEPGのiNETを利用するには、インターネット常時接続が必要(ブロードバンド接続を必須)
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター
  (DHCP機能搭載を推奨)
- 有線のLAN接続が家庭の環境で困難な場合
  無線LANアクセスポイントと本機につなぐ無線LANイーサネットアダプタ(市販品)

お知らせ

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されていますので、東芝ホームページをご覧くださることを、お勧めいたします。番組データサーバーに関するメンテナンス情報や、トラブル情報につきましては、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。
  http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/

■「放送メディアをこえたシームレスな番組表表示」

iNET で取得できる番組情報は地上アナログ放送、BS アナログ放送、BS デジタル放送（テレビ放送のみ）、専門チャンネル、スカパー！です。
これらの放送局の中から好きなチャンネルを最大 50 チャンネルまで任意に登録できます。登録にあたっては、同一ジャンルのチャンネルを並べるなど、お好みの放送局順に並べ替えることもできます。
地上アナログ放送以外の外部チューナー、たとえば CATV ターミナル等からライン入力で録画する場合は、別途、それぞれのチューナーでの予約が必要となります。

同時録画について

本機では、以下の二とおりの場合に、同時刻または放送時間が重なる二つの録画／予約録画ができます。目的にあわせて同時録画を使いこなしましょう。

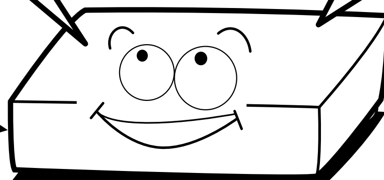
同時録画その 1

●デジタル放送の TS 録画（TS 画質で HDD に録画）と、地上アナログ放送の録画

地上アナログ放送または外部機器チューナーからの、VR モードや Video モードで録画する

デジタル放送を HDD へ TS 録画する

同時録画 OK!



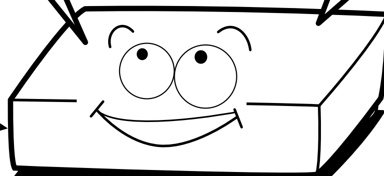
同時録画その 2

●デジタル放送の TS 録画（TS 画質で HDD に録画）と、同じ番組を DVD ディスクに VR/Video 録画

同じ番組を DVD へ TS 画質以外で録画する（ディスクはコピーワンス対応のディスクをお使いください。）

デジタル放送を HDD へ TS 録画する

同時録画 OK!



※同時録画について詳しくは➡操作ガイド 11 ページをご覧ください。

番組を録画する

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

準備

- DVD-RAM/R/RWに録画するときは、ディスクを入れます。
- DVD-R/RWに録画するときは、はじめに必要な設定をしてください。(40ページ)



1 録画先のボタンを押す

HDD：内蔵 HDD（ハードディスク）
DVD：DVD ディスク

- TS録画（デジタル放送をTS画質で録画する）の場合は、HDDを選択します。

2 「放送切換」を押して、録画したい放送を選ぶ

本体表示窓

地上A-
地上D-
BS-
CS-

地上A：地上アナログ放送
地上D：地上デジタル放送
BS　：BSデジタル放送
CS　：110度CSデジタル放送

- ボタンを押すたびに、地上A→地上D→BS→CS→地上A…と切り換わります。

3 録画するチャンネルを選ぶ

- チャンネルボタン・番号ボタン・「チャンネル番号入力」ボタンで選局します。（チャンネルの選びかたについて詳しくは22ページをご覧ください。）
- 有料放送（PPV：ペイ・パー・ビュー）の番組を録画する場合は、別途録画購入の操作をします。（25ページ）

4 「録画モード」を押して録画画質を選ぶ

（例）本体表示窓

HD/SD SP LP MN

- 押すたびに、録画・画質／音質設定（お好み設定）の設定No.順（例：SP→LP→MN→MN→MN→（消灯：HD/SD点灯）→SP…）と切り換わります。
- TS録画の場合は、消灯の状態にしてください。

例：DVD-RAM片面4.7GBに録画した場合の目安（TS録画をのぞく）

録画モード	録画時間	画質
SP	約2時間*1	標準
LP	約4時間*1	SPより劣る
MN	自由に変更できます。詳しくは37ページをご覧ください。	
消灯：HD/SD点灯（TS）※HDDでデジタル放送のときのみ	（放送内容とHDDの空き容量によって変動します）*2	HD（デジタルハイビジョン画質）／SD（デジタルスタンダード画質）

*1 DVD-RAM片面4.7GBに記録した場合の目安です。
*2 詳しくは125ページ「録画可能時間一覧表」をご覧ください。

5 「録画」を押して、録画をはじめる

- 1回で連続して録画できる時間は、TS録画で24～27時間程度（放送内容によっては、この範囲をはずれる場合もあります）、その他の録画で最長9時間です。
  これを超えると、自動的に停止します。

お知らせ
- 録画中のタイトルは、録画モードの変更ができません。
- 「表示窓切換」ボタンを押して、表示窓にビットレート表示(「BITRATE」)を点灯させせると、モードとレートが確認できます。
- デジタル放送のラジオ番組および独立データ放送は録画できません。
- TS録画(TS画質で録画)の場合、電波の状態によって正しく録画できないことがあります。
- TS録画の場合、HDD内の録画済みのTS録画タイトルの内容によっては、空き容量があっても録画が開始されないことがあります。
- TS録画中は、データ放送の操作は正しく動作しません。
- 画質がTS以外の録画では、字幕放送は録画されません。
- 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAM/R/RWは99、内蔵HDDは792です。これを超えると空き容量があっても録画ができなくなります。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- モノラル放送は、録画すると左右に同じ音声が記録されます。
- 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を録画したときは、ステレオ音声(主+副)として記録されます。
- DVD互換モード(⇨40ページ)「切」で録画する場合、再生時に音声の主・副が切り換えられますので、二カ国語放送録画が可能です。再生時は「音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
- DVD互換モード(⇨40ページ)「入」で録画した場合は、再生時に音声の切換えができません。特に外部入力で二カ国語音声の番組を録画するときは、ご注意ください。
- ディスクの記録状態によって、「録画」ボタンを押してから実際に録画が始まるまでの時間には若干の差があります。
- 録画中に予約録画の開始時刻になると、現在の録画を中止して予約録画を優先して開始します(一部例外もあります。⇨操作ガイド11ページ)。現在の録画を継続するには、録画予約を取り消してください。
- レート1.4または1.0Mbps、画面比16:9の設定でDVD-R/RWに録画すると、画面比を4:3に変更して録画されます。

録画を停止する／一時停止をする

停止

「停止」を押す

録画を終了します。

一時停止

録画中に「一時停止」を押す

もう一度押すと、録画がはじまります。

お知らせ
- 録画中に一時停止することで、自動的にチャプターの境界ができます。

録画中にチャプターを作成する

録画中に「チャプター分割」を押す

チャプター分割

押したところにチャプター境界ができ、その前後が別々のチャプターになります。

お知らせ
- DVD-R/RWに録画したタイトルは、あとからチャプター分割できません。
- TS録画(TS画質で録画)の場合、放送の内容によってはチャプター分割ができなかったり、正しい場所で分割されないことがあります。

録画チャンネルを変える

1) 録画中に「一時停止」を押す

一時停止

録画が一時停止します。

2) 「チャンネル」を押し、録画するチャンネルを変える

チャンネル

3) 「一時停止」を押し、録画を再開する

録画中に、録画の終了時刻／終了後の状態を設定する

1) 録画中に「クイックメニュー」を押す

クイックメニュー

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー(▲/▼)で「録画終了時刻／電源設定」を選び、「決定」を押す

決定

例

3) 終了時刻と、終了後の状態を設定する

4) 「決定」を押す

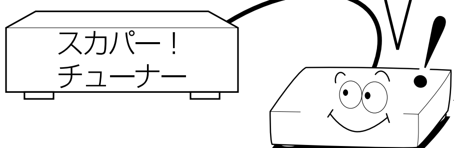
終了時刻を設定したあと、設定時刻より前に録画を停止する場合は、本体の「停止」(■)を2回押します。

お知らせ
- 録画終了時刻を設定すると、録画予約となって本体表示窓に録画予約表示(「🕘」)が点灯します。
- 終了時刻は、現在の時刻よりも5分以降の時刻にしか設定できません。
- 終了時刻を設定しても空き容量がなくなると録画を終了します。
- 終了時刻1分前を過ぎると終了時刻の変更はできません。また、一度指定した時刻より前の時刻を設定することや、A1/A2録画中の変更はできません。
- 予約内容によっては、設定できない場合があります。

スカパー！チューナーから録画する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

スカパー！チューナーを接続して、スカパー！（SKY PerfecTV!)を見たり、録画できます。
スカパー！放送の視聴には、受信契約が必要です。
チューナーの取扱説明書もご覧ください。



スカパー！チューナーを使うには、おもに二つの方法があります。

ケース1

スカパー！連動機能を使わず、スカパー！チューナーのチャンネル切換で選局して本機で録画します。
・スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。このとき、スカパー！連動ケーブルは不要です。映像・音声接続コードで接続してください。⇨接続・設定編21ページ

ケース2

スカパー！連動機能を使って、選局／録画します。連動機能を使うと、本機からスカパー！チューナーを制御して、スカパー！チューナーの選局ができます。
1）スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。
このとき、映像・音声コードとスカパー！連動ケーブル両方を接続します。
⇨接続・設定編21ページ
2）スカパー！連動設定をします。（スカパー連動を「入」）
⇨接続・設定編75ページ
3）番組ナビチャンネル表示局登録をします。⇨操作ガイド26ページ
（本機をインターネットに常時接続している必要があります。）



ケース1 ：スカパー！連動機能を使わず録画

1 「入力切換」をくり返し押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン1」、「ライン2」または 「ライン3」を表示させる

入力切換

押すごとに表示が切り換わります。
ライン1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
ライン2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
ライン3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

2 スカパー！チューナーのチャンネル切換で選局する

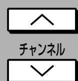
3 「録画」を押す

録画

録画が始まります。

ケース2 ：スカパー！連動機能を使って録画（本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

1

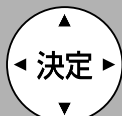


「チャンネル（︿／﹀）」を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン1」、「ライン2」または「ライン3」を表示させる

ライン1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
ライン2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
ライン3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

- ライン1～3に切り換えるとチャンネル選択画面が表示されます。
  ライン1～3の切り換えは「入力切換」ではできません。

2



スカパー！チャンネル選択画面で方向キーを押してチャンネルを選び、「決定」を押す



- 頁（|◀◀／▶▶|）：前後のページに移動します。
- 番組ナビのチャンネル表示局登録がされていないと、選択画面は表示されません。

3



「録画」を押す

録画が始まります。

クイックメニューからのチャンネル選択

スカパー！チャンネル選択画面を、クイックメニューから表示できます。

1) 「チャンネル（︿／﹀）」を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン 1」、「ライン 2」または「ライン 3」を表示させる

2) 停止中に、「クイックメニュー」を押す

クイックメニュー　クイックメニューが表示されます。

3) 方向キー（▲／▼）で、「スカパー！チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

スカパー！チャンネル選択画面が表示されます。

外部機器から録画する

HDD | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-RW（Videoモード） | DVD-R（VRモード） | DVD-R（Videoモード）

ビデオデッキ、デジタルチューナーなどを接続して、それら外部機器からの番組を本機で録画します。



はじめに、本機と外部機器を接続します。（次ページの接続図を参照ください。）

1 「HDD」または「DVD」を押し、記録先を選ぶ

HDD：内蔵HDDに録画します。

DVD：DVDディスクに録画します。

2 「入力切換」をくり返し押して、本体表示窓に「L-1」、「L-2」、「L-3」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1：背面の入力1端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-2：前面の入力2端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-3：背面の入力3端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-U：再生している番組を録画します。（96ページ）

3 外部機器を再生状態にする

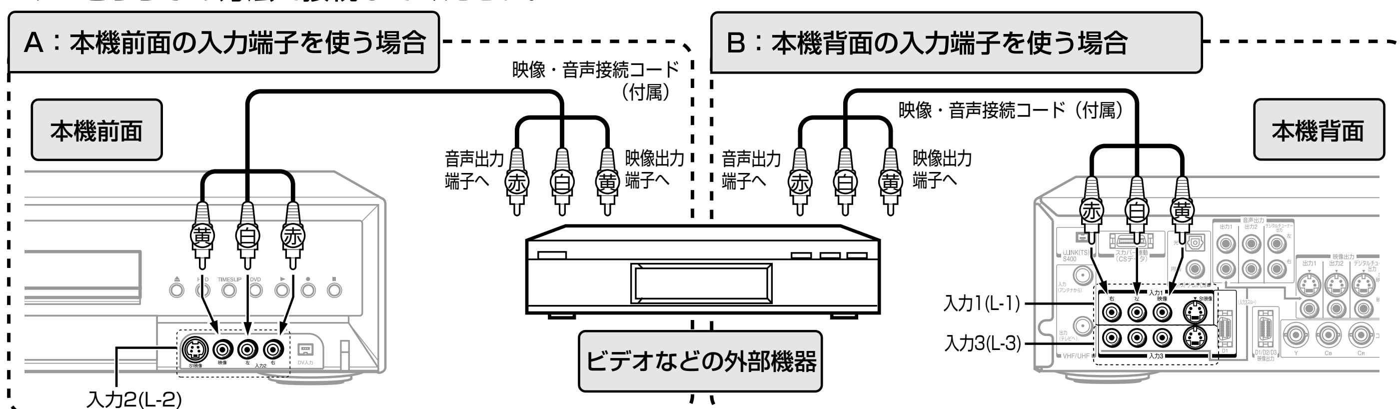
4 「録画」を押して、録画をはじめる

•録画を終了するときは、「停止」を押します。

お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機は従来の音楽用CDの音声帯域にしか対応できません。本機から出力される音声や記録される音声は、L-PCMを選んだ場合でも従来の音楽用CDと同等の音質になります。接続する機器の説明書もご覧ください。
- DVD-R/RW（Videoモード）に録画する場合やあとで書き込む場合には、あらかじめ接続されている機器側で希望する音声を選んでおいてください。（たとえば二カ国語放送で日本語を選ぶ。）
- 録画が禁止または制限されている映像（コピー禁止やコピーワンス）はDVD-R/RW（Videoモード）に録画できません。コピーワンスの映像は、内蔵HDD、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）（いずれもCPRM対応ディスク）に録画できます。
- 本機に接続する外部機器の種類や状態によっては、本機を通して見ている映像・音声が乱れたり、録画した内容の映像・音声が乱れる場合があります。

A、Bどちらかの方法で接続してください。

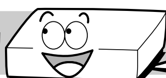


- より鮮明な映像で録画するには、D1端子（入力3のみ）またはS映像端子で接続してください。
- 映像端子（黄）とS映像端子、D1端子が同時に接続されている場合は、D1端子→S映像端子→映像端子（黄）の順で優先されます。
- 外部機器から録画するときの入力音声の種類が選べます。「録画機能設定」の「ライン音声選択」をご覧ください。(➡114ページ)
- カメラ一体型ビデオを再生するときは、バッテリーではなく、ACアダプターを使ってください。
  録画中にバッテリーが消耗すると、正しく録画できないことがあります。

番組表を活用する

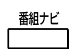
録画予約をするには番組表をお使いになると便利です。ここでは番組表を使った録画予約の流れと、おもな番組検索の機能について紹介します。
その他番組表について詳しくは操作ガイド「番組ナビ」の章をご覧ください。

かんたん録画予約

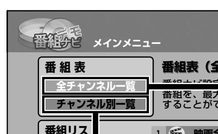


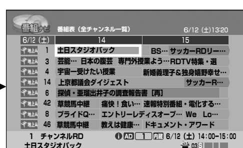
新聞や雑誌のテレビ欄から番組を選ぶ感覚で簡単に録画予約ができます。
詳しくは次ページからご覧ください。

1) 番組表を表示する

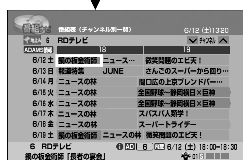


を押す



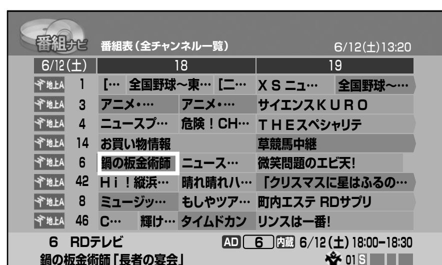


全チャンネル一覧
全チャンネルの番組を表示します。

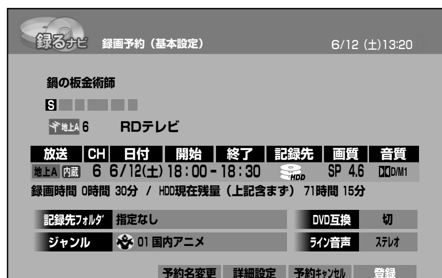


チャンネル別一覧
一つのチャンネルの約8日分の番組を表示します。

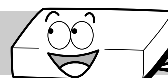
2) 番組を選ぶ



3) 録画予約をする

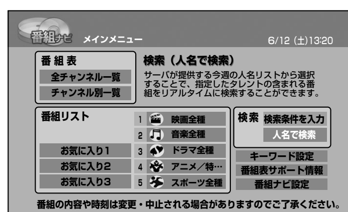


便利な検索機能



その 1．人名検索 57 ページ

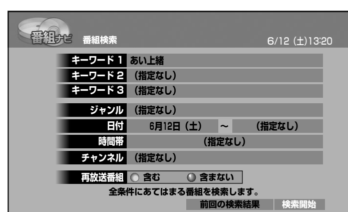
番組データに含まれている人名一覧から選択して、その人名に関連する番組の検索ができます。
（※デジタル放送の番組では利用できません。）



①番組ナビメインメニューから「人名検索」を選択

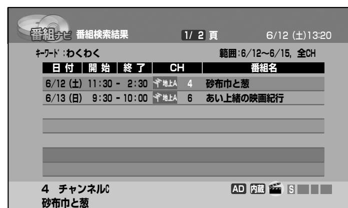


②お好みの人名を選択



③検索開始

選択した人名を含む番組がリスト表示されます。



④ここから番組を選んで録画予約もできます。

その 2．検索条件を入力 56 ページ

自分で入力したキーワードを含む番組を検索します。

その 3．同名番組検索 操作ガイド 32 ページ

同じ名前の番組を検索します。

その 4．番組リストで検索 操作ガイド 35 ページ

あらかじめ登録をしておいたキーワードを含む番組が自動的にリストアップされます。

番組表から録画予約をする

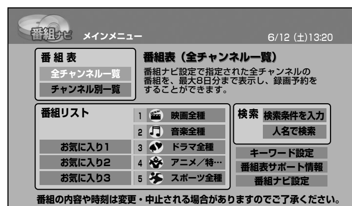
準備

・番組表をお使いになる前に、あらかじめ「番組ナビ」の設定をして番組表が表示できる状態にしてください。
接続・設定編50ページ

・番組ナビの「番組表」を使えば、簡単に番組を録画予約できます。また、録画タイトル、番組説明などの番組情報が自動的に記録されます。
・本機に接続した外部機器（CS チューナー／ BS デジタルチューナーなど）の番組を録画する場合は、外部機器による録画設定が必要です。詳しくは 50 ページをご覧ください。

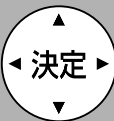


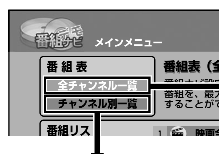
1 「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

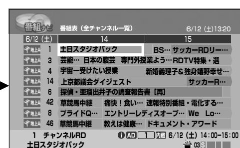


「番組ナビ　メインメニュー」が表示されます。

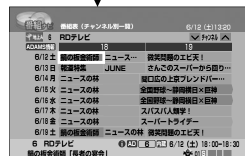
2 「全チャンネル一覧」または「チャンネル別一覧」を選び、「決定」を押す







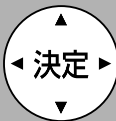
全チャンネル一覧
全チャンネルの番組を表示します。

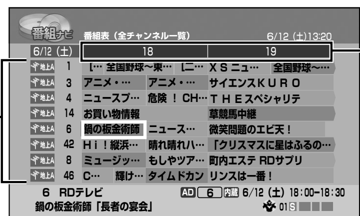


チャンネル別一覧
一つのチャンネルの約8日分の番組を表示します。

・番組表をはじめて表示したときは、現在日時・チャンネルで表示されます。
・次回以降は、前回表示した日時で表示されます。
・前回表示した番組表の日時が過去日時である場合は、現在日時で表示されます。

3-A 「全チャンネル一覧」の場合：録画したい番組を選び、「決定」を押す





時間帯表示（クイックメニューの表示モード切換で「2 時間」「4 時間」「6 時間」と表示が切り換えられます。58ページ）

登録してあるチャンネルが表示されます。方向キー（▲/▼）で表示チャンネルがスクロールします。

●**現在の日時を表示するには**：
クイックメニューを押して、「現在日時へジャンプ」を選択し、「決定」を押す。

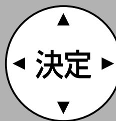
●**指定した日時を表示するには**：
クイックメニューを押して、「日時指定ジャンプ」を選択し、「決定」を押す。

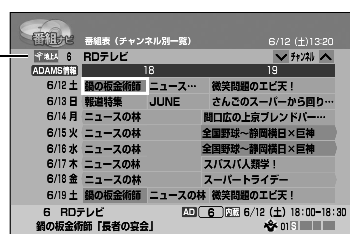




方向キーで表示したい日時を選び、「決定」を押す。

3-B 「チャンネル別一覧」の場合：録画したい番組を選び、「決定」を押す





現在選んでいるチャンネルが表示されます。（ラインを選んでいるときは異なります。）

●**現在の時間を表示するには**：
クイックメニューを押して、「現在時間へジャンプ」を選択し、「決定」を押す。

●**指定した時間を表示するには**：
クイックメニューを押して、「日時指定ジャンプ」を選択し、「決定」を押す。



「ジャンプ先時間指定」画面で方向キーで表示したい時間を選び、「決定」を押す。

（つづく）

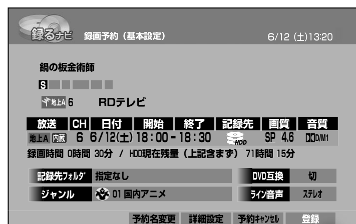
番組表から録画予約をする（つづき）

4

「録るナビ　録画予約」が表示されます。

設定項目を変更する場合は予約項目を選び、「決定」を押す

変更のしかたは 61 ページをご覧ください。



「登録」を選び、「決定」を押す

●有料放送（PPV：ペイ・パー・ビュー）の番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。（25ページ）
※録画購入をしないと、録画ができません。

●視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、制限を変更または解除する。（25ページ）

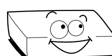
または

放送が開始される前に、制限を変更または解除しておく。（接続・設定編68、69ページ）
※制限を変更または解除しないと、録画ができません。

お知らせ

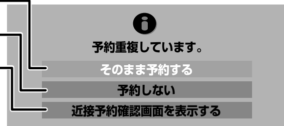
• 番組表から選択して予約した番組の予約時刻やチャンネルを変更した場合、正しい番組名や番組説明が表示されないことがあります。

■録画予約の重複について



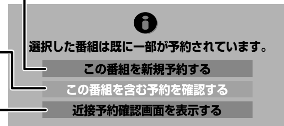
番組表を使って録画予約するときに、他の予約と録画時間帯が重複している場合や、すでに同じ番組が録画予約されている場合、以下のアラートが表示されます。
項目を選択し、「決定」を押してください。キャンセルする場合は「戻る」を押してください。

そのまま新規予約します。
予約せずに番組表に戻ります。
近接予約確認画面を表示し、予約時間帯が重複している番組を確認します。



同じ番組を再度予約する場合

そのまま新規予約します。
すでに予約されている番組の録画設定の確認／変更／キャンセルが行えます。
近接予約確認画面を表示し、予約時間帯が重複している番組を確認します。



番組追っかけ機能について　※無料バージョンアップ前（デジタル放送のリアルタイム追跡）

●この機能の設定については 接続・設定編 50 ページをご覧ください。

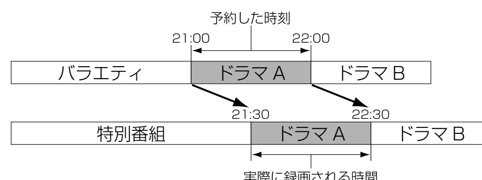
放送時間が変更しても逃さず録画！

・番組ナビ（番組表・番組説明）から録画予約した地上デジタル、BS/110度CSデジタル放送の番組の放送時間に変更があった場合、予約の録画開始-終了時刻を自動的に変更する機能です。
・予約録画開始時間以降の番組開始-終了時刻の変更に対応し、予約録画開始-終了時刻を自動的に変更します。例えば、野球中継の延長などで、番組の開始-終了時刻が番組表上で確定しない場合に力を発揮します。

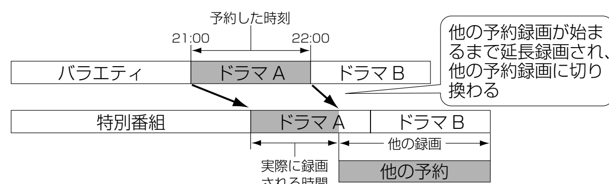
以下の条件を満たしている場合番組追っかけ機能が動作します。
1.「番組ナビ設定-番組ナビチャンネル設定」でデジタル放送の表示にチェックをしている。（操作ガイド26ページ）
2.「番組ナビ」からの録画予約である。
3. 録画予約（詳細設定）画面の「番組追っかけ」が「入」の予約である。
4. デジタル放送を利用するチャンネルの録画予約である。

例：21:00～22:00まで放送予定のドラマAを予約。

①予約後、ドラマAの前に特別番組が入り、放送時刻が変更された場合。
放送時刻変更にあわせ、予約の開始-終了時刻が自動的に変更されます。



②ただし、時間変更すると他の予約録画と重なってしまう場合 *1 は、次の予約録画が開始されるまで録画されます。
*1 TS 録画と VR/Video 録画の組合せの場合は、同時録画が可能なので除きます。



「録るナビ」の「録画予約一覧」「録画予約詳細」画面では、状況に応じて以下のアイコンが表示されます。

録画予約一覧	録画予約詳細	アイコンの意味
×追	×追跡無効	• 録画開始／終了時刻やチャンネルを手動変更するなどして、番組追っかけの対象外となった予約 • 録画予約（詳細設定）で「番組追っかけ」を「切」にしている場合

お知らせ

• 録画の開始 / 終了時刻や録画チャンネル、日付を手動変更した場合は、番組追っかけの対象外となります。
• 予約時刻の自動変更は、予約時の開始時刻後 3 時間以内に放送開始時刻が確認できれば、予約時刻の変更が行なわれます。確認中にデジタル放送のチャンネルを変更すると、リアルタイム追跡は中断します。
• 放送開始時刻の前倒しには対応しません。
• A1/A2 画質で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、予約時間の変更をして録画時間がふえた場合、番組がディスクに入りきらなくなる場合があります。また、番組追跡対応の結果、残量計算値も変動します。
• 予約名を手動変更していても、録画されたタイトル名は番組データからの番組名に更新されます。

※無料バージョンアップは 2005 年夏頃までに行なわれる予定です。(時期は変更される場合があります。)
無料バージョンアップの時期や方法については、ホームページ　http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/　でご確認ください。

番組追っかけ機能について　※無料バージョンアップ後

●この機能の設定については接続・設定編 50 ページをご覧ください。

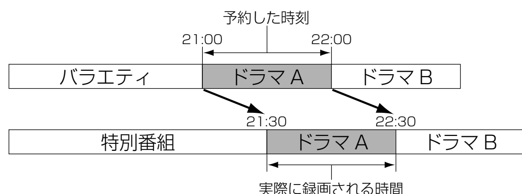
放送時間が変更しても逃さず録画！

・番組ナビ(番組表・番組説明)から録画予約した番組の放送時間に変更があった場合、番組表上の更新に合わせて予約の録画開始-終了時刻を自動的に変更する機能です。
・地上デジタル、BS/110度CSデジタル放送の番組の場合は、番組表の更新がなくても、予約録画開始時間以降の番組開始-終了時刻の変更に対応し、予約録画開始-終了時刻を自動的に変更します。例えば、野球中継の延長などで、番組の開始-終了時刻が番組表上で確定しない場合に力を発揮します。また、番組の臨時編成で放送チャンネルが変更になった場合にも対応します。

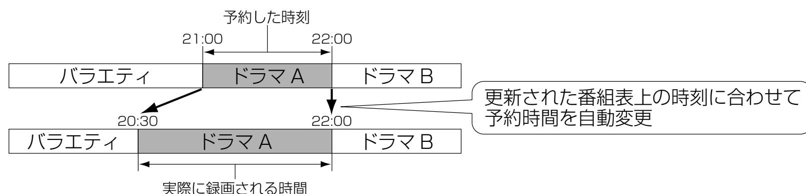
以下の条件を満たしている場合番組追っかけ機能が動作します。
1.「番組ナビ設定-番組データダウンロード」でADAMS、iNETを選択、もしくは「番組ナビチャンネル設定」でデジタル放送の表示にチェックをしている。(操作ガイド26ページ)
2.「番組ナビ」からの録画予約である。
3. 録画予約(詳細設定)画面の「番組追っかけ」が「入」の予約である。
4. ADAMS、iNETまたはデジタル放送を利用するチャンネルの録画予約である。

例: 21:00〜22:00まで放送予定のドラマAを予約。

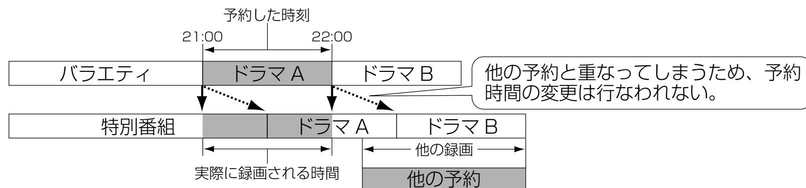
①予約後、ドラマAの前に特別番組がはいり、番組表が変更された場合。
番組表上の放送時刻変更にあわせ、予約の開始-終了時刻が自動的に変更されます。



②番組表上で放送開始時間が前倒しになった場合でも、予約時刻は自動的に変更されます。



③ただし､時間変更すると他の予約録画と重なってしまう場合 *1 は､変更前の予約時刻のままで録画されます。デジタル放送の場合は、予約変更され、他の予約録画が開始されるまで録画されます。
*1 TS 録画と VR/Video 録画の組合せの場合は、同時録画が可能なので除きます。



「録るナビ」の「録画予約一覧」「録画予約詳細」画面では、状況に応じて以下のアイコンが表示されます。

録画予約一覧	録画予約詳細	アイコンの意味
追	追跡 (青色)	・番組追跡の結果、予約時間が自動変更された予約
追	追跡 (緑色)	・番組開始時刻リアルタイム追跡中 (デジタル放送の場合のみ)
×追	×追跡無効	・録画開始／終了時刻やチャンネルを手動変更するなどして、番組追跡の対象外となった予約 ・録画予約（詳細設定）で番組追っかけ「切」を選択している場合
?追	?追跡不可	・番組追跡に失敗した場合。または追跡の結果、他の録画予約と重なるため、予約時刻が変更されていない予約 ・最大録画可能時間を超えた予約

お知らせ

• 録画の開始 / 終了時刻や録画チャンネルを手動変更した場合は、番組追っかけの対象外となります。
• 番組追跡で予約時刻の自動変更ができるのは、予約時の開始時刻の前後 2 時間以内の変更と、予約時の録画時間 (開始時刻〜終了時刻) の前後 2 時間以内の増減の変更です。ただし、デジタル放送の場合は、予約時の開始時刻後 3 時間以内に放送開始時刻が確認できれば、予約時刻の変更が行なわれます。
• 予約時刻の自動変更は番組データ更新時に行なわれます。(デジタル放送のリアルタイム追跡を除く)
• 予約録画開始の約 15 分前から録画中の予約に関しては、番組表上で放送時間の変更があっても、予約時刻の変更は行なわれません。また、放送時刻の変更によって開始時刻まで約 15 分に満たない場合、予約時刻の変更は行なわれません。
• デジタル放送のリアルタイム追跡は放送開始時刻の前倒しには対応しません。
• A1/A2 画質で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、予約時間の変更をして録画時間がふえた場合、番組がディスクにはいりきらなくなる場合があります。また、番組追跡対応の結果、残量計算値も変動します。
• 予約名を手動変更していても、録画されたタイトル名は番組データからの番組名に更新されます。(予約名で番組追跡を行ないます。)

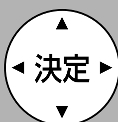
番組検索から録画予約をする

お好みの番組を検索して、番組を録画したり、番組の情報を確認することができます。
「番組ナビ　メインメニュー」の検索には「検索条件を入力」と「人名で検索」の 2 種類があります。



検索条件を入力して番組検索する

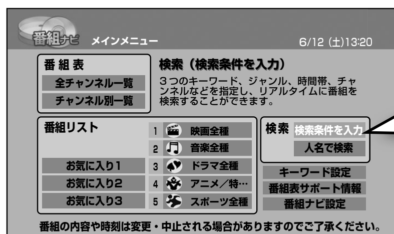
1



「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

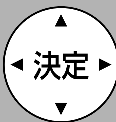
「番組ナビ　メインメニュー」が表示されます。

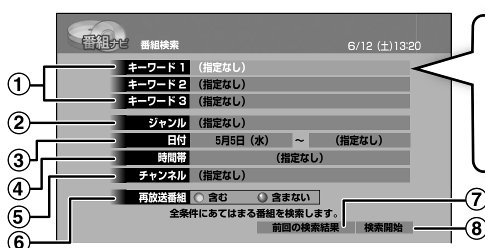
2



「検索条件を入力」を選び、「決定」を押す

3





検索に必要な項目を設定する

① **キーワードを入力します。**キーワードを入力するには以下の方法があります。
- 新規入力／変更：キーワードを新規に入力、または変更して検索します。
- キーワード選択：あらかじめ登録しておいたキーワードを選んで設定します。キーワードの登録については操作ガイド 36 ページをご覧ください。
- 人名選択：　「番組ナビ」を起動した日から最大 8 日分の番組データからの人名を表示します。検索に該当する人名を選び設定します。
- 指定なし：　キーワードを設定しません。キーワード 1 ～ 3 すべてが指定なしだと検索はできません。
- 戻る：　「キーワード入力方法選択」画面を閉じます。「戻る」を押しても閉じることができます。

② **ジャンル：**　ジャンルを設定します。
③ **日付：**　「番組ナビ」を起動した日から最大 8 日間までの指定が可能です。
④ **時間帯：**　検索する時間帯を指定します。指定しない場合は「指定なし」を選びます。
⑤ **チャンネル：**　検索するチャンネルを指定します。
⑥ **再放送番組：**　再放送番組を検索対象に含むか含まないか選びます。
⑦ **前回の検索結果：**前回検索した結果が表示されます。
⑧ **検索開始：**　検索結果を表示します。

- キーワード検索では、以下の点にご注意ください。
  - 設定したすべての項目に該当するものを検索します。条件をたくさん設定するほど、検索される番組は少なくなるか、全くなくなってしまいます。
  - 空白（全角、半角）をはさんで文字列を指定すると、AND 検索になります。パソコンの検索等で一般的に利用される正規表現や、ワイルドカード、OR 検索はありません。
  - ひらがな、カタカナ、漢字、英字を区別します。ただし、デジタル放送では、ひらがなとカタカナの区別をしません。
  - 大文字／小文字の区別をしません。

  また、デジタル放送、ADAMS、iNET のどの番組データであるかによって、検索条件に以下の違いがあります。
  - キーワードの全角／半角の区分
    ADAMS：する／デジタル放送・iNET：しない
  - 記号の検索（+、−、=、!、#、$、%、¥、{ } など）
    デジタル放送・ADAMS：する／ iNET：しない
  - キーワードを含む語句の完全な検索
    デジタル放送・ADAMS：する／ iNET：しない※

  ※ iNET では、例えばキーワードが「ドラ」の場合、「連ドラ」や「ドラをたたく」は検索されますが、「ヘッドライン」は検索されません。
- iNET でのキーワード検索の条件（全角／半角の区別をしない、など）はサーバーの都合で変更することがあります。

4

番組ナビ 番組検索 6/12 (土)13:20
キーワード1 わくわく
キーワード2 (指定なし)
キーワード3 (指定なし)
ジャンル (指定なし)
日付 6月12日 (土) ～ (指定なし)
時間帯 (指定なし)
チャンネル (指定なし)
再放送番組 ○含む ○含まない
全条件にあてはまる番組を検索します。
前回の検索結果 検索開始

◀ 決定 ▶

「検索開始」を選び、「決定」を押す

条件に該当した検索結果が表示されます。

5

◀ 決定 ▶

録画する番組がある場合は、番組名を選び、「決定」を押す

「録るナビ　録画予約」が表示されます。「登録」を選び「決定」を押すと予約完了です。録画内容を確認する場合は「録るナビで録画予約をする（⇨60 ページ）」をご覧ください。

番組ナビ 番組検索結果 1/ 2 頁 6/12 (土)13:20
ｷｰﾜｰﾄﾞ：わくわく　範囲：6/12～6/15, 全CH

日付	開始	終了	CH		番組名
6/12 (土)	11:30	2:30	地上A	4	わくわくシーズー物語
6/13 (日)	9:30	10:00	地上A	6	わくわくドラマ
6/13 (日)	18:30	19:00	地上A	8	わくわく情報館
6/14 (月)	8:30	9:00	地上A	10	わくわく歴史探検隊
6/14 (月)	10:30	11:00	地上A	12	わくわく子供体験授業
6/14 (月)	19:00	20:00	地上A	4	ドラマ・わくわく時間帯
6/15 (火)	11:30	1:30	地上A	1	英語でわくわく会話室

4　チャンネルC
わくわくシーズー物語

●有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)の番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。(⇨25ページ)
※録画購入をしないと、録画ができません。TS録画で映像／音声／データの追加購入をする場合は、追加したい分のすべての購入操作を行なってください。

●視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、制限を変更または解除する。(⇨25ページ)

または

放送が開始される前に、制限を変更または解除しておく。(⇨接続・設定編68、69ページ)
※制限を変更または解除しないと、録画ができません。

お知らせ

- 番組表から選択して予約した番組の予約時刻やチャンネルを変更した場合、正しい番組名や番組説明が表示されないことがあります。

人名で検索する

番組データに含まれる人名を使って、検索することができます。

1) 「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

番組ナビ

2) 「人名で検索」を選び、「決定」を押す

◀ 決定 ▶

3) 検索に必要な人名を選び、「決定」を押す

◀ 決定 ▶

方向キー（◀/▶）であ行、か行…などの見出しを切り換えます。
複数ページある場合は、「◀◀/▶▶」で切り換えます。

人名選択
あ か さ た な は ま や ら わ 他

あい上緒	間ちづこ	昭島ジゴロウ
芥川しょうこ	池の中徹子	生駒礼子
上田喜一郎	宇田光子	宇津井中健四郎
小津安子	音羽信太郎	

番組情報データに含まれる、人名リストが 50 音順に表示されます。お好みの人物をリストから選びます。

番組ナビ 番組検索 6/12 (土)13:20
キーワード1 あい上緒
キーワード2 (指定なし)
キーワード3 (指定なし)
ジャンル (指定なし)
日付 5月5日 (水) ～ (指定なし)
時間帯 (指定なし)
チャンネル (指定なし)
再放送番組 ○含む ○含まない
全条件にあてはまる番組を検索します。
前回の検索結果 検索開始

必要に応じて、検索に必要な項目を設定します。人名検索画面を再び表示したい場合は、キーワード欄のどれかを選び、「決定」を押し、「人名選択」で開くことができます。

4) 録画する番組がある場合は、番組名を選び、「決定」を押す

◀ 決定 ▶

「録るナビ　録画予約」が表示されます。

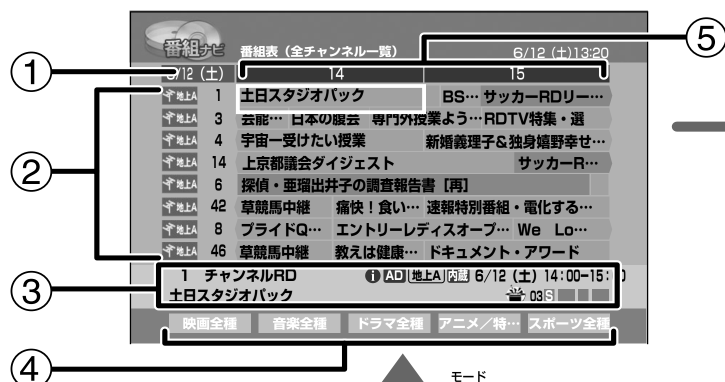
お知らせ

- 「人名で検索」で表示される人名選択リストには、デジタル放送番組の出演者名は含まれません。また、番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。

番組表の見かた

番組表には「全チャンネル一覧」と「チャンネル別一覧」があります。

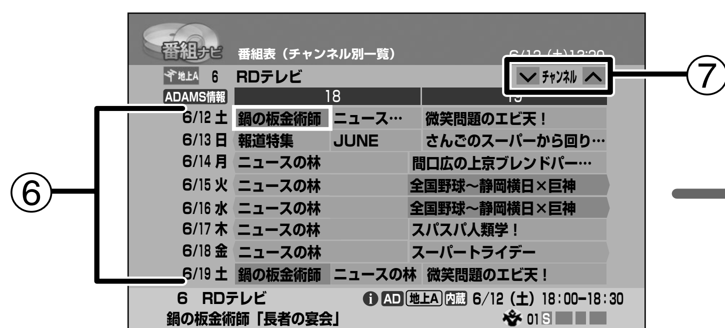
全チャンネル一覧



モード ◯を押して「全チャンネル一覧」と「チャンネル別一覧」の表示が切り換えられます。

番組表から「番組ナビメインメニュー」などの元画面へ戻るときは 戻る を押します。

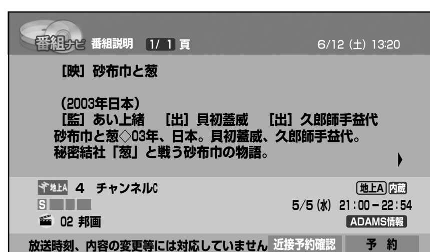
チャンネル別一覧



① **指定した日付が表示されます。**
番組ナビを起動した日から最大8日間※の日にちを指定して番組表を表示できます。
（➪操作ガイド 31 ページ）

② **「番組ナビチャンネル設定」（➪操作ガイド 26 ページ）で設定しているチャンネルが表示されます。**
方向キー（▲/▼）でチャンネルをスクロールできます。
また、ワンタッチリプレイ 上頁、ワンタッチスキップ 下頁で画面単位で表示を切換えられます。

③ **選択している番組の情報が表示されます。**
アイコンについては、➪59ページをご覧ください。
選択している番組に番組説明が含まれている場合、番組説明 を押すと、番組の説明が表示されます。



例：番組説明画面
番組説明について詳しくは➪操作ガイド38ページをご覧ください。

④ **「My ジャンル設定」（➪操作ガイド 35 ページ）で設定したジャンルが表示されます。**
番組表で該当している番組には帯がジャンルカラーの色になります。該当しない番組の帯はグレーで表示されます。

⑤ **時間帯別に番組を表示します。**
時間帯の表示切換えは「2 時間」「4 時間」「6 時間」から選べます。（➪操作ガイド 33 ページ）
時間帯の移動は画面単位で「◀◀」で戻り、「▶▶」で次の時間帯に進みます。
方向キー（◀/▶）で番組単位で移動します。

⑥ **番組ナビを表示した日から最大8日分※の番組表を表示します。**

⑦ **方向キーで選択し、「決定」を押してチャンネルを切り換えます。**
また、ワンタッチリプレイ 上頁、ワンタッチスキップ 下頁で全チャンネル一覧の表示順でチャンネルを切り換えられます。

※ADAMSによる番組データの提供は通常当日を含めて8日分ですが、地域・チャンネルによって2日分の場合があります。（2005年1月現在）

表示マークやラインについて

22 23 0 番組帯の下に引かれているライン	時間帯の下に表示しているラインは、その時間帯に録画予約されていることを表します。チャンネル別一覧では、カーソルのある行の日付に対応して表示されます。
シーズー百科 番組名の下に引かれているライン	ライン入力の予約を「録るナビ」から行なった場合、どのチャンネルの予約かを特定できないため、同一のライン入力のチャンネルすべての該当日時に薄いマークと赤いアンダーラインを表示します。
番付 きょうの出来心 ご馳走 万歳.. ワールド作家 予約番組の帯の濃さがかわっている	濃くなっている部分（時間）が他の録画予約と重複していることを表します。番組名下に引かれているラインも、予約が重複している部分は色が濃くなります。ただし、9：00〜10：00、10：00〜11：00などの二つの隣接する予約の境界部分が録画できない場合は表していません。

お知らせ
- 番組表では、番組と番組の合間にある短い番組のタイトルは表示されないことがあります。
- 録画予約を示すアイコンは
  TS 録画の場合：TS
  その他の録画の場合：VR
  同時録画 *1 の場合：TSVR
  と表示されます。

*1 同時録画については45ページ、操作ガイド 11 ページをご覧ください。

■番組の属性を示すアイコンについて

●番組データの情報を示すアイコン

メッセージ	i	ADAMSによる番組データで、放送局から番組に関するメッセージがある場合に表示されます。操作ガイド33ページをご覧ください。
データ取得先	DT	デジタル放送による番組データであることを示します。
	AD	ADAMSによる番組データであることを示します。
	NK	日刊編集センター情報による番組データであることを示します。（iNET）
		スカパー！による番組データであることを示します。（iNET）

●放送形態を示すアイコン

音声	S	ステレオ放送の番組の場合に表示されます。
	二	二カ国語放送の番組の場合に表示されます。Videoモードで録画する予定のある場合には注意が必要です。33ページ、40ページをご覧ください。外部チューナーの場合、必要に応じてチューナー側の番組予約時に変更する必要があります。
	モノ	モノラル放送の番組の場合に表示されます。
	SS	サラウンド放送の番組の場合に表示されます。
画面比	16:9	デジタル放送で画面の横と縦の比が16：9の信号の放送の場合に表示されます。
解像度	HD	デジタル放送でハイビジョン品質の番組の場合に表示されます。（デジタルハイビジョン画質）
	SD	通常品質の番組の場合に表示されます。（デジタル標準画質）
画面/多重音声切換	切換可	デジタル放送で、映像、音声、字幕などの切換が可能な番組である場合に表示されます。必要に応じて番組予約時に設定を変更する必要があります。

お知らせ
- 放送形態・視聴制限を示すアイコンは番組データ提供元が作成したもので、すべての番組に対して該当するアイコンが表示されることを保証するものではありません。また、表示されるアイコンの内容が正しいことを保証するものでもありません。目安としてご覧ください。

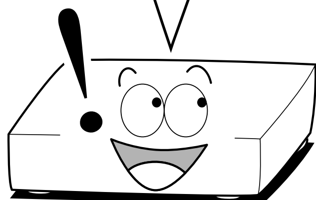
●視聴制限を示すアイコン

ペイパービュー	PPV	有料放送の場合に表示されます。本機で視聴・録画するには購入操作が必要です（25ページ）。また、放送事業者との視聴契約が必要となります。録画が禁止されている有料放送の場合、録画予約しても録画は正常に実行されません。
年齢制限		年齢制限のある番組の場合に表示されます。

録るナビで録画予約をする

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

番組表を使わないで、「録るナビ」で録画予約をすることもできます。
番組表から登録した録画予約を「録るナビ」で確認したり修正したりすることもできます。
それぞれの項目を設定してください！

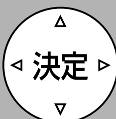


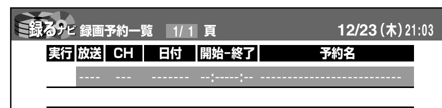
準備

- DVD-RAM/R/RWに録画するときは、ディスクを入れます。
- DVD-R/RWに録画するときは、はじめに必要な設定をしてください。（➡40ページ）



1 停止中に、「録るナビ」を押す

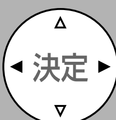




「録るナビ」画面が表示されます。


を押す（設定画面になります。）

2 方向キー（◀/▶）で設定する項目を選び、「値変更（I◀◀/▶▶I）」ジョグダイヤルで設定する



録画する放送を選ぶ

録画するチャンネルを選ぶ

録画先を選ぶ

- HDD：内蔵HDDに録画
- DVD：DVDディスクに録画

設定内容の詳細は➡64ページ

録画したい番組の日付を設定する

開始・終了時刻を設定する

リモコンの番号ボタンでも設定できます。

録画画質を選ぶ

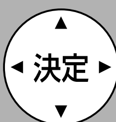
- TS： デジタル高画質
- SP： 標準
- LP： 長時間録画
- A1： ➡64ページ
- A2： ➡64ページ
- MN： ビットレート値を自由に設定できます。高くすると高画質になります。

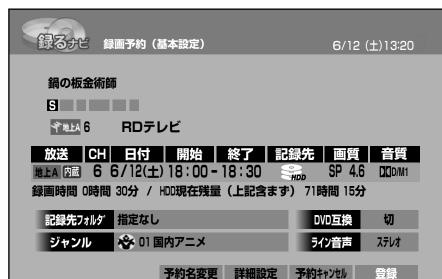
音質を選ぶ

- DD/M1：標準の音質です。
- DD/M2：DD/M1より良い音質です。
- L-PCM：CD同等の音質。録画できる時間が短くなります。

内容の設定は方向キー（▲/▼）でもできます。

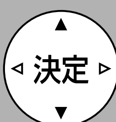
3 各項目の設定が終わったら、方向キーで「登録」を選び「決定」を押す





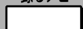
録画予約が設定されます。

4 次の新しい番組を予約するときは、カーソルを次の行に合わせて、「決定」を押す



手順2～3をくり返します。

5 すべて録画予約をしたら「録るナビ」を押して終了する

録るナビ


本体の表示窓に◷が点灯します。

例：


- ●有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)の番組を予約したときは…

  ⬇

  放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。(⇨25ページ)

  ※録画購入をしないと、録画ができません。TS録画で映像／音声／データの追加購入をする場合は、追加したい分のすべての購入操作を行なってください。

- ●視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

  ⬇

  放送開始時刻になったら、制限を解除する。(⇨25ページ)

  または

  放送が開始される前に、制限を解除しておく。(⇨接続・設定編68、69ページ)

  ※制限を解除しないと、録画ができません。

お知らせ

- 予約録画の開始時刻になったときに、ディスクトレイが開いていると、DVD側の予約録画は実行されません。DVDディスクに録画するときは、あらかじめ録画するディスクを本機に入れておいてください。

予約内容を変更する

1) 「録るナビ」を押す

録るナビ　「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向キー（▲/▼）で、修正したい録画予約を選び、「決定」を押す

3) 録画予約の操作手順２～３の方法で内容を変更する

4) 「録るナビ」を押して画面を終了する

お知らせ

- 二つの番組を続けて予約しているとき、前の番組の終了時刻を延長しても、次の番組の開始時刻になると次の番組が録画されます。（一部例外もあります。⇨操作ガイド 11 ページ）

予約内容を削除する

1) 「録るナビ」を押す

録るナビ　「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向キー（▲/▼）で、削除したい録画予約を選ぶ

3) 「クイックメニュー」を押す

クイックメニュー　クイックメニューが表示されます。

4) 方向キー（▲/▼）で、「予約キャンセル」を選び、「決定」を押す

メッセージを確認して、録画予約を削除します。

5) 「録るナビ」を押して画面を終了する

予約録画実行中に録画を止める

録画先（「HDD」または「DVD」）を押し、「放送切換」で録画番組を選択したあと本体の「■」（停止）を２回押す

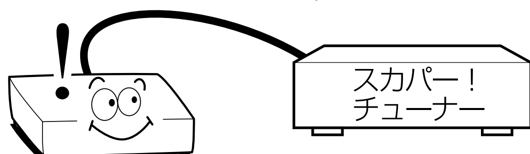
■　一度押すとメッセージが表示されますので、その間にもう一度押します。
（ナビ画面などの表示中は働きません。）

スカパー！チューナーから録画を予約する



スカパー！連動機能を「録るナビ」で設定しましょう！

スカパー！連動で何ができるの？



スカパー！チューナーさん。予約の時間が来たから、電源を入れて、チャンネルを切り換えてね！ヨロシク。

OK！
さあ、始めるよ！

- 本機の「録るナビ」で予約しておくと、予約時間になると、スカパー！チューナーの電源を自動的に入れ、録画するチャンネルも自動的に切り換えます。
  （スカパー！チューナーの機種によっては、電源を自動的に入／切できないものもあります。）

スカパー！連動機能を使うためには……

1）スカパー！チューナーと本機を映像・音声接続コードとCSデータケーブルの両方で接続します。
⇨接続・設定編21ページ

2）スカパー！連動設定をします。「スカパー！連動」を「入」にします。スカパー！チューナーの電源入／切を制御するときは、「スカパー！電源連動」を「入」にします。⇨接続・設定編75ページ

3）「番組ナビ」のチャンネル表示局登録をします。⇨操作ガイド26ページ

次のページをご覧になり
「録るナビ」で設定してください。

■スカパー！連動機能を使わずに録画予約をするには！

スカパー！チューナーと本機の入力1、入力2、入力3端子のどれかに接続して、ライン入力として録画します。

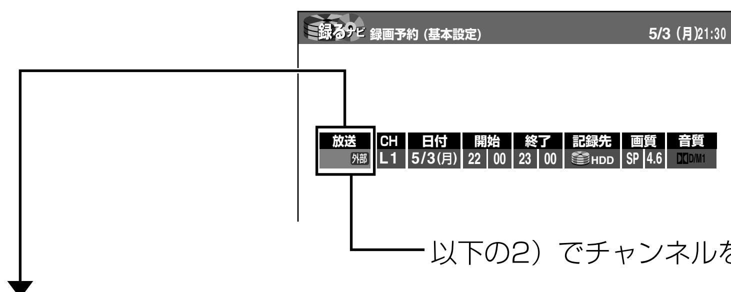


1）スカパー！チューナーを接続している端子に合わせて、L1〜L3を設定する
L1：背面の入力1端子に接続しているとき
L2：前面の入力2端子に接続しているとき
L3：背面の入力3端子に接続しているとき

2）スカパー！チューナーの電源を入れた状態でスカパー！チューナー側のチャンネル切り換えで、録画をするチャンネルを設定しておく

■スカパー！連動機能を使っての録画予約 （本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

⇨60ページの「録るナビ 録画予約（基本設定）」画面で



以下の2）でチャンネルを選択すると「連動」になります。

1）スカパー！チューナーを接続している端子（「設定メニュー」の「チャンネル／入力設定」の「スカパー！連動設定」で設定した入力端子）に合わせて、L1～L3を設定します。
L1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
（⇨接続・設定編21ページ）
L2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

2）スカパー！チャンネル選択画面で方向キーでチャンネルを選び、「決定」を押す



・頁（⏮／⏭）：前後のページに移動します。
・「モード」を押すと、録画予約（基本設定）画面で「CH」（連動）から（外部）に切り換わり、連動予約から外部入力の通常予約になります。

「録るナビ 録画予約（基本設定）」画面に戻ります。各設定をしてください。
録画予約画面からもう一度スカパー！チャンネル選択画面を表示するときは、方向キー（▲/▼）で「CH」のL1～L3を選択してください。

お知らせ
- ペイパービュー番組を本機で購入することはできません。この場合は、スカパー！チューナーを接続している外部入力の通常予約として予約登録し、スカパー！チューナー側でも予約設定をしてください。
「スカパー！チャンネル選択」画面で「モード」を押すと、録画予約（基本設定）画面の「CH」（連動）から（外部）に切り換わり、外部入力の通常予約となります。
- スカパー！番組の予約シフトはできません。
- 電源制御が正しく動作しないスカパー！チューナーをご使用の場合は、「設定メニュー」の「チャンネル／入力設定」の「スカパー！連動設定」の「スカパー！電源連動」を「切」に設定し、スカパー！チューナー側は、録画開始の約10分前に電源を入れてください。
- スカパー！チューナーを複数機器で併用している場合、本機のスカパー！連動機能によって、接続される別機器の録画内容が別チャンネルに切り換わったり、スカパー！チューナーのアラート画面やミュート画面等が録画されたりする場合があります。

操作手順 2 の設定内容の詳細（☞ 60 ページ）

放送	地上 A、地上 D、 BS-D、110 度 CS、 L1 ～ L3	録画したい番組の放送メディアまたはライン入力を選択します。
CH	（地上A）1～64 （地上D）3桁＋枝番 （BS-D）3桁 （110度CS）3桁	録画したい番組のチャンネルを設定します。 （地上アナログ放送の場合、スキップ設定したチャンネルは表示されません。）
日付	今日から2ヵ月先（62日）の日付まで、毎日曜日～毎土曜日、月ー木曜日、月ー金曜日、月ー土曜日、毎日	録画したい番組の日付を設定します。
開始	0：00 ～ 23：59	録画の開始時刻です。（初期値として 10 分後の時刻が表示されます。）
終了	0：00 ～ 23：59	録画の終了時刻です。現在時刻から 2 分以降で録画開始時刻から 9 時間以内（TS 録画の場合は 23 時間 59 分以内）が設定できます。
記録先	HDD	内蔵 HDD に録画したいとき。
	DVD	DVD-RAM/R/RW に録画したいとき。
画質（モード）	TS	デジタル放送を高画質のまま録画したいとき。 記録先が HDD で各デジタル放送を録画するときだけ選択できます。
	SP	録画時間、画質とも標準の設定です。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	LP	長時間録画したいとき。ただし、画質は「SP」モードに比べると下がります。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	MN	ビットレートを任意に設定できます。
	A1	録画直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。（ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで記録できません。）内蔵 HDD に記録すると、4.7GB の未使用 DVD ディスクにダビングできる時間分を録画します。2 時間半以上の番組は設定できません。
	A2	未記録の両面ディスクになるべく高画質でおさまるように、自動的に画質レートを設定します。「記録先」は「HDD」に固定されます。録画後のタイトルは容量が片面ディスク 2 枚分で、中間点で前後二つのチャプターに分かれています。それぞれのチャプターをディスクにダビングすることで、容量のむだのない、高画質の保存ができます。
画質 *1（レート）	1.0、1.4 2.0 ～ 9.2	録画モードが「SP」、「LP」、「A1」、「A2」では指定できません。1.0、1.4 と 2.0 ～ 9.2 の範囲で 0.2Mbps ずつ任意に指定できます。（音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。）
音質 *1	DD D/M1	標準の音質です。
	DD D/M2	DD D/M1 よりも良い音質です。音楽番組などの録画にお勧めです。
	L-PCM	圧縮していないデジタル音声でオーディオ CD 同等の音質ですが、録画できる時間は短くなります。

＊1 TS 録画（TS 画質で録画）の場合は、指定できません。

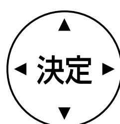
DD D/M1、DD D/M2 は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定 1 としてDD D/M1 は Dolby Digital 192kbps、設定 2 としてDD D/M2 は Dolby Digital 384kbps となっています。

お知らせ

- 24：00以降（25：00、26：00など）の録画予約時刻は、番号ボタンで0：00～30：59まで入力することができます。
- レート設定をおおよそ「4.0」 Mbpsより低くした場合、いろいろな速さの再生が正しく働かないことがあります。
  また、他のレート設定よりノイズが多く発生し、画質も下がります。
- DVDディスクの再生中に内蔵HDDへの予約録画がはじまると、一瞬再生画面が静止します。
- ネットdeダビング機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量がふえることによって、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズがはいることがあります。ネットdeダビング機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをお勧めします。

録るナビ予約をするときの便利な設定

方向キーで項目を選び、「決定」を押す



設定画面に切り換わります。

カーソルが、「CH」や「日付」など➡64ページの設定項目にあるときは、先に「戻る」を押してカーソルを行全体に広げてから、この手順を行なってください。

録るナビ 録画予約（基本設定） 5/3（月）18:00
地上A4 日本テレビ

放送	CH	日付	開始		終了		記録先	画質		音質
地上A 内蔵	4	5/3(月)	22	00	23	00	HDD	SP	4.6	D/M1

録画時間 1時間 00分 / HDD現在残量 100時間 55分
記録先フォルダ 指定なし　DVD互換 切
ジャンル ジャンルなし　ライン音声 ステレオ
Gコード入力　予約名変更　詳細設定　予約キャンセル　登録

予約録画する番組を整理するために、録画先のフォルダを指定できます。フォルダ名は自由に設定できます。「見るナビでフォルダ機能を使う」➡73ページをご覧ください。

1)「記録先フォルダ選択」画面で、録画先フォルダを方向キーで選ぶ

2)「決定」を押す

Gコード番号を使っての録画予約入力ができます。（登録前の予約内容は上書きされます。）
Gコード予約については、➡68ページをご覧ください。

1)「G コード入力」画面で、G コード番号を番号ボタンで入力する
- 番号を間違えたときは、「クリア」ボタンを押します。

2)「決定」を押す

DVD-R/RW（Videoモード）で録画するときに設定します。
設定する内容については、➡40ページをご覧ください。

1)「DVD 互換モード選択」画面で、モードを方向キーで選ぶ

2)「決定」を押す

設定内容を登録します。

さらに詳細な設定の画面に移動します。「頁（▶▶|）」または「早送り（▶▶）」を押しても切り換わります。➡操作ガイド12ページ

予約名を入力できます。入力画面で入力してください。➡操作ガイド18ページ

現在表示している録画予約内容を取り消します。

録画予約する番組のジャンルを設定できます。

1)「ジャンル選択」画面で、方向キーでジャンルを選ぶ

2)「決定」を押す

本機に接続している外部機器から録画予約をするときに記録する音声を選びます。

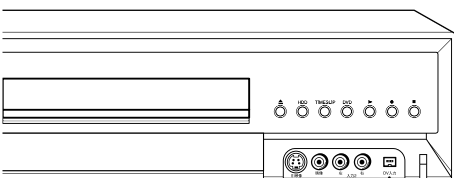
1)「ライン音声選択」画面で、記録する音声を方向キーで選ぶ

- **ステレオ**：ステレオで記録します。
- **L**：（Videoモード向け）左チャンネルの音声だけをモノラルで記録します。
- **R**：（Videoモード向け）右チャンネルの音声だけをモノラルで記録します。
- **主＋副**：（VRモード用）二カ国語放送などを二重音声で記録します。
  - この設定はDVD-R/RW(Video モード)で選んだ場合、録画タイトルは「ステレオ」になります。
  - 「主＋副」の設定がされていても、音声をL-PCM で録画する場合は「ステレオ」になります。

2)「決定」を押す

DV 連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-RW（Videoモード） | DVD-R（VRモード） | DVD-R（Videoモード）



[DV 端子]
DV 端子にデジタルビデオカメラを接続し、その映像を録画します。



1

HDD

DVD

デジタルビデオカメラを本機前面の「DV端子」に接続し、録画先に「HDD」か「DVD」を選ぶ

HDD：内蔵HDDに録画
DVD：DVD ディスクに録画

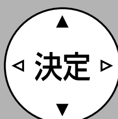
2

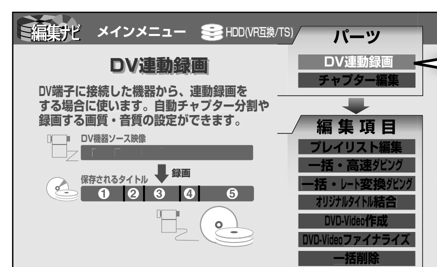
編集ナビ

再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す

「編集ナビ　メインメニュー」が表示されます。

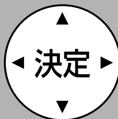
3

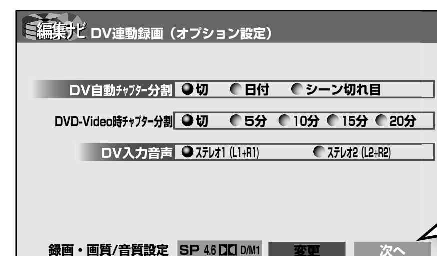




「DV連動録画」を選び、「決定」を押す

4





方向キーで各項目を設定し、設定が終わったら「次へ」を選び、「決定」を押す

- 設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●画質と音質のレートを変えたいときは
1）方向キー（▲/▼）で「変更」を選び「**決定**」を押す
2）録画・画質 / 音質設定の画面で、「**値変更**」ジョグダイヤルを回して設定 No. を選ぶ
3）「**決定**」を押す

5

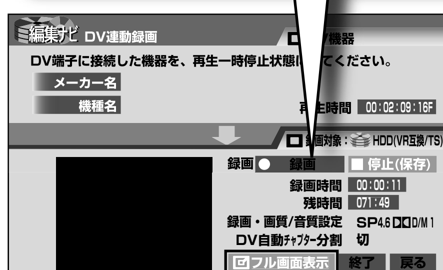
接続しているデジタルビデオカメラを再生一時停止状態にする

録画する情報を確認する画面が表示されます。
- デジタルビデオカメラなどの機種によっては、画面に「メーカー名」や「機種名」が表示されないことがあります。

6

▲ ◀ 決定 ▶ ▼

方向キーで「録画」を選び、「決定」を押す



選択し「決定」を押すと映像が全画面に表示されます。

録画が始まり「録画」が「一時停止」の表示に切り換わります。

・録画を一時停止する場合は、「一時停止」を選んだ状態で「決定」を押します。
・録画を停止する場合は、方向キーで「停止（保存）」を選び、「決定」を押します。

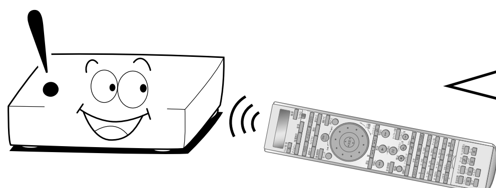
お知らせ

- デジタルビデオカメラなどの接続機器からの入力に DV 端子をご使用ください。接続機器への出力には対応していません。
- DVD-R/RW（Video モード）に録画する場合で、「DV 自動チャプター分割」が「切」に設定されているとき、「DVD-Video 時チャプター分割」の設定に従って自動的にチャプターが分割されます。
- 以下の場合、DV 連動録画は起動できません。
  －録画中、タイムスリップ中
  －「見るナビ」「録るナビ」「ライブラリ」で設定を変更中のとき
  －初期設定で時計を設定していないとき
  －5分以内に予約録画が始まる場合、または予約録画実行中
- DV 連動録画と予約録画が重なった場合、予約録画の 5 分前に DV 連動録画は終了し、予約録画が実行されます。
- パソコンなど、デジタルビデオカメラ以外の機器を DV 端子に接続した場合、「DV 連動録画」は動作しません。
- DV 端子に複数の機器を接続していると、「DV 連動録画」は正常に動作しません。
  接続するのはデジタルビデオカメラ 1 台だけにしてください。
- デジタルビデオカメラの動作が本機の動作に影響することがあるため、DV 連動録画をするとき以外はデジタルビデオカメラをはずしてください。
- 「ブラウン管保護」（110 ページ）が「入」のとき、DV 連動録画詳細表示で録画を 15 分間続けたままで何も操作しないでいると、フル画面表示になります。
- デジタルビデオカメラに記録されたステレオ 1 とステレオ 2 の音声を同時に本機で記録するときは、デジタルビデオカメラに付属のオーディオビデオケーブルなどで外部入力端子と接続してください。（50 ページ）
- デジタルビデオカメラとの接続が正しく認識できないときは、何回かケーブルを抜き差ししてみてください。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、本機で使っている映像圧縮方式と異なるものがあります。映像圧縮方式の違う機器からは、録画できません。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、正しく動作しない場合や一部の機能が使えないことがあります。
- 途中から上書きした DV テープの映像を入力した場合、自動チャプター分割が正しく行なわれない場合があります。

Gコード予約

地上アナログ

本機は、デジタル放送のGコード予約には対応していません。地上アナログ放送のGコード予約で「設定内容をご確認ください」という内容のメッセージ画面が表示された場合は、入力コードに間違いがないか確認をしてください。



新聞・雑誌などのテレビ欄にある G コード番号を入力して手軽に予約ができます！

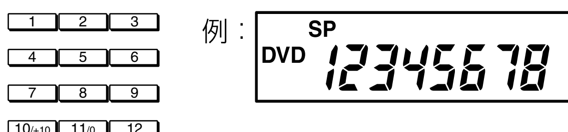
準備

- DVD-RAM/RW/Rに録画するときは、ディスクを入れます。
- DVD-R/RWに録画するときは、はじめに必要な設定をしてください。（40ページ）

1)「G コード」を押す

Gコード ・リモコンの表示部に表示が出ます。

2) 番号ボタンで、G コード番号を入力する



削除 入力を間違えたときは、「削除」を押して数字を消し、再入力します。

3) 録画先を選ぶ

HDD ：内蔵 HDD に録画

DVD ：DVD ディスクに録画

4) 録画モード(画質) を設定する

「録画モード」を押すたびにモードが切り換わります。

SP： 標準の設定。

LP： 長時間録画したいとき。SP より画質は下がります。

MN： マニュアルで設定した画質。

5) 本体に向けて「転送」を押す

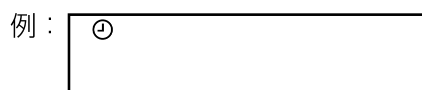
文字 サーチ/転送 本体表示窓に、予約内容が表示されます。

6)「G コード」を押す

Gコード リモコン表示部の表示が消えます。

本体の表示窓に⊙が点灯します。

例：



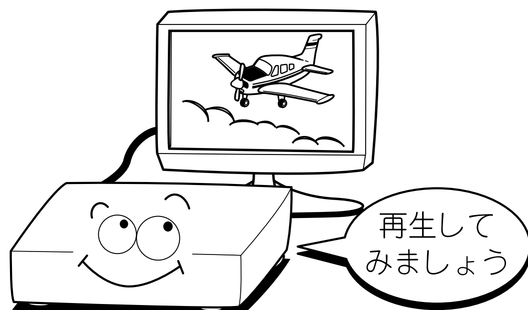
お知らせ

- 予約できるのは最大で 64 件です。すでに 64 件予約されているときは、転送エラーとなります。どれか予約内容を取り消してから予約してください。（61 ページ）
- 番組によっては、数分長めに予約されることがあります。
- 次の場合、予約内容が転送されず、エラーになります。
  - 実際にない G コード番号を入力したとき
  - ガイドチャンネルの設定がされていないとき
- 「録るナビ」画面表示中には、G コード予約はできません。
- ガイドチャンネルの設定が正しくないと、予約したチャンネルで録画されません。

G コード予約後の予約内容の修正

G コード番号転送後、「録るナビ」画面で予約内容を確認し、必要があれば「録るナビ」画面上で、予約内容を変更してください。（61 ページ）

- DVD-R/RW（Video モード）に録画する場合は、予約の DVD 互換モードを「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定してください。（40 ページ）



再生だけが可能なディスクについて

ディスク	内容	備考
DVD ビデオディスク DVD VIDEO	・12cm ／ 8cm ・リージョン番号が 2 および ALL ・映像方式：NTSC	本機のリージョン（地域）番号は 2 です。DVD ビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように 2 が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。
音楽用 CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	・12cm ／ 8cm	
CD-R CD-RW COMPACT disc DIGITAL AUDIO	・12cm ・CD-DA（音楽用 CD）フォーマット	ディスクによっては、再生できない場合があります。

- 本機で録画・再生できる映像方式は NTSC 方式です。
- 市販されている DVD ビデオディスクであっても再生できないことがあります。その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。（連絡先は裏表紙に記載されています。）

■ディスクの内容の区分

●一般に、DVDビデオディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。



タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
短編集の「話」に相当します。

チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
本の「章」に相当します。

トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

再　生

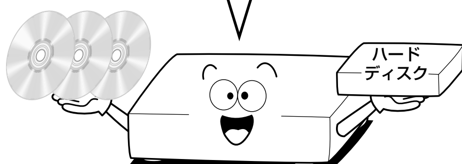
再生をしてみましょう。

- 見るナビで、録画した内容を再生する
- タイムスリップ機能を使う
  - ■TVお好み再生
  - ■追っかけ再生
- 見るナビでフォルダ機能を使う
- DVD ビデオディスクを再生する
- いろいろな速さで再生する
- その他便利機能
- 動作と設定の状態を画面で確認する

見るナビで、録画した内容を再生する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

本機で録画した番組は、まず「見るナビ」で再生しましょう。
見たい番組がすぐ探せます。

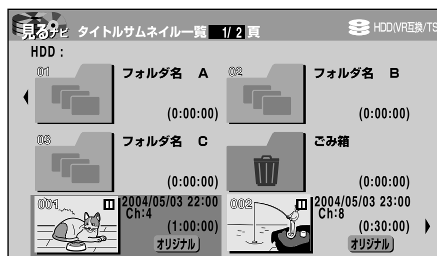


市販のDVDビデオディスクなどの再生は、77ページをご覧ください。



1 停止中または再生中に、「見るナビ」を押す





「見るナビ」画面が表示されます。
- 「見るナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を表示。

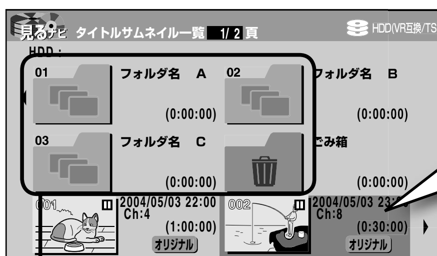
DVD を押す：DVDの録画内容を表示。

（他社機などで録画したDVD-R/RW（Videoモード)は、見るナビの表示ができません。）

2 見たい番組のタイトル（またはチャプター）を選ぶ







- 「**頁**(⏮/⏭)」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。
もう一度押すと、タイトルに戻ります。

本機でフォルダ機能を使うときに使用します。
詳しくは、73ページをご覧ください。

3 「決定」を押す



選んだ番組のタイトル（またはチャプター）から再生が始まります。
- 早送り／早戻しやスローなどの再生は、78ページ以降をご覧ください。
- デジタル放送をTS録画（TS画質で録画）したタイトルの場合は、内容に応じて再生時に字幕・音声・映像の切換ができます。（26ページ）

お知らせ
- デジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）したタイトルの場合、再生中に一時的に再生が停止したり、コマ落ちすることがあります。また、黒画面がはいったり、画像がみだれることがあります。
- デジタル放送を TS 録画したタイトルの再生で、データ放送の動作が実際の放映時と異なることがあります。
- デジタル放送を TS 録画したタイトルの場合、音声がしばらく出ず、その後音声に異聴が起こったあと復帰したりすることがあります。
- デジタル放送の TS 録画以外の録画中のとき、TS 録画したタイトル／チャプターのサムネイルが見るナビ画面に表示されないことがあります。
- ラインUダビング中またはデジタル放送を TS 以外の画質で録画中のときは、TS 録画されたタイトルの再生はできません。

「見るナビ」画面について

コピーワンス（1回だけ録画が可能）の番組を録画したタイトルには、コピー禁止を示すアイコンが表示されます。

小さな画面をサムネイルと呼びます。



本機に録画された日時の古い順に並びます。プレイリストは、オリジナルのあとに表示されます。

録画したそのものは、「オリジナル」です。このオリジナルを編集したものを「プレイリスト」と呼びます。

1タイトルごとに再生を止めた位置を記憶していることを示しています。
「HDD/RAMタイトル再生設定」が「タイトル毎レジューム」に設定してあるときに表示されます。（112ページ）
「タイトル連続再生」に設定してあるときは、最後に録画／再生／選択したタイトルだけに表示されます。

■「見るナビ」画面をリスト表示する

「見るナビ」画面のサムネイル表示をリスト表示に切り換えると、サムネイル表示よりも多くの番組が表示できます。

見るナビ表示中に「ズーム」を押す

ズーム 黄



- 「ズーム」を押すたびに、サムネイル表示とリスト表示が切り換わります。

お知らせ
- タイトルサムネイル一覧を表示中に、クイックメニューの「表示切換」から「リスト一覧表示」を選んでも表示の切換えができます。

再生を停止する／一時停止をする



「停止」を押す

再生を終了します。



再生中に「一時停止」を押す

再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

少しとばす／少し前に戻る

ボタンを押すごとに、あらかじめ決めた一定量をとばしたり戻したりできます。



「ワンタッチスキップ」を押す

押すたびに、一定量とばします。



「ワンタッチリプレイ」を押す

押すたびに、一定量前に戻します。

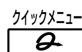
- とばしたり、戻したりする間隔を設定できます。（112 ページ）

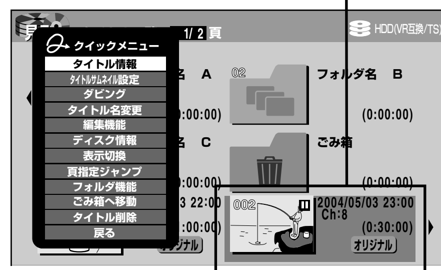
見終わった番組を消す

見終わった番組で、もう見ない番組を消去します。

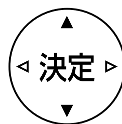
1) 70 ページの操作手順 2 で、消したい番組（タイトル／チャプター）を選ぶ

2)「クイックメニュー」を押す





3) 方向キー（▲/▼）で「タイトル削除」を選び、「決定」を押す





- 確認メッセージで「はい」を選び「決定」を押すと、消去されます。

タイムスリップ機能を使う

TV お好み再生 HDD



放送中の番組を見ているときに、ふいの電話や来客などがあった場合、その続きをあとから見ることができます。

1 本機を通して番組を見ているときに、「タイムスリップ」を押す



（たとえば、電話が鳴ったときに、「タイムスリップ」を押します。）
タイムスリップの準備完了後は、自動的に再生を始めます。
「タイムスリップ」を押してからの放送内容は、ディスクに一時的に録画されていきます。

2 始めから見るときは、「スキップ(|◀◀)」を押す

「タイムスリップ」を押したところに戻ります。
- 「早送り」、「早戻し」や「スロー」ボタンも使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。

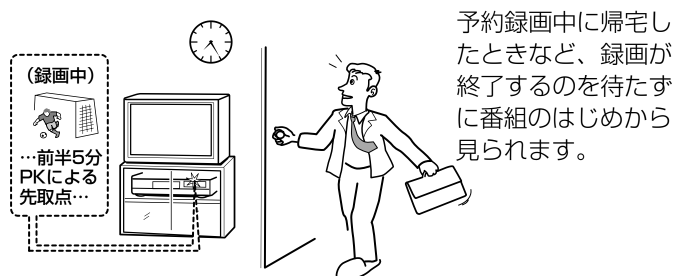
3 終了するときは、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

録画が止まります。録画した内容を保存するかを確認するメッセージが表示されます。方向キー（◀/▶）で「はい」「いいえ」を選び、「決定」を押します。

お知らせ
- TVお好み再生は、本機でほかの番組を録画しているときはできません。
- 番組が終わる前にタイムスリップを終了した場合、その番組を最後まで見ることはできません。
- TVお好み再生は空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- TVお好み再生中は録画予約はできません。
- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- 高速ダビング中などの場合は、TVお好み再生はできません。
- デジタル放送の番組をTVお好み再生したときは、TS画質で録画されます。
- デジタル放送の副映像を視聴中にTVお好み再生を開始した場合、主映像で再生が始まります。

追っかけ再生 HDD DVD-RAM



予約録画中に帰宅したときなど、録画が終了するのを待たずに番組のはじめから見られます。

1 内蔵HDD、DVD-RAMの録画中に、「タイムスリップ」を押す



（たとえば、予約録画実行中に帰宅したときに、「タイムスリップ」を押します。）
現在録画している番組が再生状態になります。
- 再生状態になるまでに、少し時間がかかることがあります。

2 「スキップ(|◀◀)」を押す

番組の先頭まで戻り、自動的に再生が始まります。
- 「早送り」、「早戻し」や「スロー」ボタンも使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

3 終了するときは、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

画面が放送中の映像に戻ります。
録画は引き続き予約終了時刻まで行なわれます。

お知らせ
- 追っかけ再生中は、録画予約はできません。
- 追っかけ再生中に予約録画開始時刻になると、追っかけ再生は中断されます。
- 空き容量がなくなると録画は停止します。
- 追っかけ再生中に、終了後の電源入切の設定はできません。また、あらかじめ終了後の電源を切る設定がしてあっても、追っかけ再生をすると設定は無効になります。
- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- 高速ダビング中などの場合は、追っかけ再生ができません。
- デジタル放送の副映像を視聴中に追っかけ再生を開始した場合、主映像で再生が始まります。
- デジタル放送をTS録画とTS画質以外の録画で同時録画中（操作ガイド11ページ）の場合は、追っかけ再生はできません。

見るナビでフォルダ機能を使う

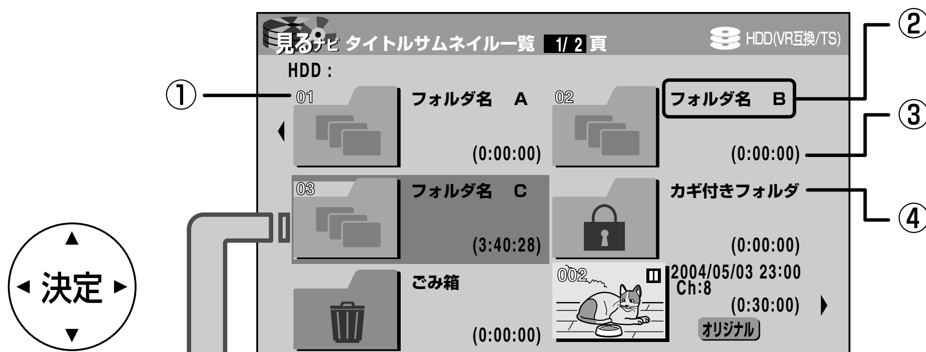
HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

フォルダを使いこなして録画タイトルをすっきり整理しましょう。

ルートモード

「ごみ箱」が置かれている「見るナビ　タイトルサムネイル（またはタイトルリスト）一覧」を「ルート」といいます。

HDDの初期状態では「フォルダ名　A」、「フォルダ名　B」、「フォルダ名　C」を用意しています。
DVD-RAMとDVD-R/RW（VRモード）でフォルダ機能を使う場合は、設定をしてください。（操作ガイド57ページ）



決定

フォルダ内にはいる場合は、フォルダを選んで「決定」を押します。

フォルダ内モード



フォルダ内からルートに戻る場合は、このアイコンを選んで「決定」を押します。

決定

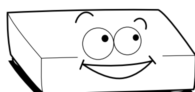
①フォルダ番号
表示順は変更可能です。
（操作ガイド58ページ）

②フォルダ名
フォルダ名は変更が可能です。
（74ページ）

③フォルダ内の録画タイトル（オリジナル）の合計時間を表します。

④カギ付きフォルダ
フォルダによって録画タイトルを保護します。
（操作ガイド59ページ）
※HDDだけの機能です。

⑤フォルダ内の録画タイトルをルート上に移動したり、他のフォルダに移動することもできます。
（75ページ）
※フォルダ内にさらにフォルダを設定することはできません。



こんなときにフォルダを活用！

Q. フォルダはどんなときに使えばいいの？
A. 連続ドラマなどを録画する場合やご家族で本機を共有されている場合、それぞれフォルダを設定して管理すればスッキリ整理できます。



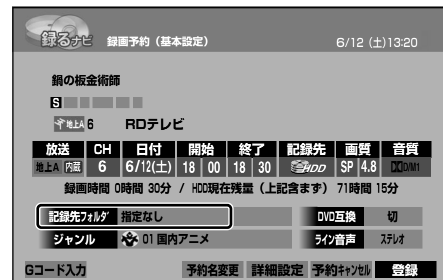
フォルダ設定でフォルダを作成すれば、録画タイトルをすっきり収納できます。詳しくは操作ガイド57ページをご覧ください。

Q. ルート上にたくさんある録画タイトルを一度にフォルダへ移動したりできる？
A. クイックメニューの「一括フォルダ間移動」を使えば複数の録画タイトルも一度で移動ができます。(75ページ)



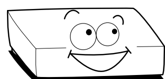
複数の録画タイトルを選んで移動先フォルダに楽々移動。（録画タイトルごとに移動先フォルダを個別指定も可能です）

Q. 録画をするとき、フォルダを選んで予約はできるの？
A. 「録るナビ」や「ネットdeナビ」でフォルダを指定して予約録画ができます。



「録画予約」画面で「記録先フォルダ」が選べます。（記録先フォルダ指定については65ページをご覧ください。）

フォルダ名を変更する



必要に応じてフォルダ名を変更します。「カギ付きフォルダ」と「ごみ箱」は名前の変更はできません。

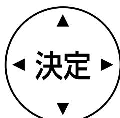
《フォルダ名として設定できない名前》
「ルート」、「ごみ箱」、「カギ付き」、「指定なし」という言葉（全角）を含む名前は設定できません。ただし、半角であれば設定は可能です。

1) 停止中、再生中または録画中に「見るナビ」を押す

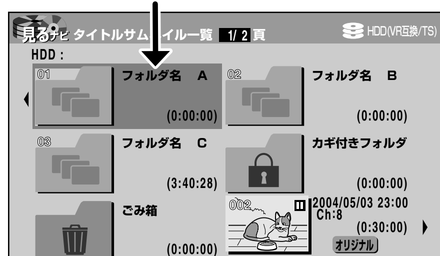


「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

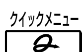
2) 名前を変更するフォルダを選ぶ

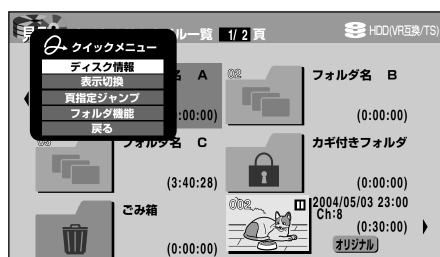


例：「フォルダ名 A」を変更

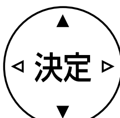


3)「クイックメニュー」を押す



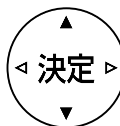


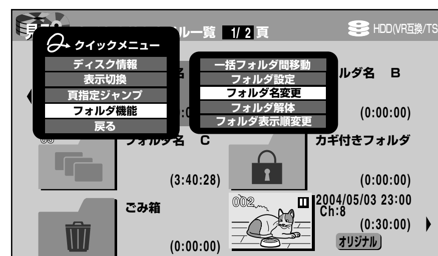
4)「フォルダ機能」を選び、「決定」を押す





5)「フォルダ名変更」を選び、「決定」を押す





6) キーボードを使ってフォルダ名を変更する

文字入力の方法は操作ガイド 18 ページをご覧ください。

例：「フォルダ名 A」を「私のフォルダ」に変更

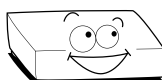


文字入力が終わったら「モード」を押して保存します。
保存後は「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」に戻ります。





録画タイトルをフォルダに移動する



録画タイトルを一つだけフォルダに移動します。

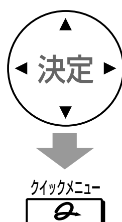
《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するには操作ガイド60ページ）

1) 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」を押す



見るナビ画面が表示されます。

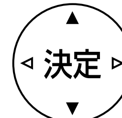
2) 移動させる録画タイトルを選択した状態で「クイックメニュー」を押す

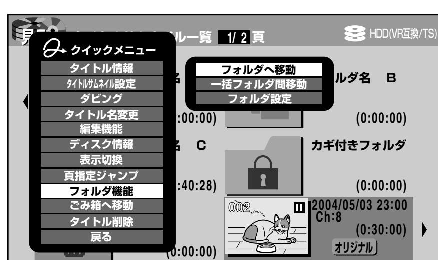




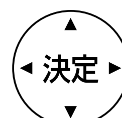
例：この録画タイトルを移動させる

3) 「フォルダ機能」→「フォルダへ移動」を選び、「決定」を押す





4) 移動先のフォルダを選び、「決定」を押す

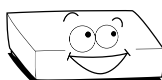


例：「フォルダ名　C」に移動



- 「カギ付きフォルダ」や「ごみ箱」への移動も可能です。
- フォルダ内にある録画タイトルも移動できます。
- フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は、「フォルダから出す」を選びます。

複数の録画タイトルを一括してフォルダに移動する



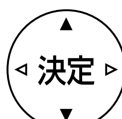
複数の録画タイトルを一つのフォルダ、または複数のフォルダに移動します。一度に50タイトルまで移動できます。

《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するには操作ガイド60ページ）

1) 停止中､再生中または録画中に､「見るナビ」を押す

2) 「クイックメニュー」を押す

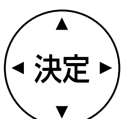
3) 方向キーで､「フォルダ機能」→「一括フォルダ間移動」を選び､「決定」を押す





4) 移動させるタイトルを選び､「決定」を押し､移動先フォルダを選ぶ

例:録画タイトルNO.「001」をフォルダNO.「01」へ移動

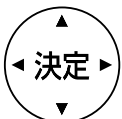


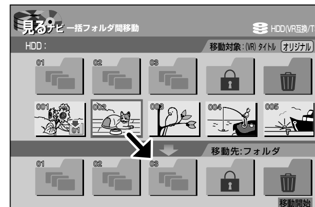


- フォルダ内の録画タイトルも移動できます。
- 「決定」を押したあと、選んだ録画タイトルのサムネイルには、移動先を表わすアイコンが表示されます。例：「01」
- 移動をキャンセルする場合は、キャンセルする録画タイトルを選び「クイックメニュー」を押し、選択キャンセルを選び「決定」を押します。
- 一括フォルダ間移動では、カギ付きフォルダの開錠はできますが、施錠することはできません。

5) 手順5をくり返して､移動させる録画タイトルを追加する

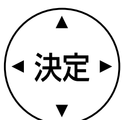
例:録画タイトルNO.「002」をフォルダNO.「03」へ移動





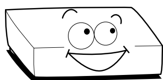
フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は､ルート上に出す録画タイトルを選び､移動先に「ルート」を選びます。

6) 「移動開始」を選び､「決定」を押す



録画タイトルが指定したフォルダに移動します。

ごみ箱に移動する



削除予定の録画タイトルを、あとでまとめて削除できるよう「ごみ箱」に入れておけます。

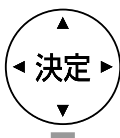
《ごみ箱に移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
　（開錠するには操作ガイド➡60ページ）

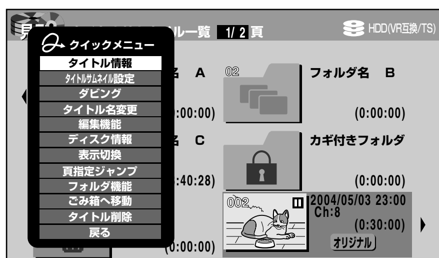
1) 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」を押す



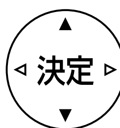
「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

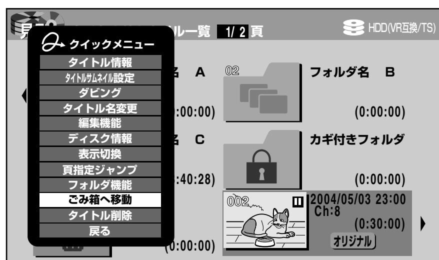
2) ごみ箱に移動する録画タイトルを選び、「クイックメニュー」を押す



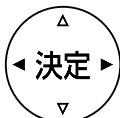


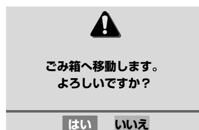
3) 「ごみ箱へ移動」を選び、「決定」を押す





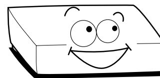
4) 内容を確認して「決定」を押す





ごみ箱に移動する場合は「はい」を選び、キャンセルする場合は「いいえ」を選びます。
ごみ箱に録画タイトルがはいっている場合、ごみ箱のアイコンは、ふたのあいた赤色のアイコンに変わります。

ごみ箱を空にする



「ごみ箱」にはいっている録画タイトルをまとめて削除します。削除を実行するとキャンセルができませんのでご注意ください。
プレイリストのパーツをごみ箱へ移動しても再生はされます。ただし、空にしてしまうとプレイリストから削除されます。

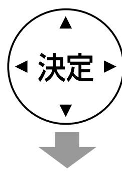
《以下の状態の場合ごみ箱を空にできません》
・予約録画準備中・録画中

1) 停止中または再生中に、「見るナビ」を押す



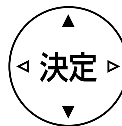
「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

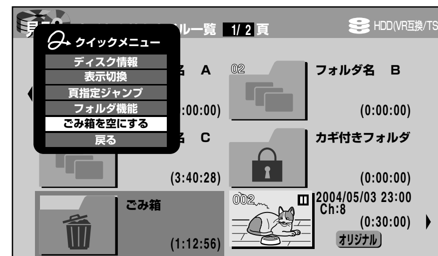
2) ごみ箱を選び、「クイックメニュー」を押す





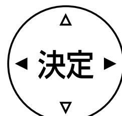
3) 「ごみ箱を空にする」を選び、「決定」を押す

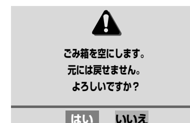




「ごみ箱を空にする」はごみ箱に削除するタイトルがはいっていない場合、表示されません。

4) 内容確認をして「決定」を押す



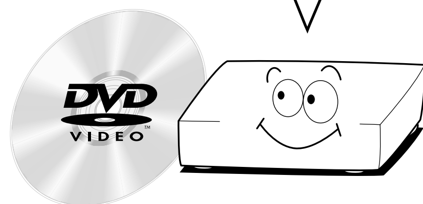


ごみ箱を空にする場合は「はい」を選び、キャンセルする場合は「いいえ」を選びます。
削除中のキャンセルはできません。

DVD ビデオディスクを再生する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

音楽用CD、ファイナライズ処理後のDVD-R/RW（Videoモード）も同じ手順で再生できます。





1 再生したいディスクを入れ、「DVD」を押す

DVD

本体の DVD インジケーターが点灯します。

2 「再生」を押す



再生が始まります。

- ディスクによっては、「DVD」を押すだけで、再生が始まることがあります。
- 再生が始まるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

再生を停止する／一時停止をする



「停止」を押す
再生を終了します。



再生中に「一時停止」を押す
再生が一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

お知らせ

- DVD ビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなります。

いろいろな速さで再生する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD



早送り／早戻しする

再生中に、「早戻し」または「早送り」を押す



・「早戻し」または「早送り」を押すたびに、それぞれの再生する速さが切り換わります。

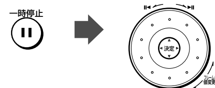
・再生を押すと、普通の再生に戻ります。

早耳早聞機能

早見早聞を押すと、音声付きで早送りができます。

コマ送り／コマ戻しする

再生中に、「一時停止」を押してから、ジョグダイヤルを回す



▶II：コマ送りします。

II◀：コマ戻しします。

・再生を押すと、普通の再生に戻ります。

ワンタッチスキップ

再生中に、「ワンタッチスキップ」を押す



・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➡ 112 ページ）をスキップします。

ワンタッチリプレイ

再生中に、「ワンタッチリプレイ」を押す



・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➡ 112 ページ）前に戻し、そこから再生を再開します。
・ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものがあります。

1/20 分割ジャンプ

再生中に、方向キー（◀ / ▶）をジャンプしたい方向へ動かす



ボタンを押すたびに、再生中のタイトルやトラックの約 1/20 にあたる時間をスキップします。
・タイトルやトラックの長さが 1 分以下だと働きません。

前後のチャプター／トラックへスキップする

「スキップ（I◀◀ / ▶▶I）」をくり返し押して、再生したいチャプター / トラック番号を選ぶ



▶▶I：一つ先のチャプター／トラックから再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて２回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

スローモーションで再生（※ CD は不可）

再生中に、「スロー」を押す



I▶：進む方向のスローモーションで再生します。

◀I：戻る方向のスローモーションで再生します。

・押すたびに、速さが切り換わります。

・再生を押すと普通の再生に戻ります。

静止画をめくる
(静止画が記録されたディスクの再生)

静止画が記録されたディスクを入れ、「再生」を押す



静止画の 1 枚目が再生されます。

⬇



ジョグダイヤルを回す

▶II：次の静止画が再生されます。

II◀：前の静止画が再生されます。

・「再生」を押し続けてめくる場合や、「決定」や「スキップ（I◀◀ / ▶▶I）」を押してめくる場合があります。

お知らせ

- データ放送付きの番組を TS 録画したタイトルは、通常速度以外ではデータ放送が非表示となり、通常速度に戻しても非表示のままとなることがあります。
- マルチビューの放送や降雨対応放送を TS 録画したタイトルの場合、以下の再生がメインの映像でしかできません。
  - 逆スロー再生
  - コマ戻し再生
- TS 録画したタイトルの場合は、逆スロー再生の速さは 1 段階だけになります。
- マルチビューの放送を TS 録画したタイトルの場合、ワンタッチスキップ、ワンタッチリプレイ、1/20 分割ジャンプ、スキップは主映像から再生を開始する場合があります。
- データ放送付きの番組を TS 録画したタイトルは、1/20 分割ジャンプができないことがあります。

その他便利機能



デジタル放送を TS 録画（画質 TS で録画）したタイトルについては  24 ページ～をご覧ください。

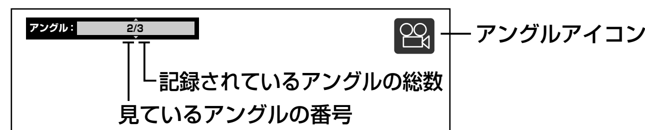
アングルを変えて見る DVDビデオ

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

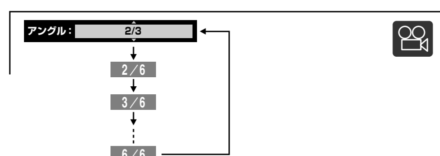
1) 再生中に、リモコンのふたをあけて「アングル」を押す

アングル

・マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。表示中に好きなアングルに切り換えることができます。



2) アングル番号の表示中に、「アングル」を押して、好きなアングルを選ぶ



・アングル番号表示は操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

字幕の表示と切換 DVDビデオ

字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。



1) 再生中に、リモコンのふたをあけて「字幕」を押す

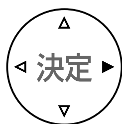
字幕

・現在の字幕設定を表示します。



言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（ 127 ページ）と照らし合わせてください。

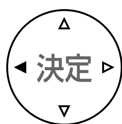
2) 方向キー（▶）で、「入」または「切」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して切り換える



・「切」にすると字幕は表示されません。

字幕


3) 「入」にした場合は、方向キー（◀）で、「字幕」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して好きな言語を選ぶ



・字幕設定の表示は、操作してから約 3 秒たつと自動的に消えます。

字幕


・ディスクによっては、字幕の表示切換を、ディスクメニューで選ぶ場合があります。

音声の切換 HDD DVD-RAM DVD-RW(VRモード) DVD-RW(Videoモード) DVD-R(VRモード) DVD-R(Videoモード) DVDビデオ

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。

1) 再生中または放送受信中に「音多」を押す

音多

・現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合は、言語コード表（ 127 ページ）と照らし合わせてください。

2) 音声設定の表示中に「音多」を押して好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わりかたが異なります。

● HDD DVD-RAM DVD-RW(VRモード) DVD-R(VRモード)、およびテレビ放送受信中

ステレオ音声の番組

「ステレオ」（左の（主）音声と右の（副）音声）→「L」（左の（主）音声）→「R」（右の（副）音声）（→「ステレオ」に戻る）

二重音声の番組

「主」（主音声）→「副」（副音声）→「主＋副」（主音声＋副音声）（→「主」に戻る）

●以下のディスクは、ふたの中の「音声」で切り換えられます。

DVD-RW(Videoモード) DVD-R(Videoモード) DVDビデオ

ディスクに記録されている音声の、言語・音声方式・出力チャンネル数

音声： 1 日本語 2ch PCM

音声設定の表示は、操作してから約 3 秒たつと自動的に消えます。

方向キー（◀/▶）で右の項目を選ぶと、「値変更」ジョグダイヤルで音声出力設定（ 126 ページ）の切換えができます。

はじめに
番組を楽しむ
録画の前に
録画
再生
編集
ダビング
機能設定
その他



拡大して見る（ズーム）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード) | DVDビデオ

再生画面や受信画面を拡大できます。

1) 「ズーム」を押す

ズーム 黄　画面にズームガイドが表示されます。



・もう一度「ズーム」を押すとズームが解除されます。

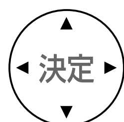
2) ズームする倍率と場所を選ぶ



・「モード」：
ズームする倍率が上がります。



・「戻る」：
ズームする倍率が下がります。



・方向キー：
ズームする場所が移動します。



・「クリア」：
ズームする部分が画面の中央に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、ズームできないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- ズーム中、ディスクに記録されているメニューの機能を使うと、ズームは解除されます。
- メニュー（GUI など）表示中は、ズームはできません。
- デジタル放送を TS 録画したタイトルの場合は、ズームはできません。

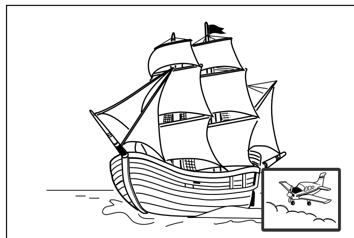
子画面で見る（P in P 再生）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード) | DVDビデオ

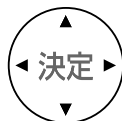
再生しながら、子画面で放送中の番組を見ることができます。　地上アナログ

1) 再生中、「PinP」を押す

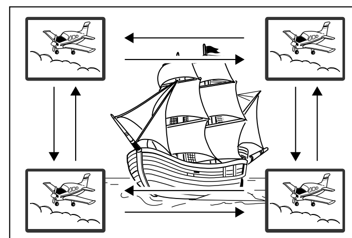
PinP 緑　・子画面（放送中、または録画中の番組）が表示されます。



2) 方向キーで、子画面を配置する場所を選ぶ



表示できる場所は以下の 4 カ所です。
・子画面を消すにはもう一度「PinP」を押します。



お知らせ

- 子画面の放送は「チャンネル（∧/∨）」ボタンでチャンネルを切り換えられます。
- 再生中の画面と子画面の入替えや、音声の切換はできません。
- タイムスリップ再生中に「PinP」を押すと、放送中の映像が子画面に表示されます。
- 位置を変更して P in P 機能を中止した場合、再度「PinP」を押すと、変更した場所に子画面が表示されます。ただし、本機の電源を切った場合は右下に表示されます。
- デジタル放送を子画面で表示することはできません。
- デジタル放送を TS 録画したタイトルでは、PinP 再生はできません。

動作と設定の状態を画面で確認する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD



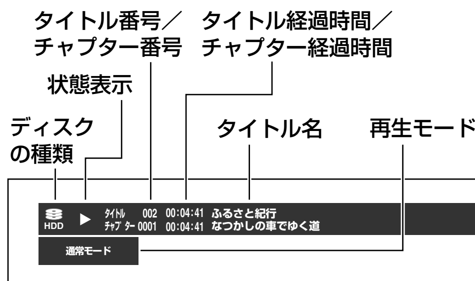
状態表示と設定状況表示

現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。

1)「表示」を押す

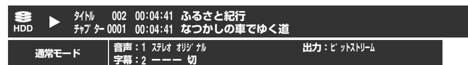
表示 以下のような状態表示が出ます。(ディスクによって内容は異なります。)

例：内蔵 HDD の再生中



2) もう一度「表示」を押す

本機の設定状態と再生残時間などが表示されます。
(ディスクや放送によって内容は異なります。)



・さらに「表示」を押すと、表示が消えます。

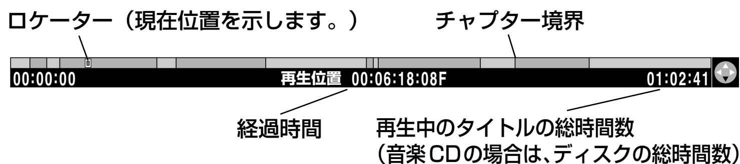
タイムバーを使う

タイムバーとは、再生や録画で現時点と全体との時間の関係を図式化した表示です。

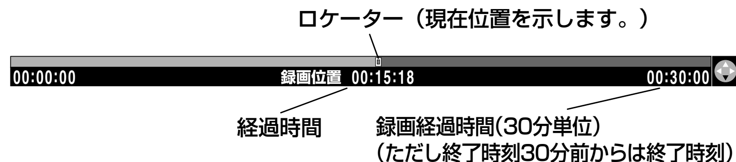
1) 再生中または録画中に「タイムバー」を押す

タイムバー タイムバーが表示されます。(ディスクによって内容は異なります。)

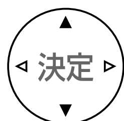
例：再生中



例：録画中



2) タイムバーの表示位置を変更するには、方向キー（▲/▼）を動かす



通常位置とそれより下方の 2 段階で表示位置が切り換えられます。

3) タイムバーを消すには、もう一度「タイムバー」を押す

タイムバー タイムバーの表示が消えます。

編　集

好きな場面だけを集めて、お気に入りの映像集が手軽に作れます。大事な録画は DVD ディスクに保存しましょう。

- ●**編集の前に**
- ●**チャプター編集**
- ●**プレイリスト編集（必要な場面を集める）**

編集の前に

編集するディスクについて

録画したタイトルの編集は、録画したメディアによって、できることに差があります。
以下の表を参考にしてください。

	HDD		DVD-RAM	DVD-RW*4		DVD-R*4	
	TS録画	VRモード録画		VRモード	Videoモード	VRモード*3	Videoモード
チャプター分割	◎	◎	◎	◎	△*2	○	△*2
チャプター削除	◎	◎	◎	◎	△*2	○	△*2
チャプター結合	○*1	◎	◎	◎	×	○	×
チャプター境界シフト	×	◎	◎	◎	×	○	×
オリジナルタイトル結合	○*1	◎	◎	◎	×	○	×
再生範囲拡大(GOP)*5	×	◎	◎	◎	×	○	×
プレイリスト編集	○*1	◎	◎	◎	×	○	×

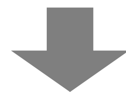
*1 TS 録画（TS 画質で録画）されたタイトル同士でだけ結合が可能です。それ以外の画質で録画されたタイトルと結合したり、混合したプレイリストを作成することはできませんのでご注意ください。
*2 DVD-R/RW（Video モード）は､録画中にだけチャプター分割ができます（➡ 85 ページ）。
また、ファイナライズしていなければ、タイトル／チャプターを削除することも可能です。
*3 DVD-R（VR モード）は、編集回数に限りがあります（➡操作ガイド 64 ページ）。
*4 ファイナライズをしていない DVD-R/RW が対象です。（ファイナライズ済の DVD-R/RW は編集ができません）。
*5 再生範囲拡大（GOP）機能については➡操作ガイド 68 ページをご覧ください。

ハードディスク（内蔵 HDD）の使いかたについて

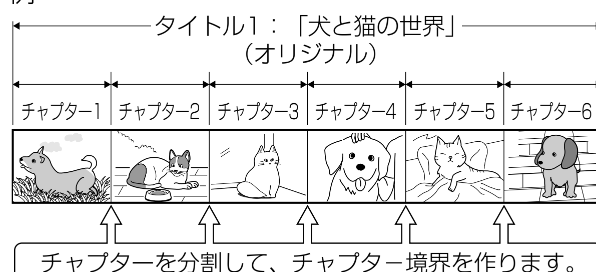
HDD に録画したタイトルから不要な部分を抜くためには、必要な部分のプレイリストを作成し、DVD ディスクに保存するやりかたをお勧めします。
プレイリストにせずに、不要なチャプターを削除するやりかたの場合、内蔵 HDD 内の不連続領域をふやすことになり、空いた隙間に次の録画が不連続に記録されていくため、内蔵 HDD 内の記録場所が細かく複雑になり (このような状態をフラグメンテーションと呼びます)、通常の動作が遅くなったり、場合によっては削除をしても空き領域が確保できない状態になったり、ディスクに保護がかかって録画や再生ができなくなることも考えられるためです。
(詳しくは➡操作ガイド 64 ページをご覧ください。)
内蔵 HDD は、定期的に「HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）」や「HDD 初期化（全削除）」を実行することで、フラグメンテーションがおきにくくなりますが、すべてのデータが消去されますので、たいせつな録画番組は DVD-RAM にダビングして残すなどしてから行なってください。

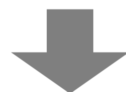
基本的な編集の手順

番組を録画する
（オリジナルのタイトルが自動的に作成されます。）

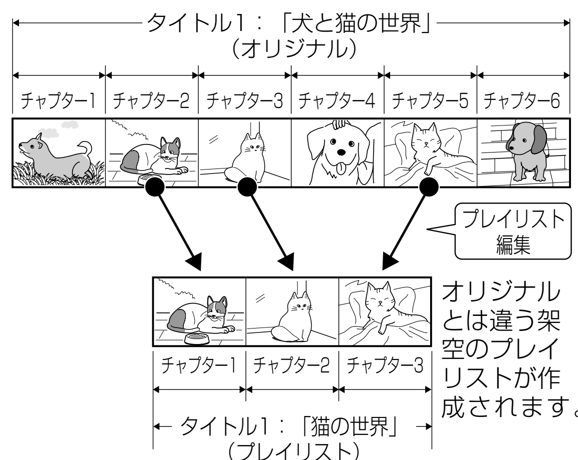


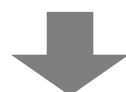
チャプター編集をする
録画してできたオリジナルのタイトルをチャプター分割します。
例：





プレイリスト編集をする
分割したチャプターから必要なチャプターだけ集める
プレイリストは架空のタイトルですので､ダビング前にオリジナルのタイトルを消去すると作成したプレイリストも消去されてしまいます。
例：猫のシーンだけを集めて一つのプレイリストを作成する





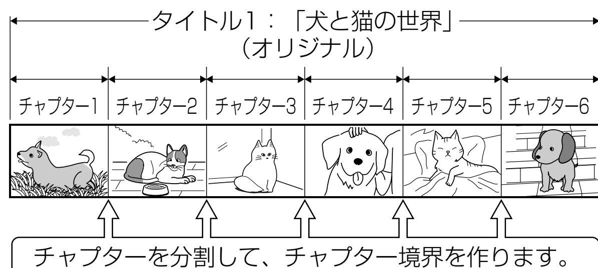
ダビングをする
作成したプレイリストをダビングする
プレイリストをダビングすると､ダビング先でオリジナルのタイトルになります。

チャプター編集

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

●チャプター編集をする

録画してできたオリジナルのタイトルをチャプター分割します。



- **チャプター分割しておくと、見たいシーンの頭出しができます。**
- **プレイリスト編集するには、チャプター分割しておきます。**

録画中や再生中にチャプター分割をする



録画中や再生中にチャプター分割ができます。

チャプター分割

●再生中にチャプター分割する

再生中や一時停止中にチャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

●録画中にチャプター分割する

録画中に、チャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

録画中に「**一時停止**」を押しても、録画を一時停止した時点で自動的にチャプター分割されます。ただし、予約録画中はリモコンの「**一時停止**」を押しても分割されません。「**チャプター分割**」を押してチャプター分割します。

●追っかけ再生中にチャプター分割する

追っかけ再生中にチャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

録画中の内容を録画を止めることなくシーンを戻してチャプターが作れます。

お知らせ

- ダビング中、早送り／早戻し中、スロー再生中などはチャプター分割できません。
- TS 録画（TS 画質で録画）の場合、放送の内容によってはチャプター分割できない場所があります。
- マルチビュー放送の TS 録画の場合、主映像以外の映像を見ながら分割をすると、実際の分割位置がずれることがあります。

DVD-R/RW（Video モード）のチャプター分割について

DVD-R/RW（Video モード）では、DVD-Video 規格による制限があるため、録画済みタイトルのチャプター分割ができません。

チャプター分割を行なうには、以下の三とおりの方法があります。

- **●録画中に、チャプター分割したい場面で「チャプター分割」を押す**
- **●クイックメニューの「DVD-Video時チャプター分割」をあらかじめ設定しておいて録画する（設定の方法は⇨ 114 ページをご覧ください）**
- **●まずは内蔵 HDD に録画し、チャプター分割をしてから DVD-R/RW（Video モード）にダビングする**

チャプターをつなげる

1) **「見るナビ」画面で「モード」を押して、チャプターを表示する**

2) **つなげたいチャプターの前のチャプターを選択する**

3) **「クイックメニュー」を押す**

4) **方向キー（▲ / ▼）で「編集機能」を選び、「決定」を押す**

5) **方向キー（▲ / ▼）で「後ろと結合」を選び、「決定」を押す**

- 「全チャプター結合」を選ぶと、タイトル内のチャプターをつないで一つのチャプターにします。

お知らせ

- チャプターをつなぐと、以降のチャプターはチャプター番号がくり上がります。
- タイトル（オリジナル）の中でチャプター結合をしても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。また、タイトル（プレイリスト）の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル（オリジナル）には影響しません。

プレイリスト編集（必要な場面を集める）

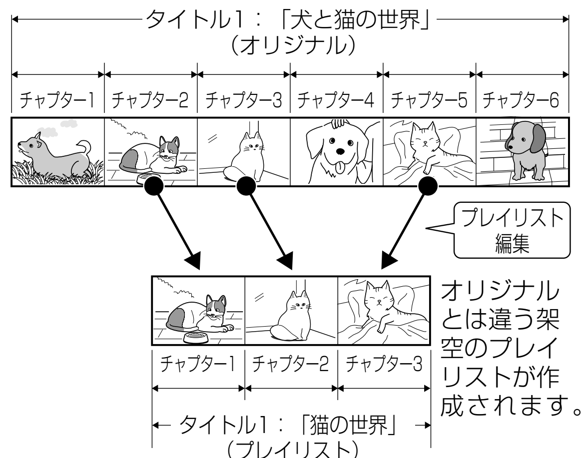
HDD　DVD-RAM　DVD-RW（VRモード）　DVD-RW（Videoモード）　DVD-R（VRモード）　DVD-R（Videoモード）



●プレイリスト編集をする

自分の好きなチャプターだけを集めて一つのタイトルにできます。（プレイリスト）プレイリストは架空のタイトルですので、オリジナルのタイトルを消去したりすると作成したプレイリストも消去されてしまいます。

例:タイトル1の「犬と猫の世界」で猫のシーンだけを集めて一つのプレイリストを作成する



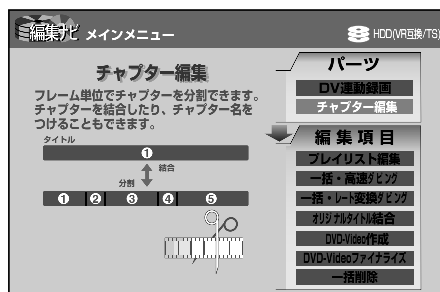
オリジナルとは違う架空のプレイリストが作成されます。

プレイリストを作成したら、以下のことに注意してください。

- 作成したプレイリストは見るナビの最後（オリジナルの後）に表示されます。
- 一回だけ録画可能な番組（コピーワンス）では、プレイリストを作成することはできますが、ダビングは1回だけの「移動」しかできません。（➡91ページ）
- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると、関連するプレイリストのタイトルやチャプターも同時に削除されます。（反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。）

1 停止中または再生中に、「編集ナビ」を押す

編集ナビ



「編集ナビ」画面が表示されます。

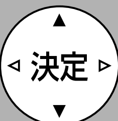
- 「編集ナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

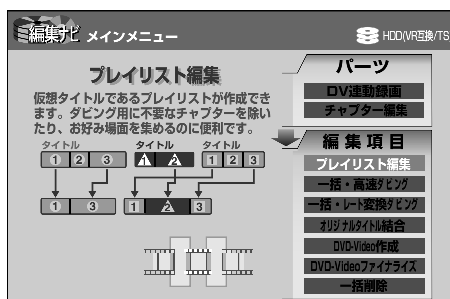
この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を編集。

DVD を押す：DVDディスクの録画内容を編集。

2 「プレイリスト編集」を選び、「決定」を押す





3 方向キーで、パーツにするタイトルまたはチャプターを選ぶ

フォルダ内のタイトル（またはチャプター）もパーツに選ぶことができます。
タイトルとチャプターの表示は「モード」で切り換えることができます。



フォルダ上で「決定」を押すとフォルダ内にはいれます。フォルダから出るときは上の「⇧」を選んで「決定」を押してください。

4 「決定」を押す

選んだパーツを挿入する場所を示すカーソルが表示されます。



5 パーツを入れる場所を選び、「決定」を押す

最初は左端に固定されます。そのままボタンを押してください。

選んだパーツがカーソルのあった場所にはいります。



- パーツを選択すると、元のパーツに下向きの矢印マークがつきます。タイトル全体が選択されている場合はオレンジ色の矢印、タイトルの中のいくつかのチャプター、またはフォルダ内のいくつかのパーツが選択されている場合は緑色の枠線の矢印、選択されているチャプターは緑色の矢印マークになります。

6 手順3 ～5 をくり返して、好きな順にパーツを追加する

●選択したパーツを取り消したいときは

1）取り消すパーツを選んだ状態で、「**クイックメニュー**」を押して、クイックメニューを表示させる

2）方向キー（▲ / ▼）で「選択キャンセル」を選ぶ

3）「**決定**」を押す

7 必要なパーツを並べ終わったら、「戻る」を押す

戻る

メッセージが出て、編集したプレイリストを保存しはじめます。

保存が終わると、「編集ナビ　メインメニュー」画面になります。

最初に選んだパーツがフォルダ内にある場合は、プレイリストはそのフォルダ内に保存されます。

お知らせ

- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると、関連するプレイリストのタイトルやチャプターも同時に削除されます。（反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。）
- TS 録画（TS 画質で録画）されたタイトルと、その他の画質で録画されたタイトルが混在するプレイリストをつくることはできません。
- 結合したパーツが不連続の場合、再生中にパーツ境界で一時静止状態になる場合があります（たとえば奇数番号のチャプターを結合したプレイリストなど）。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置とずれることがあります。
- 編集しているタイトル（プレイリスト）自身、およびそれに含まれるチャプター（プレイリスト）は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトル、またはチャプターをプレイリストに登録することはできません。
- DVD-R/RW（Video モード）に録画したものは、そのままではプレイリストのパーツには選ぶことができません。内蔵HDD にダビングすればパーツとして選ぶことができます。
- 録画中または予約録画開始前 15 秒以内のタイトルは黒い画面に「録画中…」の文字が表示され、編集対象として選ぶことはできません。

ダビング

- ダビングについて
- 高速ライブラリダビング（パーツ単位でダビングする）
- レート変換ダビング（画質・音質レートを変えてダビングする）
- ラインUダビング（再生中の映像を録画する）
- 一括削除（パーツをまとめて削除する）
- DVD-Videoファイナライズ処理をする
- DVD-R/RWに一回でまとめて書き込む（DVD-Video作成）

ダビングについて

録画した内容は、内蔵HDDとDVDドライブの間、または同一ドライブ内にダビングできます。
用途に合わせてダビングを使いこなしましょう。

ダビングの目的		おすすめのダビング
●タイトルやチャプターをダビングしたい！ プレイリストをオリジナルタイトルにしたい！	➡	①高速ライブラリダビング（92ページ） 一括・高速ライブラリダビング （操作ガイド79ページ）
●最適なレートに変換してダビングしたい！	➡	②レート変換ダビング（94ページ） 一括・レート変換ダビング （操作ガイド82ページ）
●今再生しているタイトルをすぐダビングしたい！	➡	③ワンタッチダビング（93ページ）
●DVD-R/RWでファイナライズされてしまった タイトルなどをHDDにダビングしたい！	➡	④ラインUダビング（96ページ）
●HDDに録画してある、個人の映像集などを DVD-R/RWにダビングして作品として配布したい！	➡	⑤DVD-R/RWに一回でまとめて書き込む （DVD-Video作成）（100ページ）

①高速ライブラリダビング：
- 録画した一つのタイトルやチャプターをそのままダビングします。
- プレイリストをオリジナルタイトル化するときにも便利です。
- 高速とは、実際の録画時間よりも短い時間でダビングするということです。

一括・高速ライブラリダビング：
- 複数のタイトルやチャプターを選択し、まとめてダビングします。

②レート変換ダビング：
- 録画時とは異なるレート（画質・音質）に変えてダビングします。
- 例えば、高いレートに設定した「MN」モードでHDD に録画をして、そのままでは容量が多く（高レートのタイトルは容量がかかります）、DVD ディスクにダビングしてもはいりきらないときに、レートを低く設定してダビングする場合に使います。
- また、本機で DVD 互換モードを「切」で二カ国語放送を HDD に録画し、あとで DVD-R/RW（Video モード）にダビングする場合にも使えます。
（その際は、DVD 互換モードを「入」にしてダビングします。）

一括・レート変換ダビング：
- 複数のタイトルやチャプターをまとめてレート変換ダビングします。
- 主な用途は上記のレート変換ダビングと同じです。

③ワンタッチダビング：
- リモコンの「ワンタッチダビング」ボタンを押すだけで、①の高速ライブラリダビングができます。
- 再生中のタイトルをダビングしたいときに使います。

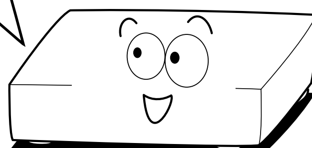
④ライン U ダビング：
- 本機で再生している映像を、そのまま本機で録画するダビング方法です。
（コピーを禁止されていない映像に限ります。）
- 一時停止や早送り、スロー再生を行なうと、その状態がそのまま録画されます。
- 例えば、ファイナライズ済や本機以外で作成され、「見るナビ」で表示できない DVD-R/RW の内容を内蔵 HDD にダビングしたい場合に使います。

⑤DVD-R/RW に一回でまとめて書き込む（DVD-Video 作成）
- この方法で作成した DVD-R/RW は、本機以外の互換性のある DVD プレーヤーで DVD ビデオとして再生することができます。
- 例えば、結婚式や旅先の映像集など、個人で撮影した映像を内蔵 HDD に録画し（「外部機器から録画する」50 ページ参照）、DVD-R に書き込んで配付する場合に使います。

1 回だけ録画が可能な番組 (コピーワンス) のダビングについて

デジタル放送の番組など「1 回だけ録画が可能な番組」（コピーワンス）は、TS 録画したタイトルは「見るナビ」の「レート変換ダビング」での「移動」を、それ以外の画質で録画したタイトルは「見るナビ」の「高速ダビング」「レート変換ダビング」での「移動」を一度だけ行なうことが可能です。（いずれも内蔵 HDD から DVD ディスクへの一方向だけの移動が可能です。逆方向の移動はできません。）詳しくは➡ 36 ページの「1 回だけ録画が可能な番組（コピーワンス）の録画について」をご覧ください。

他にもi.LINK機器へのダビングや、LAN端子で接続した機器へのネットdeダビングの機能があります。
詳しくは操作ガイドを見てね！



高速ライブラリダビング（パーツ単位でダビングする）

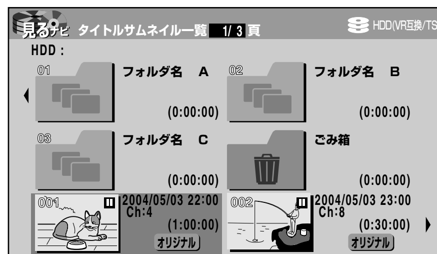
HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

パーツ（タイトルまたはチャプター）をひとつ選んでダビングします。
1 回だけ録画可能な番組の移動は、本機能を使って内蔵 HDD からディスクに移動します。



1 停止中または再生中に、「見るナビ」を押す





「見るナビ」画面が表示されます。

・「見るナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

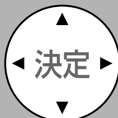
この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を表示。

DVD を押す：DVDディスクの録画内容を表示。

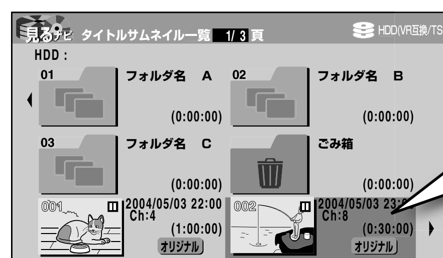
（DVD-R/RW（Videoモード）は、本機で録画したディスクのときだけ表示ができます。）

2







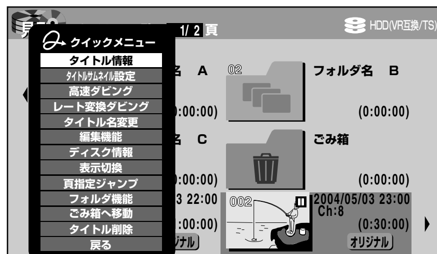


ダビングするタイトル（またはチャプター）を選ぶ

- 「**頁(|◀◀/▶▶|)**」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。もう一度押すと、タイトルに戻ります。

3 「クイックメニュー」を押す





「クイックメニュー」が表示されます。

■TS 録画（TS 画質で録画）したタイトルの場合



TS録画したタイトルは「高速ダビング」はできません。クイックメニューには「D-VHSへ移動」と表示されます。

「D-VHSへ移動」を選び「決定」を押すと、確認の画面のあとi.LINK端子に接続した機器への「移動」が行なわれます。

（操作ガイド87ページ）

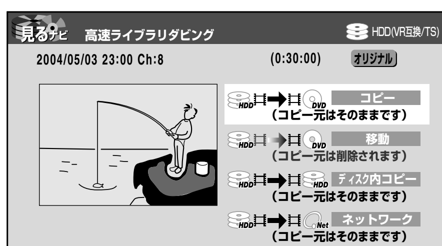
4 「高速ダビング」を選び、「決定」を押す

決定



5 ダビングする

決定



コピー：ダビングする内容は、ダビング後も元のディスクに残ります。
移動：ダビングする内容は、ダビング後は元のディスクから消去されます。（プレイリストを移動すると、オリジナルも削除されます。）
ディスク内コピー：
同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。
プレイリストをオリジナル化するのに活用できます。
ネットワーク：
本機とネットワーク接続されている機器をコピー先に指定できます。⇨操作ガイド 80 ページをご覧ください。

以下の場合は、設定が自動的に決まります。
コピー：選んだタイトル（またはチャプター）が、「保護設定」（⇨操作ガイド 51、121 ページ）にしてあるとき
移動：選んだタイトル（またはチャプター）がコピー禁止のとき

6 「決定」を押す

決定

コピー／移動がはじまります。
進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。
コピーが終わると表示が消え、ブザーが鳴ります。
●ダビングが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
(1) ダビング中に「**クイックメニュー**」を押す
(2)「終了後電源切る」を選び、「**決定**」を押す

お知らせ
- TS 録画（TS 画質で録画）されたタイトルは、高速ダビングはできません。それ以外の 1 回だけ録画が可能な映像は、内蔵 HDD から DVD-RAM や DVD-R/RW（いずれも CPRM 対応）に移動だけが可能です。移動すると内蔵 HDD の元の映像は削除され、DVD-RAM や DVD-R/RW の映像はコピーも移動もできなくなります。
- パーツはダビングをするとそれぞれタイトルになります。
- DVD-RAM の「ディスク内コピー」は処理に時間が長くかかります。
- DVD-R/RW（Video モード）では「ディスク内コピー」と「ネットワーク」は選べません。
- 内蔵 HDD から DVD-R/RW（Video モード）への移動と DVD-R/RW から内蔵 HDD への移動はできません。
- DVD-R/RW（Video モード）にダビングするとき、選択したパーツによってはタイトルが分割される場合があります。
- 本機以外で録画した DVD-R/RW（Video モード）から内蔵 HDD、またはその逆方向の高速ダビングはできません。
- **DVD-R/RW に DVD-Video モードで直接録画したタイトルを HDD に高速ダビングすると HDD の状態が複雑になり、初期化を要求される場合があります。この場合、そのタイトルを削除するか、「管理設定」の「HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）」をしてください。**

コピー／移動を途中で中止したいときは

1) **コピー／移動中に、「クイックメニュー」を押す**
「クイックメニュー」が表示されます。

2) **方向キー（▲ / ▼）で「ダビング中止」を選び、「決定」を押す**

お知らせ
- コピー／移動を途中で中止した場合、ダビング中のパーツはダビング先で削除されます。
- DVD-R の場合、途中で中止しても書き込んだ分の容量は減ります。

ワンタッチダビングについて

現在再生している番組をすぐダビングしたいときに便利です。

1) **ダビングしたい番組を再生中に「ワンタッチダビング」を押す**
ワンタッチダビング
ダビング画面が表示されます。

2) **⇨本ページの操作手順 5、6 を行なう**

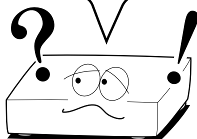
お知らせ
- TS 録画（TS 画質で録画）されたタイトルはワンタッチダビングできません。

ダビング

レート変換ダビング（画質・音質レートを変えてダビングする）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

内蔵 HDD に録画した番組の画質や音質が高すぎて、DVD ディスクにはいりきらない



こんなときは、レート変換ダビング！

レート変換ダビングは、こんなときにもお使いください。

●本機で DVD 互換モード（40 ページ）を「入」にしないで録画したため DVD-Video 作成ができないタイトルや、DVD 互換モードに対応していない機器で録画した DVD-RAM のタイトルを、DVD-R/RW に書き込みたいとき（DVD 互換モードを「入」にして HDD にダビングする。）

レート変換ダビングは、**パーツ単位**で行なう方法と、**複数のパーツを一括して**行なう方法（操作ガイド82 ページ）の、二とおりがあります。（複数のパーツを一括して行なう方法では、それぞれのパーツに同じレートが適用されます。個別の設定はできません。）

パーツ単位でレート変換ダビングする

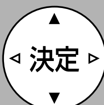


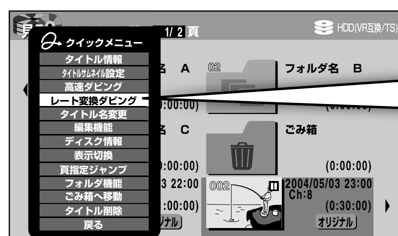
1

「高速ライブラリダビング」（92ページ）の操作手順1～3を行なう

「クイックメニュー」が表示された状態になります。

2





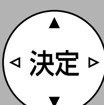
「レート変換ダビング」を選び、「決定」を押す

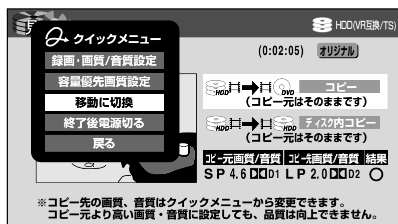
3

「移動」または「ディスク内移動」をしたい場合：

「クイックメニュー」を押して、方向キー（▲/▼）で「移動に切換」を選び、「決定」を押す





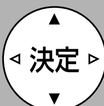


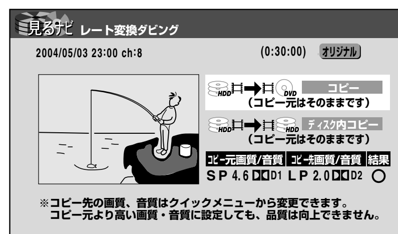
・「コピー」または「ディスク内コピー」の画面に戻る場合は、同じ手順で「コピーに切換」を選んでください。

4

ダビングを選択する

「コピー」／「ディスク内コピー」の場合：





コピー：
ダビングする内容は、ダビング後もダビング元のディスクに残ります。

ディスク内コピー：
同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。

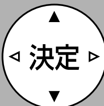
「移動」／「ディスク内移動」の場合：



移動：
ダビングする内容は、ダビング後は元のディスクから削除されます。
（プレイリストを移動すると、そのプレイリストが参照していたダビング元のオリジナルタイトルも削除されます。）

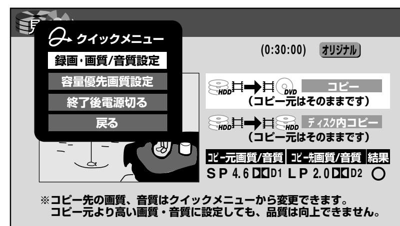
ディスク内移動：
同じディスクに、レート変換後のタイトルだけが残ります。

5 画質と音質のレートを確認する



変えたいときは、以下の手順を行ないます。

1）「**クイックメニュー**」を押してクイックメニューを表示させる

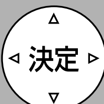


2）方向キー（▲/▼）で項目を選び、「**決定**」を押す

●録画・画質 / 音質設定：
あらかじめ設定してあるレート（37 ページ）の一覧が出ます。「値変更（⏮/⏯）」ジョグダイヤルで設定 No. を選べます。

●容量優先画質設定：
ディスクの残量から計算して最も高画質になるようなレートが設定されます。この機能を使っても、録画する内容によってはディスクに収まらない場合もあります。また、ディスクの空き容量をすべて使い切る機能ではありません。

6 「決定」を押す

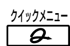


ダビングが始まります。

進行状況を見るには、「タイムバー」ボタンを押してタイムバーを表示させます。（タイムバーはダビングされません。）
コピーが終わると、放送中の映像に戻ります。
レート変換ダビング中の映像・音声はモニター用です。テレビ画面形状に対して正しく表示されないことがあります。

レート変換ダビングを途中で中止したいときは

1) 「クイックメニュー」を押す



2) 方向キー（▲/▼）で「レート変換ダビング中止」を選ぶ

3) 「決定」を押す

お知らせ
- 「1 回だけ録画が可能」な番組を録画したタイトルの移動を中止した場合、中止した時点までの内容が削除されます。
  それ以外のタイトルのダビングを中止した場合、ダビング中のパーツはダビング先で削除されます。

レート変換ダビング終了後に自動的に電源が切れるようにする

1) 設定中またはコピー中に、「クイックメニュー」を押す

2) 方向キー（▲/▼）で「終了後電源切る」を選ぶ

3) 「決定」を押す

お知らせ
- 「1 回だけ録画が可能」な番組を録画したタイトルは「移動」だけが可能です。
- DVD-RAM/R/RW から同じディスクへのレート変換ダビングはできません。
- 高速ライブラリダビングと異なり、デジタル変換の際に若干画質・音質が低下します。またダビングには再生時間分かかります。
- コピー元より高い画質・音質に設定しても品質は向上しません。
- VR モード間のレート変換ダビングでは、チャプター位置がフレーム単位でコピーされますが、ずれる場合もあります。
  VR モードから Video モードのレート変換ダビングではチャプター位置が GOP 単位でずれます。
  Video モードから VR モードへのレート変換ダビング、TS 録画したタイトルのレート変換ダビングでは、チャプターの分割位置はコピーされません。
- レート変換ダビングでできたタイトルの前後には、自動的に黒画面が録画されます。TS 録画したタイトル以外の場合は、前にはいる黒画面は自動的にチャプター分割されます。
- レート変換ダビング中は、バーチャルサラウンド効果は機能しますが、記録はされません。
- レート変換ダビング中は、音声出力の切換えはできません。
- 「DVD 互換モード」（40 ページ）を「切」に設定していると、音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力されます。再生をするときには「音声」または「音多」を押して出力する音声を選んでください。
- 「DVD 互換モード」（40 ページ）を「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定していると、音声多重放送では選んだ音声（主または副）だけが記録されます。（ステレオ放送は通常どおりステレオ音声として記録されます。）
- プレイリストをレート変換ダビングする場合、そこに含まれるチャプターが録画時のオリジナルタイトルの先頭部分である場合は先頭が 1 フレーム欠けます。
- DVD-R/RW にレート変換ダビングするとき、ダビング先のアスペクト比（画面比）は元タイトル先頭のアスペクト比になります。
- レート変換ダビング中は、P in P 機能は使えません。
- レート変換ダビングで「容量優先画質設定」を選択したとき、選択したパーツの音質によって、コピーの録画画質／音質は 9.2Mbps または 8.0Mbps に変更されます。

ラインUダビング（再生中の映像を録画する）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-RW（Videoモード） | DVD-R（VRモード） | DVD-R（Videoモード）

コピーの禁止されていないディスクの映像を、再生しながら録画することができます。静止や早送り、スローなどもそのまま録画されます。
以下のようなときにご利用ください。
・ファイナライズ済のDVD-R/RWの内容を内蔵HDDにダビングしたいとき。
・本機以外の機器で作成した「見るナビ」に未対応のDVD-R/RWの内容を内蔵HDDにダビングしたいとき。

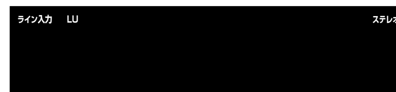
例：DVD-R/RWから内蔵HDDにダビングする
　（ダビングしたい番組がはいったディスクを、本機に入れておきます。）



1　入力切換　チャンネル

「入力切換」または「チャンネル」をくり返し押して、入力に「ラインU」を選ぶ

黒画面になります。



2　HDD　録画

「HDD」を押したあと、「録画」を押す

録画が始まります。



3　DVD　再生

「DVD」を押したあと、DVDドライブ側のダビングしたい番組を再生する

4　停止

ダビングしたい内容の再生が終わったら、「停止」を押す

再生が停止し、黒画面に戻ります。

5　HDD　停止

「HDD」ボタンを押したあと、「停止」を押す

録画が停止します。

お知らせ
• 次の組合せでダビングができます。
　内蔵HDD→内蔵HDD、内蔵HDD→DVDディスク、DVDディスク→内蔵HDD
• ラインUで録画したタイトルは、先頭と最後の部分が黒画面になる仕様になっています。したがって、「見るナビ」画面ではサムネイルも黒画面になる場合があります。サムネイルを変更するには操作ガイド50ページをご覧ください。
• 複製が禁止されたDVDビデオディスク、音楽用CDの内容は、ラインUダビングできません。
• 画質・音質設定によっては、ラインUダビングすると画質や音質が変わる場合があります。
•「見るナビ」「録るナビ」などの画面表示をラインUダビングすることはできません。
• ラインUダビングの録画予約はできません。
• ラインUダビング中は、以下の機能は使えません。
　ーP in P
　ー 録るナビ（表示させると再生が停止します。）
• ラインUの入力を選んでいる間は、強制的にステレオ出力となり、音声出力の変更はできません。録画実行中は音声出力が切り換えられます。
• ラインUダビング先の音声は、すべてステレオ方式で記録されます。
• ラインUダビング中は、バーチャルサラウンド効果（112ページ）は機能しますが、記録はされません。
• 一回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）や、TS録画をしたタイトルは、ラインUダビングはできません。

一括削除（パーツをまとめて削除する）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

複数のタイトルとチャプターを、まとめて削除できます。
ファイナライズ処理をしたDVD-R/RWディスクでは、一括削除はできません。

準備

①削除したい番組が録画されているディスクを選ぶ
HDD: 内蔵HDD
DVD:DVDディスク
②再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す
「編集ナビ　メインメニュー」が表示されます。



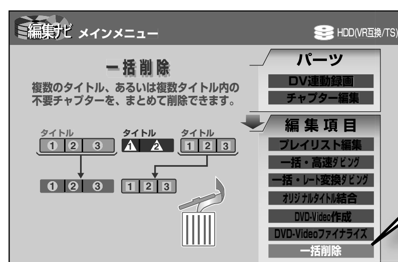
お知らせ

- マルチビュー放送の中のひとつの映像を削除すると、関連した他のマルチ映像も削除されます。
- TS録画（TS画質で録画）されたタイトルの場合、削除できないチャプターがあることがあります。

1

決定

「一括削除」を選び、「決定」を押す



2

決定

削除したいパーツ（タイトルまたはチャプター）を選び、「決定」を押す



- 「**頁(I◀◀/▶▶I)**」: 前後のページに移動します。
- 「**モード**」: 選んでいるタイトルのチャプターを表示します。もう一度押すと、タイトルに戻ります。
- すべてのオリジナルパーツを選ぶこともできます。
「クイックメニュー」を押して、クイックメニューから「ディスク内全タイトル選択」を選び、「決定」を押します。

3

決定

もう一度「決定」を押す

画面下側（削除対象側）に、カーソルが表示されます。
最初は左端に固定されます。そのまま「決定」を押してください。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。



4

操作手順2～3をくり返す

削除したいパーツをすべて指定してください。

5

決定

「削除開始」を選び、「決定」を押す

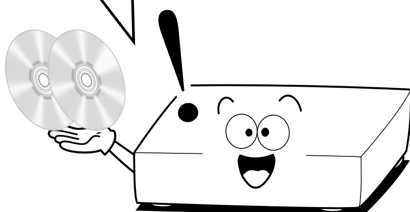


確認メッセージで「はい」を選び、「決定」を押すと削除が始まります。
「いいえ」を選ぶと削除を中止します。

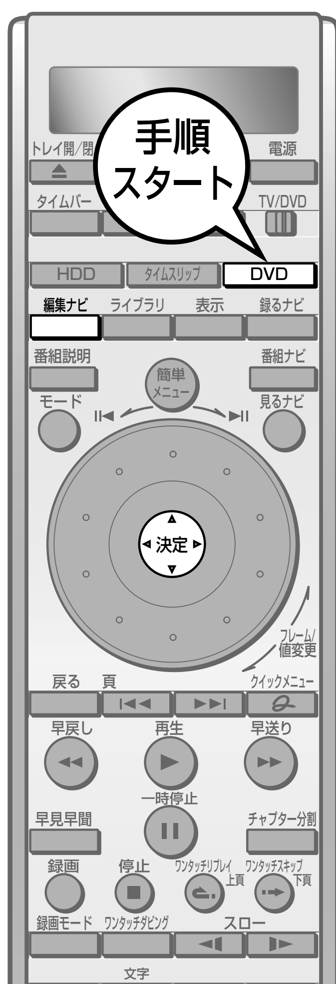
DVD-Video ファイナライズ処理をする

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

他のDVDプレーヤーなどで再生したいときは、録画済みのDVD-R/RW (Videoモード)を DVD-Video ファイナライズ処理しましょう！



●DVD-Videoファイナライズ処理をすると、そのディスクに追記はできなくなります。DVD-RWの場合、追記したいときは、ファイナライズを解除してください。DVD-Rの場合は、ファイナライズを解除できません。
●本機で録画、ダビングした DVD-RW 以外はファイナライズ解除はできません。



1

DVD

ファイナライズ処理をするディスクを入れ、「DVD」を押す

本体の DVD インジケーターが点灯します。

2

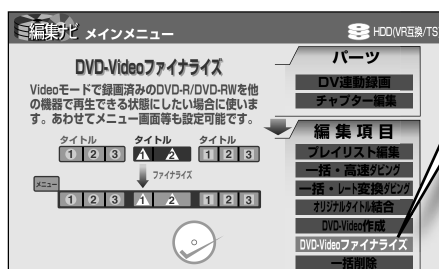
編集ナビ

再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

3

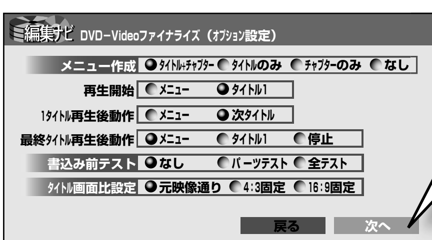
決定



「DVD-Video ファイナライズ」を選び、「決定」を押す

4

決定



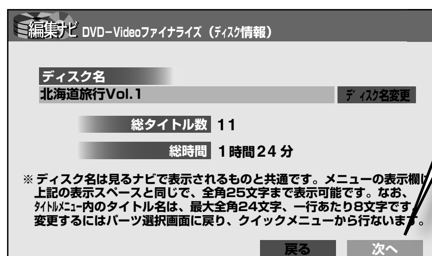
方向キーで各項目を設定し、設定が終わったら「次へ」を選び、「決定」を押す

設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

5

決定



方向キーで「次へ」を選び、「決定」を押す

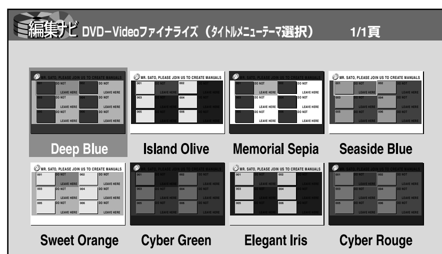
書き込む情報を確認する画面が表示されます。

方向キー（▲）で「ディスク名変更」を選び「決定」を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。
●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の「次へ」が「書込み開始」になります。これを方向キーで選び「決定」を押します。手順８へ。

6 タイトルメニューテーマを選び、「決定」を押す

決定

手順４で「メニュー作成」に「タイトル＋チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトルメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。「メニュー背景登録」で取り込んだメニューテーマ（操作ガイド84、110ページ）は、次頁に表示されます。



「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」を押すと選択画面に戻ります。
取り込んだメニュー背景は、文字色の変更ができます。（操作ガイド84、110ページ）。

7 チャプターメニューテーマを選び、「決定」を押す

決定

テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。
「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。
プレビュー中に、方向キー（▼）で「戻る」を選び、「決定」を押すと、タイトルメニューのプレビューを表示することができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向キーで「チャプターメニュー」表示の横の番号を選んで「決定」を押すことで、チャプターメニューのプレビューを表示できます。

8 確認メッセージで「はい」を選び、「決定」を押す

決定

終了後の電源についてのメッセージが表示されます。
「はい」または「いいえ」を選び、「決定」を押す。

ファイナライズ処理が始まります。

お知らせ
- DVD-R/RW（Video モード）は、録画をした本機自身でだけ、ファイナライズ処理前でも再生できますが、他の機器ではディスクが認識されず、使用できません。
- DVD-R は、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、一度録画に使用されたディスクの領域は再使用できません。
- DVD-RW は、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ空き容量が増えます。
- DVD-RW は、ファイナライズを解除したり、ディスクを初期化して録画・ダビングをやり直すことができます。
- ファイナライズ処理中に予約録画の開始時刻になった場合、内蔵 HDD に予約録画されます。ただし、メニューテーマ作成中のときは､実行されません。また「リリーフ録画」が「切」のときは、DVD への予約録画は実行されません。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ処理をした DVD-RW（Video モード）のファイナライズを解除し、追記できるようにします。

1) **停止中に「クイックメニュー」を押す**

クイックメニュー
「クイックメニュー」が表示されます。

2) **方向キー（▲ / ▼）で「ディスク管理」を選び、「決定」を押す**

3) **方向キー（▲ / ▼）で「ファイナライズ解除」を選び､「決定」を押す**

4) **メッセージの内容を確認し､方向キー（◀ / ▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

ファイナライズ解除の処理が始まります。

お知らせ
- 予約録画の準備中では、ファイナライズ解除を実行できません。
- 本機以外で録画したDVD-RW（Videoモード）ディスクのファイナライズは解除できません。
- ディスクにソフトプロテクトが設定されている場合には、ファイナライズ解除できません。
- ファイナライズ解除を実行すると、タイトル・チャプターサムネイルの位置が変わることがあります。

■ DVD-R/RW（VR モード）ファイナライズ

DVD-R/RW（VR モード）ディスクもファイナライズすることができます。DVD-R/RW（VR モード）ディスクをファイナライズすることで､VR モード対応のより多くの DVD プレーヤーやレコーダー（他社機、パソコン含む）で再生できる場合があります。

1) **はじめにファイナライズをするディスクを入れておきます**

2) **停止中に「クイックメニュー」を押す**

3) **方向キー（▲ / ▼）で「ディスク管理」を選び、「決定」を押す**

4) **方向キー（▲ / ▼）で「DVD ファイナライズ」を選び､「決定」を押す**

5) **メッセージの内容を確認し、方向キー（◀ / ▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

ファイナライズ処理が始まります。

解除するには…

DVD-RW ディスク（Video モード）のファイナライズ解除方法と同様です。（同ページ）
DVD-R（VR モード／ Video モード）はファイナライズを行なうと、解除することはできません。

DVD-R/RW に一回でまとめて書き込む（DVD-Video 作成）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

内蔵 HDD に録画した内容を編集して、結婚式や旅先の映像集など、作品として配付するのに便利な DVD-R に書き込むことができます。書き込んだ DVD-R は、互換性のある DVD プレーヤーで、DVD ビデオとして再生できます。また、書換え可能な DVD-RW にも内蔵 HDD から書き込むことができます。



DVDディスク（Videoモード）へのダビングとファイナライズをまとめて行なうことができます。

準備

① DVD-R/RW に保存したい内容を、以下の条件で内蔵 HDD に録画しておきます。

- 「DVD 互換モード」（➡ 40 ページ）を必ず「入（主音声）」「入（副音声）」のどちらかに設定する。
- 本機に未使用の DVD-R または DVD-RW を入れます。（DVD-R/RW の取扱い方法は、DVD-R/RW の説明書にしたがってください。）
- 「HDD」を押して、HDD モードを選んでおきます。

②「編集ナビ」を押して、「編集ナビメインメニュー」を表示します。

お知らせ

- DVD 互換モード（➡ 40 ページ）を「入」にしないで録画したため DVD-Video 作成ができないタイトルや、DVD 互換モードに対応していない機器で録画した DVD-RAM 内タイトルを DVD-R/RW に書き込みたいときは、DVD 互換モードを「入」にして「レート変換ダビング」（➡ 94 ページ）をしてください。
- DVD-R が 4 倍速以上の記録対応であっても、ディスクの状態によっては高速記録できない場合があります。

ご注意

- **著作権法上、放送番組などを録画して配付することはできません。**
- **書込みの前に、内容を十分確認してください。**＊1
- **直後に録画予約がないことを書込みの前に確認してください。**＊2
- **お使いになる DVD-R/RW を確かめてください。**＊3
- **ディスクの取扱いに注意してください。**

＊1 DVD-R で DVD-Video 作成機能を利用するときは、新規のディスクでしか書込みができません。書き込んだ後はファイナライズ済みとなるので、内容の追加、削除、修正は一切できません。また、書込みを途中で中止すると、その DVD-R は使用できなくなります。
DVD-RW では、録画された内容があっても上書きしてしまいますのでご注意ください。本機能で書き込んだ内容に追加、削除、修正はできません。空き容量がある場合は、ファイナライズを解除すれば新たに追加することもできます。

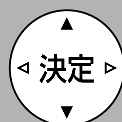
＊2 書込みでかかる所要時間はディスクの種類、内容によって異なりますが、最大約 1 時間半かかる場合があります。（「書込み前テスト」の時間は含んでいません。「書込み前テスト」を実施するとさらに多く時間がかかります。「書込み前テスト」にかかる時間は、書き込む内容によっても変わります。）
DVD-Video 作成中に予約録画の開始時刻になると、内蔵 HDD に録画されます。ただし、メニューテーマ作成中は実行されません。また、「リリーフ録画」が「切」の設定で、内蔵 HDD への予約でない場合は、予約録画は実行されません。DVD-Video 作成中に予約録画が開始された場合は、続けて 2 枚目以降を作成することはできません。

＊3 お使いになるディスクについては、➡ 30 ページをご覧ください。
「ファイナライズ済み」の DVD-RW（Video モード）のディスクも使えますが、初期化されます。

＊本機で作成した DVD-R/RW（Video モード）は DVD-Video 規格に準拠しておりますが、すべてのプレーヤーなど（当社､他社含む）での正常な再生を保証するものではありません。DVD-R に記録できる容量と DVD-RW に記録できる容量では若干の差があります。DVD-RW に記録できる容量の方が少なくなるため、1 枚目を DVD-R で DVD-Video 作成したあと、2 枚目に DVD-RW で実施すると記録容量によっては DVD-RW には記録できない場合があります。



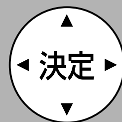
1





「DVD-Video 作成」を選び、「決定」を押す

2

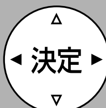




方向キーで、DVD-R/RWに書き込みたいパーツ（タイトルまたはチャプター）を選び、「決定」を押す

- 「**頁**（⏮/⏭）」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。もう一度押すと、タイトルに戻ります。

3



方向キー（◀/▶）で、パーツを入れる場所を選び、「決定」を押す

画面下側に、カーソルが表示されます。
最初は左端に固定されます。そのまま「決定」を押してください。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。



カーソル

4

手順2 〜3 をくり返す

DVD-R/RW の空き容量は、画面下部のバーで確認できます。

選んだパーツはそれぞれ一つのタイトルとしてDVD-R/RW に書き込まれます。

●登録したパーツを取り消したいときは
1）取り消すパーツを選んだ状態で、「**クイックメニュー**」を押して、クイックメニューを表示させる
2）方向キー（▲/▼）で「選択キャンセル」（すべて取り消したいときは「選択パーツの全クリア」）を選ぶ
3）「**決定**」を押す

●タイトルやチャプターの名前やサムネイルを変更するには（102 ページ）

●パーツの内容を確認するには（102 ページ）

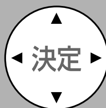
5



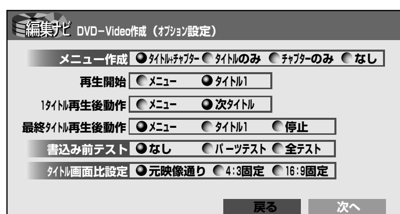
方向キー（▼）で「次へ」を選び、「決定」を押す

オプション項目を設定する画面が表示されます。

6



方向キーで、各項目を設定する

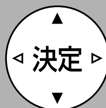


設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●「書込み前テスト」に「パーツテスト」「全テスト」を選んだときは、事前にテストする分だけ多くの時間がかかります。なお「全テスト」は「パーツテスト」よりも時間がかかります。
DVD-RWの場合は、「全テスト」を選択していても、「パーツテスト」として実行されます。

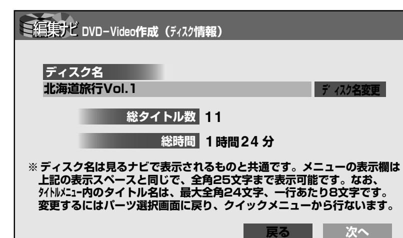
●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

7



方向キー（▲/▼）で「次へ」を選び、「決定」を押す

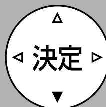
書き込む情報を確認する画面が表示されます。



方向キー（▲）で「ディスク名変更」を選び「決定」を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。

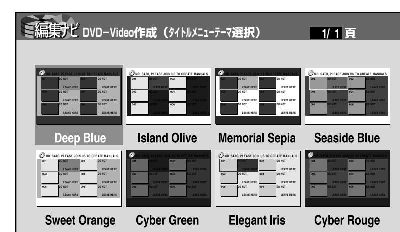
●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の「次へ」ボタンが「書込み開始」になります。これを方向キーで選び「決定」を押します。手順 12 へ。

8



方向キー（▼）で「次へ」を選び、「決定」を押す

手順 6 で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトルメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。
「メニュー背景登録」で取り込んだメニューテーマ（操作ガイド 84、110ページ）は、次ページに表示されます。



「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。
取り込んだメニュー背景は文字色の変更ができます。（操作ガイド 84、110 ページ）

9

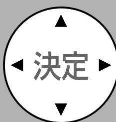


方向キーでタイトルメニューテーマを選び、「決定」を押す

手順 6 で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「チャプターのみ」を選んだとき、チャプターメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

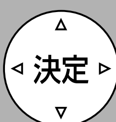
（つづく）

10 方向キーでチャプターメニューテーマを選ぶ



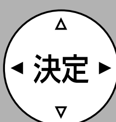
テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。プレビュー中に、方向キー(▼)で「戻る」を選び、「決定」を押すと、タイトルメニューのプレビューを表示することができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向キーで「チャプターメニュー」表示の横の番号を選んで「決定」を押すことで、チャプターメニューのプレビューを表示できます。

11 「チャプターメニューテーマ選択」画面の表示中に、「決定」を押す



確認のメッセージが表示されます。

12 方向キーで「はい」を選び、「決定」を押す



書込みが始まります。進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。

選んだパーツの書込みの最後に、ファイナライズという処理が自動的に行なわれます。これは、DVD-R/RW を通常の DVD プレーヤーで再生できるようにするための処理です。

●書込みが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
  (1) 書込み中に「**クイックメニュー**」を押す
  (2) 方向キー(▲/▼)で「終了後電源切る」を選び、「**決定**」を押す

書込みが終了すると、「続けてもう 1 枚同じ DVD-Video を作成しますか。」というメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。(「終了後電源切る」の設定時には表示されません。)「はい」を選ぶと、同じ内容の DVD-R/RW を作ることができます。

パーツの内容を確認する

1) パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」を押す

2) 方向キー(▲/▼)で「パーツのプレビュー」「パーツのフルプレビュー」を選び、「決定」を押す

「選択パーツの全プレビュー」を選ぶと、選んだパーツそれぞれについて順にプレビュー再生します。

タイトルやチャプターの名前/サムネイルを変更する

1) パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」を押す

2) 方向キー(▲/▼)で「タイトル名変更」「タイトルサムネイル変更」または「チャプター名変更」「チャプターサムネイル変更」を選び、「決定」を押す

3) タイトル名・チャプター名を入力画面で変更する(文字入力の方法については⇨操作ガイド 18 ページをご覧ください)

お知らせ

- DVD-R/RW(Video モード)に書き込めるタイトルは上限(99 個、それぞれチャプター数が 99 を超えないこと)があり、DVD-Video 規格の制限によって書込みができない場合があります。また、メニューの数が多すぎるために書込みができない場合もあります。
- DVD-R/RW(Video モード)に書き込むと、DVD-Video 規格と DVD-VR 規格の違いによって、チャプターの数や位置が若干変わることがあります (このとき生じたチャプターは、元のチャプターと同じサムネイルが表示されます。)。また、不要なシーンが含まれることがあります。
- 音声モード・音声多重、画面形状などの異なるパーツが混在している場合や、途中で設定や条件が変わる画像内容は、DVD-R/RW(Video モード)に書き込むと、いくつかのタイトルに分割されます。(このとき生じたタイトルのサムネイルは、元のタイトルと同じサムネイルが表示されます。ただし、「見るナビ」で表示されるタイトルサムネイルとは異なります。)
- プレイリストの構造が複雑な場合やパーツが多すぎる、あるいは極端に短いなど、状態によっては DVD-R/RW(Video モード)に正しく書き込めないことがあります。
- 1 回だけ録画が可能な映像や TS 録画したタイトルは、DVD-R/RW(Video モード)に書き込むことはできません。
- 当社製以外のレコーダーや当社製 HDD&DVD ビデオレコーダー RD-2000 / RD-X1 / RD-X2 で録画されたディスクは、そのまま本機の内蔵 HDD に高速ライブラリダビングしても、DVD-Video 作成はできません。「DVD 互換モード」を「入」にしてレート変換ダビング(⇨ 94 ページ)を行ない、内蔵 HDD にディスクの内容をコピーしてください。
- 「MN(マニュアル)」モード1.4Mbps以下で録画した場合、16:9のアスペクト比(画面比)の部分があると、DVD-Video作成でパーツとして登録できなかったり、DVD-Video作成の途中でエラーが起こることがあります。この場合「オプション設定」の「タイトル画面比設定」を「4:3固定」にしてください。
- 「DVD 互換モード」を「入」にして録画したタイトルでも、本機以外では DVD-R/RW に記録できない場合があります。
- 作成途中で失敗した DVD-R は、ほとんどの場合、再使用はできません。
- DVD-Video 作成時にエラーなどが発生すると、本体表示窓に「ERR -**」(**はエラーコード)が表示されます。(⇨ 124 ページ)この表示を消すには「表示」ボタンを押してください。
- 「書込み前テスト」でエラーにならなくても、ディスクの状態によっては書込みが正しくできない場合があります。

機能設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

設定メニュー一覧

・各項目の詳細は107 ページからご覧ください。

DVDプレーヤー設定

- DVDディスクメニュー言語
- DVD音声言語
- DVD字幕言語
- DVD Dレンジコントロール
- カラオケボーカル
- DVDパレンタルロック
- DVDビデオタイトル停止

操作・表示設定

- 画面表示設定
  - 画面表示
  - 透過度
  - スタートアップ
  - ブラウン管保護
  - バックカラー
- 操作音設定
  - 操作音設定
  - 終了時お知らせ音設定
- 時刻設定
  - 時刻設定／ジャストクロック
- TV画面形状
- リモコンモード

再生機能設定

- 静止画
- 映像調整選択
  - 標準
  - 設定1
  - 設定2
  - 設定3
- 映像調整
  - 設定1
  - 設定2
  - 設定3
- プログレッシブ変換
- 再生DNR
- 音声出力設定
- バーチャルサラウンド設定
- ワンタッチスキップ設定
- ワンタッチリプレイ設定
- HDD/RAMタイトル再生設定
- スチル集再生速度

録画機能設定

- 録画･画質/音質設定
- 録画映像効果設定
  - 録画映像モード
  - 録画DNR
  - 3次元Y/C分離
- 録音入力レベル
- ライン音声選択
- DVD-RW記録モード設定
- Videoモード記録時設定
  - DVD互換モード
  - 画面比
  - チャプター分割
- リリーフ録画
- 録画のりしろ初期設定
- タイトルサムネイル設定

管理設定

- カギ付きフォルダ設定
- ジャンル設定
- HDD/ディスク管理
  - HDD初期化(番組表／ライブラリ保持)
  - HDD初期化(全削除)
  - DVD-RAM物理フォーマット
  - HDD記録領域設定
- 省エネ設定
  - 待機時省エネ設定
  - HDDパワーモード
- ソフトウェアのダウンロード
  - 放送からの自動ダウンロード
  - サーバからのダウンロード開始
  - ソフトウェアバージョン
- デジタル放送のお知らせ
  - 放送局からのお知らせ
  - 本機に関するお知らせ
  - ボード
- 設定を出荷時に戻す

通信設定

- 通信接続設定
  - 通信接続方法選択
  - イーサネット設定
- Bluetooth設定

チャンネル/入力設定

- 地上アナログ設定
  - 地域選択
  - チャンネル設定変更

デジタル放送設定

- 視聴設定
  - 暗証番号設定
  - 視聴年齢制限設定
  - 番組購入限度額設定
  - 番組購入履歴
  - 番組購入履歴の送信
- データ放送
  - 郵便番号と地域の設定
  - 文字スーパー表示設定
  - ルート証明書番号
- その他
  - 簡易確認テスト開始
  - B-CASカード番号表示

初回設定

- 受信設定
  - 地上Dアンテナレベル
  - BS·110度CSアンテナレベル
  - BSパススルーモード設定
  - BS中継器切換
  - 110度CS中継器切換
- チャンネル設定
  - 地上D自動設定
    - 初期スキャン
    - 再スキャン
  - 手動設定
  - チャンネルスキップ設定
- 電話回線設定
  - ダイヤル方式
  - 外線発信番号
  - 電話会社の設定
  - 電話番号通知設定
  - 電話回線テスト
    - 電話回線テスト
    - センター接続テスト
  - 待ち時間の設定

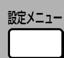
- BS・110度CSアンテナ電源設定
- ライン入力名設定
- スカパー！連動設定

設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

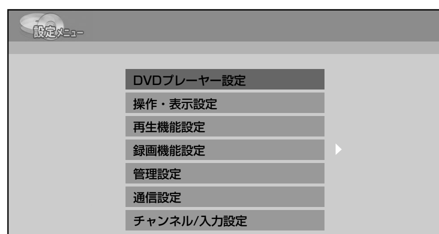


1

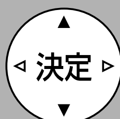


リモコンのふたをあけ、「設定メニュー」を押す

設定画面が表示されます。



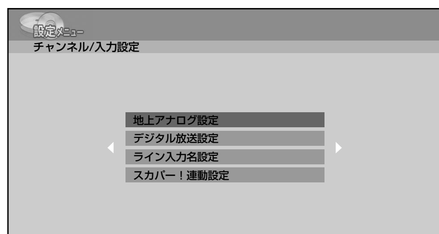
2



方向キー（▲/▼）で、設定したい項目のグループを選び、「決定」を押す

・目的の項目になるまで、この手順をくり返します。
　項目の内容は次のページをご覧ください。

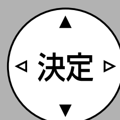
例：「チャンネル／入力設定」を選んだとき



例：「チャンネル／入力設定」→「デジタル放送設定」を選んだとき



3



⇨107 ページ以降の説明を参照して、方向キー（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す

- 同じグループの他の項目を設定するときは、手順 2、3 をくり返します。
- 他のグループに移るには、「戻る」を押してから、手順 2、3 を行ないます。

※一部「戻る」が効かないメニューがあります。その場合は「終了」ボタンを押して画面を閉じ、再度手順 1 から行なってください。

4



「設定メニュー」を押す

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 「設定メニュー」は再生中にも押せますが、項目によっては表示が薄くなって選べない場合があります。これらの項目はいったん再生を止めてから設定してください。
- 「設定メニュー」は、録画中、別タイトル再生中、タイムスリップ再生中、ダビング中には使えません。

DVD プレーヤー設定

DVD ディスクメニュー言語

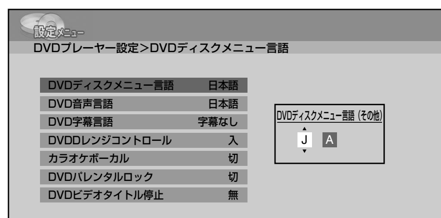
DVDビデオ

DVD ビデオディスクに記録してある各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行なってください。



1) 「言語コード表」（127 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー（▲ / ▼）または、「値変更」ジョグダイヤルでコードの第 1 字を選ぶ

3) 方向キー（◀ / ▶）でカーソルを移動させ、方向キー（▲ / ▼）または、「値変更」ジョグダイヤルでコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD 音声言語

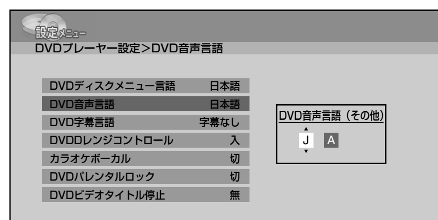
DVDビデオ

DVD ビデオディスクに記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行なってください。



1) 「言語コード表」（127 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー（▲ / ▼）または、「値変更」ジョグダイヤルでコードの第 1 字を選ぶ

3) 方向キー（◀ / ▶）でカーソルを移動させ、方向キー（▲ / ▼）または、「値変更」ジョグダイヤルでコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD 字幕言語

DVDビデオ

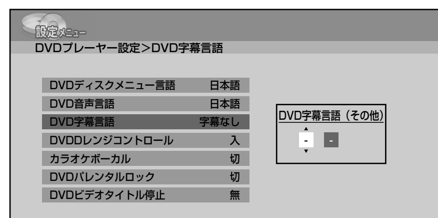
DVD ビデオディスクに記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

字幕なし：
字幕を表示しません。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行ってください。



1) 「言語コード表」（127 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー（▲ / ▼）でコードの第 1 字を選ぶ

3) 方向キー（◀ / ▶）でカーソルを移動させ、方向キー（▲ / ▼）または、「値変更」ジョグダイヤルでコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」でディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD D レンジコントロール

HDD DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVDビデオ

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

切：D レンジコントロール機能が働きません。

入：D レンジ機能が働きます。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって異なります。

カラオケボーカル

DVDビデオ

DVD カラオケ対応ディスクで再生ボーカルを出力するかしないかを設定します。

切：ボーカル（歌声）を出力しません。

入：ボーカル（歌声）を出力します。

お知らせ
- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録された DVD カラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、本機にアンプ等を接続してください。

DVD パレンタルロック

DVDビデオ

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い
- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。
  必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

入：
パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
「決定」を押したあとで、右記の手順 1) ～ 3) を行なってください。

切：
パレンタルロック機能は働きません。
「決定」を押したあとで、右記の手順 1) を行なってください。

1) 番号ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、「決定」を押す

初めてお使いになる場合は、番号ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、設定します。番号を入れまちがえたときは、「決定」を押す前に「クリア」を押して、入力し直します。

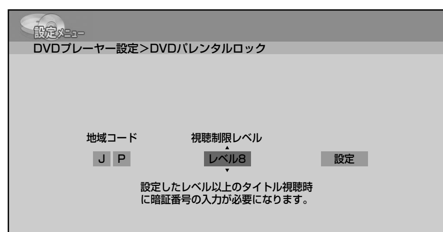
2) 下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地域のコードを入力する

国／地域	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

a) 方向キー（◀ / ▶）でカーソルを移動させ、方向キー（▲ / ▼）でコードの第 1 字を選ぶ

b) 方向キー（◀ / ▶）でカーソルを移動させ、方向キー（▲ / ▼）でコードの第 2 字を選ぶ

3) **方向キー（▲/▼）で設定したい規制レベルを選び、「決定」を押す**



選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル 7 を設定すると、レベル 8 以上はロックされ再生できなくなります。

4) **方向キー（◀/▶）で「設定」を選び、「決定」を押す**

「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応した DVD ビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル 7：NC-17　　レベル 3：PG
レベル 6：R　　レベル 1：G
レベル 4：PG13

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順 1）～ 4）を行なう

■暗証番号を変えるには

1) **「入」または「切」を選び「決定」を押し、暗証番号入力画面で「停止」を 4 回押し、さらに「決定」を押す**

暗証番号が解除されます。

2) **番号で新しい 4 桁の暗証番号を入力する**

3) **「決定」を押す**

お知らせ

- DVD パレンタルロックの暗証番号は、「デジタル放送設定 - 視聴設定」の「暗証番号設定」での暗証番号とは別のパレンタルロック専用の番号です。お間違いのないようにしてください。

DVD ビデオタイトル停止

DVD-RW (Videoモード)｜DVD-R (Videoモード)｜DVDビデオ

DVD ビデオディスクの再生時、一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。VR フォーマットの DVD-R/RW では機能しません。

無：
一つのタイトルが終わってもそのまま次のタイトルが再生できます。

有：
一つのタイトルが終わったら、ディスクの作りに応じた動作をします。
本機で録画した未ファイナライズの DVD-R/RW の場合は、次のタイトルが再生されます。ただし次のタイトルがない場合、再生が停止します。

操作・表示設定

画面表示設定

画面表示

HDD｜DVD-RAM｜DVD-RW｜DVD-R｜DVDビデオ｜CD

本機の動作状態 (「 ▶ 」など) を画面に表示するかどうかを設定します。

切：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示しません。

入：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示します。

透過度

HDD｜DVD-RAM｜DVD-RW｜DVD-R｜DVDビデオ｜CD

メニューやアイコンなどの画面表示の濃さを変えて、下の画像が透けて見えない度合いを選びます。

透過しない：やや透過：透過する

スタートアップ

電源を入れたときに自動的に表示する動画の有無を設定します。

切：
スタートアップ画面を表示しません。

入（動画）：
電源を入れたときに、自動的にスタートアップ画面を表示します。

ブラウン管保護

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

テレビ画面の焼付き軽減のために、再生画像の一時停止状態や GUI 表示(「見るナビ」画面など)が無操作で約 15 分続くと、テレビ画面などに戻る機能です。
この機能を「入」にしておくと、本機がフリーズしても 15 分ほど放置しておくと復帰できる場合があります。

切:
ブラウン管保護機能は働きません。

入:
ブラウン管保護機能が働きます。

この機能は、テレビ画面の焼付き防止を保証するものではありません。

バックカラー

放送のないチャンネルを選んだときなど、映像入力信号のないときの画面の色を選びます。

切:色を設定しません。

黒:黒の画面色が設定されます。

青:青の画面色が設定されます。

お願い
- 受信の状態などによっては、映像が見えるときにバックカラーが働いたり、映像が見えないときにバックカラーが解除されることがあります。バックカラーの途切れが気になるときは「切」にしてください。

お知らせ
- デジタル放送の場合は、この機能は働きません。

操作音設定

操作音設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

本機を操作したときの操作音の有無を設定します。

切:
操作音は鳴りません。

入:
操作音が鳴ります。

お知らせ
- リモコンからの予約転送エラーの際など警告のためのブザー音はこの設定にかかわらず消せません。

終了時お知らせ音設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

ダビングなどを終了するときのブザー音の有無を設定します。

切:
ブザー音は鳴りません。

入:
ブザー音が鳴ります。

お知らせ
- リモコンからの予約転送エラーの際など警告のためのブザー音はこの設定にかかわらず消せません。

時刻設定/ジャストクロック

接続・設定編 32 ページをご覧ください。

TV 画面形状

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

接続しているテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。
設定の詳細は、接続・設定編 34 ページ「テレビ画面形状を設定する」をご覧ください。

リモコンモード

リモコンのモードを設定します。当社製の 2 台目、3 台目の HDD&DVD ビデオレコーダーを使うときに、それぞれ異なったリモコンモードに設定すれば、誤操作の防止に役立ちます。
設定の詳細は、接続・設定編 81 ページ「リモコンの設定(2 台目、3 台目をリモコンで操作する)」をご覧ください。

DR1:DR2:DR3

再生機能設定

静止画

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

一時停止させたときの画像の解像度を設定します。

自動:
通常はこの設定にします。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム:
動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

お知らせ
- TS 録画をしたタイトルの再生では、この設定に関わらず「自動」となります。

映像調整選択

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

画質の設定を 4 種類(標準/設定 1 /設定 2 /設定 3)のうちから選びます。

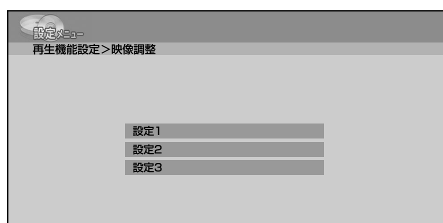
映像調整

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R | DVDビデオ

設定 1 ～ 3：

調整した画質の設定をそれぞれに記憶できます。

1) 方向キー（▲/▼）で、記憶する番号（1 ～ 3）を選び、「決定」を押す



2) 方向キー（▲/▼）で調整項目を選び、方向キー（◀/▶）で値を調整する

明るさ
(0) 暗くなる ⇔ 明るくなる (14)

コントラスト
(− 7) 淡くなる ⇔ 濃くなる (7)

色の濃さ
(− 7) 薄くなる ⇔ 濃くなる (7)

色調
(− 7) 赤色が強くなる ⇔ 緑色が強くなる (7)

エッジ強調
(− 3) 輪郭をソフトに ⇔ 輪郭をシャープに (3)

ガンマ
OFF/1/2
暗い画面で動作が見えないときに調整します。

3) 調整が終わったら、「決定」を押す

お知らせ

- ライン U ダビング・レート変換ダビングのときは、標準設定の画質になります。
- D3 出力時、デジタル放送や TS 録画したタイトル再生の D2 出力時は、コントラスト以外の調整は無効となります。
- HDMI 出力時には映像調整は無効となります。
- デジタルチューナー出力からの映像にはこの設定は無効となります。

プログレッシブ変換

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R | DVDビデオ

DVD ビデオディスクの記録内容には、一般的にフィルム素材（フィルム映像を 24 コマ / 秒で記録）とビデオ素材（映像情報を 30 コマ / 秒で記録）の 2 種類があります。映像の種類に合わせて設定します。

自動：

通常の設定です。映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

ビデオ：

映像をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。一般放送やビデオカメラで撮影された映像を見るのに適しています。

フィルム：

フィルム素材の映像を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。映画番組などを見るのに適しています。

お知らせ

- 映像によっては、輪郭がギザギザになったり、映像が二重にぶれて見えることがあります。
- 以下の場合には、それぞれ所定のプログレッシブ変換を行なうため、この設定は無効となります。
  – HDMI 出力
  –デジタル放送の D2/D3 出力時
  – TS 録画したタイトルの再生

再生 DNR

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R | DVDビデオ

ノイズを低減して再生する設定を選びます。
方向キー（▲/▼）で、設定する項目を選び、
方向キー（◀/▶）で、「入」または「切」を設定します。

3D-DNR：

切： この機能は働きません。

入： 映像信号に混入している全体的なノイズを低減します。

モスキート NR：

切： この機能は働きません。

入： MPEG 圧縮時に映像の輪郭部分に発生するモスキート（ちらつき）ノイズを低減します。

ブロック NR：

切： この機能は働きません。

入： MPEG 圧縮時に動きの激しい映像で画面の一部がブロック状にみえるノイズ（ブロックノイズ）を低減します。

DNR とは、Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション） の略です。

お知らせ

- ディスクや場面によって、DNR 効果がわかりにくいことがあります。
- 設定を「入」にしたときに、場面によっては、細かな画像が見えにくくなることがあります。
- 設定を「入」にしたときに、ディスクや場面によっては残像が発生したり、輪郭部のノイズが増加することがあります。このときは設定を「切」にしてください。
- HDMI 出力時、TS 録画したタイトルの再生時には、この機能は働きません。
- デジタルチューナー出力からの映像にはこの設定は無効となります。

音声出力設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
出力される音声の種類については126 ページをご覧ください。

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、AAC のデコーダを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS、AAC で記録されたディスクを再生すると、それらのビットストリーム音声を出力します。

アナログ 2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。

PCM：
2ch デジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、AAC で記録されたディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

バーチャルサラウンド設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

二つのスピーカーだけでも奥行きや広がりのある音響効果で再生できます。

切：
バーチャルサラウンド効果は働きません。

入：
バーチャルサラウンド効果が働きます。

お知らせ
- デジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）したタイトルでは、この機能は働きません。
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- ビットストリーム／ PCM 光または同軸端子でアンプなどに接続している場合は、音声出力設定が PCM のときだけこの機能が働きます。
- この機能が働くと音量が変わったように感じることがあります。
- この機能が働くと、ドルビープロロジックサラウンドが働かないかまたは通常と違って聞こえることがあります。
- 音声が歪む場合、バーチャルサラウンド設定を「切」にしてください。

ワンタッチスキップ設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

「ワンタッチスキップ」を押したときにスキップする幅を選びます。

5 秒：10 秒：30 秒：5 分

ワンタッチリプレイ設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

「ワンタッチリプレイ」を押したときに戻る幅を選びます。

5 秒：10 秒：30 秒：5 分

HDD/RAM タイトル再生設定

HDD	DVD-RAM

最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させるかどうかを選びます。

タイトル毎レジューム：
最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させ、次回はそこから再生をはじめられます。

タイトル連続再生：
内蔵 HDD または DVD-RAM それぞれの中にあるタイトル（オリジナル、プレイリスト）を通して再生できます。タイトルの壁がないので停止位置は最後の一箇所を記憶します。
タイトルごとのレジュームはなくなり、内蔵 HDD、DVD-RAM それぞれに一つずつになります。

スチル集再生速度

DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-R (VRモード)

静止画集を再生するときの、静止画 1 枚あたりの表示時間を設定します。

1 秒：2 秒：3 秒：5 秒：10 秒：ディスク指定値

録画機能設定

録画・画質 / 音質設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

録画するときの画質と音質を組み合わせて（5 とおりまで）、録画先ごとにあらかじめ決めておけます。
デジタル放送を HDD に録画する場合は「TS」画質（32 ページ）を選択することができます。
ここでの設定が、通常録画、および録画予約時の初期値として使われます。

例



画質・音質の組合せを作る（お好み設定）

1) **方向キーで、項目（「モード」、「レート」、「音質」）を選ぶ**

2) **「値変更」ジョグダイヤルで設定を変える**

画質・音質の組合せを使う

1) **方向キーで、録画先を選ぶ**

・HDD への録画：デジタル放送（内部チューナー）、アナログ放送＋外部入力
・DVD への録画

2) **「値変更」ジョグダイヤルで「お好み設定」の設定 No. を選ぶ**

選んだ設定で録画できる時間の目安は、画面下部で確認できます。

3) **「決定」を押す**

お知らせ

- 組合せは「HDD への録画（2 種類）」、「DVD への録画」それぞれ別個に設定されます。
- 組合せの変更は、停止中、「レート変換ダビング」（94 ページ）設定中、または「ライブラリ」画面の「クイックメニュー」の「DVD 全ディスク残量」の「クイックメニュー」からでもできます。いずれからの変更でも、本機の設定が更新されます。
- 「SP」「LP」に設定すると「L-PCM」は選べません。
- 音質設定によって、画質設定のレートの上限が異なります。
- 画質のマニュアルレートは、1.0 から 9.2 の間で 0.2 刻みで設定できます。（1.0 から 1.4、1.4 から 2.0 の間は設定できません。）

録画映像効果設定

録画映像モード

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

内蔵地上アナログチューナーやライン入力からの映像信号の明るさを調整します。
（本機の「再生機能設定」の「映像調整」（111 ページ）で調整しきれない場合に使用してください。）

お願い

この設定は録画される映像信号に影響し、録画後に設定を変更しても録画済みの映像は元に戻りませんのでご注意ください。
ビデオテープからダビングするときなど、事前に画像の記録状態が確認できる場合は、まずしばらく再生して明るさの全体的な傾向を確認し、その上で設定されることをお勧めします。

標準：
本機で受信した信号や外部入力からの信号の明るさを、自動的に調整して記録します。通常はこの設定でご使用ください。

モード 1：
画面が明るすぎた場合に暗くして記録します。

モード 2、3、4：
数字が大きくなるにしたがって徐々に明るくなります。明るさの調整にご使用ください。

録画 DNR

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

内蔵地上アナログチューナーや映像入力（黄）端子からのノイズの多い映像からノイズを低減する 3 次元デジタルノイズリダクションのレベルを、映像に合わせて選びます。

切：3 次元デジタルノイズリダクションは働きません。

弱：効果が弱く働きます。

強：効果が強まります。

お知らせ

- 残像やちらつきが気になる場合は「切」にしてください。
- 「3 次元 Y/C 分離」が「入」のときは、録画 DNR 機能は働きません。

3次元Y／C分離

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

録画時に働く 3 次元デジタルフィルターによる Y/C（輝度／色）分離で、絵柄の上下境界で目立つ点状のちらつきや、こまかい絵柄で発生する色のちらつきを低減させます。

切：
この機能は働きません。
電波の受信状態が悪い地域での受信映像や残像が気になる場合にはこちらに設定します。

入：
この機能が働きます。
通常はこの状態に設定してください。

お知らせ
- 「3 次元 Y/C 分離」は、内蔵地上アナログチューナーや映像入力（黄）端子からの信号のときにしか働きません。S 端子および D 端子入力のときには、「3 次元 Y/C 分離」を切り換えても変化はありません。

録音入力レベル

HDD DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画時の音声入力レベルを設定します。
方向キー（▲/▼）で、設定する項目を選び、方向キー（◀/▶）で入力レベルを設定します。

地上アナログ（L）：地上アナログチューナーの左チャンネル
（R）：地上アナログチューナーの右チャンネル
入力 1（L）：外部入力端子の左チャンネル
（R）：外部入力端子の右チャンネル
入力 2（L）：外部入力端子の左チャンネル
（R）：外部入力端子の右チャンネル
入力 3（L）：外部入力端子の左チャンネル
（R）：外部入力端子の右チャンネル

ライン音声選択

HDD DVD-RAM DVD-RW DVD-R

本機に接続している外部機器から録画するときに音声を設定します。

ステレオ：
ステレオで記録します。

L：
左チャンネルの音声だけを記録します。

R：
右チャンネルの音声だけを記録します。

主＋副：
HDD、DVD-RAM や DVD-R/RW（VR モード）に録画する場合、二カ国語放送などを二重音声で録画するときに選択します。

DVD-RW 記録モード設定

DVD-RW

DVD-RW をフォーマットするときの録画モードを設定します。

Video モード：
Video モードでフォーマットされます。

VR モード：
VR モードでフォーマットされます。

Video モード記録時設定

HDD DVD-RAM DVD-RW DVD-R

DVD 互換モード

録画するときに、DVD-Video 規格に記録できるようなかたち（映像や音声などの情報）で録画をするかどうかを設定します。

切：
DVD-Video 作成を前提としません。画質・音質の設定によっては DVD-Video 作成ができない場合もあります。
入（主音声）：
DVD-R/RW（Video モード）に記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の主音声だけを左右のチャンネルに記録します。
入（副音声）：
DVD-R/RW（Video モード）に記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の副音声だけを左右のチャンネルに記録します。

お知らせ
- DVD-R/RW（Video モード）に直接録画するときは、「切」に設定されている場合でも「入（主音声）」で録画されます。
- 画質のマニュアルレートが 3.0 から 3.8 のときは、「入」に設定すると、「切」の場合よりも画質が下がる場合があります。
- 「クイックメニュー」からも DVD 互換モードが設定できます。
- DVD 互換モードは、HDD、DVD-RAM に録画したタイトルを DVD-R/RW にダビングや DVD-Video 作成する際に必要となる設定です
- 録画後に DVD 互換モードを「入」にして高速ライブラリダビングしても効果はありません。
- デジタル放送では、録画時と同じ音声出力となります。

画面比

DVD-R/RW 録画・ダビング時の画面比を設定します。
4：3 固定
アスペクト比を 4：3 で固定します。
16：9 固定
アスペクト比を 16：9 で固定します。

お知らせ
- 録画・画質設定がレート 1.4Mbps 以下に設定されているときは、本設定を 16：9 固定に設定している場合でも自動的に 4：3 固定で録画されます。

チャプター分割

DVD-R/RW に Video モードで録画時に、指示した間隔で自動的にチャプター分割するかどうかを選びます。
切：
チャプター分割を設定しません。
5 分、10 分、15 分、20 分：
チャプター分割の間隔を 4 種類（5 分、10 分、15 分、20 分）のうちから選びます。

✎お知らせ
- チャプター数が上限に達したときは、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態によって変わります。

リリーフ録画

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

予約録画が設定した画質・音質でDVD側の残量にはいりきらないとき、自動的に内蔵HDDに録画するかどうかを選びます。

切：
この機能は働きません。

入：
この機能が働きます。

✎お知らせ
- レート変換ダビングではリリーフ録画は動作しません。
- A2録画予約の場合、「リリーフ録画」が「切」でも内蔵HDDに録画します。
- DVD残量よりも内蔵HDDの残量が少ないときはリリーフ録画しません。

録画のりしろ初期設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

「録るナビ」予約画面で、予約録画の前後をそれぞれ5秒間増やして録画する設定（録画のりしろ設定➡操作ガイド13ページ）の初期値を選びます。

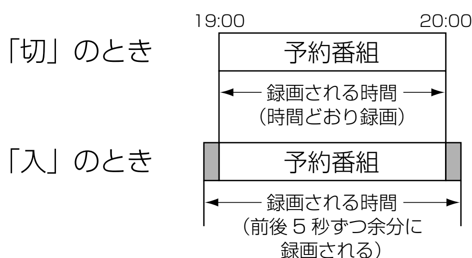
デジタル放送は、地域によっては最大4秒の映像の遅れが発生することがあります。この設定をすることで、映像の遅れが発生しても録画が欠けないように対応することができます。

切：予約にのりしろはつきません。

入：予約にのりしろがつきます。

（例）

録画のりしろ設定



タイトルサムネイル設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。

0秒：3秒：10秒：35秒：1分：5分

✎お知らせ
- サムネイルは他の場面にも変更できます。➡操作ガイド50ページをご覧ください。

管理設定

カギ付きフォルダ設定

カギ付きフォルダを使う、使わないを設定します。
➡操作ガイド59ページをご覧ください。

ジャンル設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

よく使うジャンル名をメニューに登録しておけます。ここで登録したジャンル名が、クイックメニューの「ジャンル変更」に表示されます。

1) **方向キー（▲/▼）で「設定1」～「設定10」から変更したい項目を選び、「決定」を押す**
ジャンルグループの選択画面が表示されます。

2) **方向キー（◀/▶）で登録したいジャンルを含むグループを選び、「決定」を押す**
ジャンル名の選択項目に移動します。

3) **方向キーでジャンル名を選び、「決定」を押す**
選んだジャンルが選んだ項目の場所に設定されます。

4) **1）～3）をくり返してジャンル名を登録する**

5) **登録が終わったら、「戻る」を押して「管理設定」のメニューに戻る**

HDD／ディスク管理

HDD初期化（番組表／ライブラリ保持）

HDD

内蔵HDD内のタイトルを全部一度に削除します。
録画内容だけが削除されますので、DVD-RAMのライブラリ情報や番組表はそのまま残り、引き続き利用できます。

1) **方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

2) **メッセージを確認し、方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

削除が始まります。

削除しないときは、「いいえ」を選びます。

お知らせ

- 定期的に「HDD初期化（番組表／ライブラリ保持）」をすると、断片化（ディスクの複雑化）が改善されるため、快適にご使用になれます。
- カギ付きフォルダ内のタイトルも削除されます。

HDD 初期化（全削除）

HDD

内蔵 HDD を初期化します。
内蔵 HDD は通常初期化する必要はありませんが、HDD 自身が何らかのトラブルで正常に使用できなくなった場合は、初期化をすることで元どおり使用可能になる場合があります。ただし、HDD を初期化すると、中に録画してあるタイトルと、それまでのライブラリ情報や番組表がすべて消去されます。

1) **方向キー（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」を押す**

2) **メッセージを確認し、方向キー（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」を押す**

初期化が開始されます。

初期化しないときは、「中止」を選びます。

お知らせ

「HDD 初期化（全削除）」を実行すると、カギ付きフォルダ設定は「切」となり、暗証番号も解除されます。

DVD-RAM 物理フォーマット

DVD-RAM

DVD-RAM の物理フォーマットを実行します。
➡ 39 ページをご覧ください。

HDD 記録領域設定

内蔵 HDD の TS 録画（TS 画質で録画）用の記憶領域とその他の録画の記憶領域の確保をする比率を設定します。
詳しくは➡操作ガイド 10 ページをご覧ください。

省エネ設定

待機時省エネ設定

待受状態の本体表示を設定します。

切：
点灯します。

セーブ：
待機時に自動的に消灯します。

HDD パワーモード

無操作時の内蔵 HDD の回転を、一定時間経過後に自動的に止める省電力機能です。

標準：
HDD パワーモードの設定をしません。

セーブ：
約 5 分以上にわたって、内蔵 HDD に何もアクセスがないときに、内蔵 HDD の回転を止めます。（省電力モード）
内蔵 HDD が停止している状態では、HDD 側の再生ボタンや録画ボタンを押してから実際の動作が開始するまでの時間が少し長くかかります。

ソフトウェアのダウンロード

放送からの自動ダウンロード

この設定をすることによって、デジタル放送の放送局から送信される自動ダウンロード用のソフトウェアを自動的にダウンロードすることができます。
➡操作ガイド 136 ページをご覧ください。

サーバーからのダウンロード開始

東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。
➡操作ガイド 136 ページをご覧ください。

ソフトウェアバージョン

現在の本機のソフトウェアのバージョンが表示されます。
➡操作ガイド 136 ページをご覧ください。

デジタル放送のお知らせ

放送局からのお知らせ

放送局から送られてくるお知らせを表示します。地上デジタル放送で 7 通まで、BS デジタル／ 110 度 CS デジタル放送で 24 通まで表示が可能です。表示数の上限を超えた場合は日付の古いものから削除されます。（未読のものも削除されます。）

本機に関するお知らせ

本機に関する情報（録画予約の失敗など）を表示します。表示数の上限を超えた場合は日付の古いものから削除されます。（未読のものも削除されます。）



ボード

110 度 CS デジタル放送のご案内やお知らせを表示します。110 度 CS デジタル放送のそれぞれに対し、現在送信されているものが 50 通まで表示されます。

設定を出荷時に戻す

時刻設定の日付・時刻、リモコンモード、HDD 記録領域設定などを除いた各種設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
この操作を行なうには暗証番号の入力が必要になります。

通信設定

通信接続設定

通信接続方法選択

番組によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合にダイヤルアップ通信を行うようにするかどうかを設定します。
詳しくは⇨接続・設定編 99 ページをご覧ください。

イーサネット設定

⇨接続・設定編 97 ページをご覧ください。

Bluetooth 設定

⇨接続・設定編 83 ページをご覧ください。

チャンネル／入力設定

地上アナログ設定

⇨接続・設定編 36 ページをご覧ください。

デジタル放送設定

⇨接続・設定編 42 ページ～をご覧ください。

BS・110 度 CS アンテナ電源設定

⇨接続・設定編 63 ページをご覧ください。

ライン入力名設定

本機に接続している外部機器に合わせて機器名の表示を設定します。設定した機器名は録るナビの「CH」などに表示されます。

L1：入力 1 に接続した外部機器名を設定します。

L2：入力 2 に接続した外部機器名を設定します。

L3：入力 3 に接続した外部機器名を設定します。

- 設定無し：DTV：CS：110CS：BS-A：BS-D：地上 D：CATV：VTR1：VTR2：VTR3：LD：CAM：ゲームからそれぞれ選択します。

スカパー！連動設定

本機にスカパー！チューナーを接続してお使いになるときに設定します。
⇨接続・設定編 21、75 ページをご覧ください。

その他

困ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。
ネット de ナビなどのネット機能に関しては⇨操作ガイド 138 ページをご覧ください。

このようなとき	ここをお調べください
電源	
■電源がはいらない	• 電源プラグが抜けていませんか。 →電源プラグをしっかり差し込んでください。
テレビの接続	
■テレビの映像が出ない	• 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、または抜けかけていませんか。 →本機とテレビとのコードをしっかり差し直してください。 • テレビ側の入力切換が間違っていませんか。 →本機と接続している入力端子にテレビの入力切換を合わせてください。 • D3出力に設定している場合、映像出力(黄)端子、S端子からは映像が出力されません。 →「D端子出力切換」(⇨接続・設定編20ページ)を押して、出力を切り換えてください。 • HDMI出力設定時は、映像出力(黄)端子、S端子、コンポーネント端子、D端子からは映像が出力されません。 →表示窓に"HDMI"の表示がある場合は、「D端子/HDMI」を押してHDMI出力を解除してください。(⇨接続・設定編19ページ)
テレビの受信	
■テレビが映らない	• アンテナ線がはずれている、またははずれかけていませんか。 →アンテナ線をしっかり差し直してください。
■テレビがきれいに映らない	• チャンネルの設定またはチャンネルの調整がずれていませんか。 →チャンネルの設定またはチャンネル微調整を再設定してください。(⇨接続・設定編38ページ～) • 電波が弱くありませんか。 →アンテナの設置方向を調整するか、市販のアンテナブースターを使用してください。
デジタル放送全般	
■デジタル放送だけ映らない/映りが悪い	• 電波の種類(BS、110度CS、地上デジタル)に適合したアンテナを使用していますか。 →⇨接続・設定編15ページをご覧ください。 • アンテナ線がはずれている、またははずれかけていませんか。 →アンテナ線をしっかり差し直してください。 • アンテナの向きがずれていませんか。 →アンテナの向きを調整してください。 • B-CASカードが正しく挿入されていますか。 →⇨接続・設定編52ページをご覧ください。 • 積雪や豪雨、雷などで電波が弱くなっていませんか。 →気象状況が改善されるまでお待ちください。降雨対応放送の場合、映像の品質は通常に比べて悪くなります。
■未読の「お知らせ」がなくなっている	•「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は削除されることがあります。(詳しくは⇨117ページをご覧ください。) •「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。 •「設定を出荷時に戻す」を行なうと、お知らせの内容は削除されます。
■有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →⇨接続・設定編52ページをご覧ください。
■特定のチャンネルの映像や音声がでない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか。 →デジタル放送に対応したアンテナケーブルなどをご使用ください。 • 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 →デジタル放送に対応したアンテナケーブルなどをご使用ください。

このようなとき	ここをお調べください
■引越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか？ →「郵便番号と地域の設定」（接続・設定編72ページ）を行なってください。
■暗証番号を忘れてしまった （パレンタルロック・カギ付きフォルダ以外）	• 暗証番号を忘れた場合の消去は有償になります。 暗証番号を忘れた場合は、「RDシリーズサポートダイヤル（147ページ）」にご連絡ください。
地上デジタル放送の受信など	
■地上デジタル放送が受信できない	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。 →接続・設定編15ページをご覧ください。 • アンテナの方向は正しいですか。 →アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。（接続・設定編61ページ） • B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →接続・設定編52ページをご覧ください。 • 初期スキャンを行ないましたか。 →接続・設定編42ページをご覧ください。 • 放送は行なわれていますか。 →地上デジタル放送が行なわれているかを、もよりの放送局にお問い合わせください。 • 共聴システムご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応(パススルー方式)になっていますか。 →CATVの場合は、ご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問合せください。
■引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 県外に引っ越した場合は、「初期スキャン」（接続・設定編42ページ）を行なってください。 • 県内で引っ越した場合は、「再スキャン」（接続・設定編44ページ）を行なってください。 • 上の「地上デジタル放送が受信できない」をご確認ください。
■地上Dアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	• 「再スキャン」（接続・設定編44ページ）を行なってください。
■イーサネット通信ができない （LAN端子を使った双方向サービスができない）	• LAN端子は正しく接続されていますか。 →接続・設定編26ページをご覧ください。
■ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。 →接続・設定編23ページをご覧ください。 • 「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定していますか。 →接続・設定編99ページをご覧ください。
■通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎる場合、通信速度が遅くなることがあります。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。（データ量が多い場合など） • イーサネット通信の場合、通信環境によるもの（ADSLの場合、電話局から遠いなど）ではありませんか。 • 回線が混んでいると、通信速度が遅くなることがあります。

このようなとき	ここをお調べください
再生	
■DVDやCDの再生ができない	• 記録されているフォーマットが未対応、または、本機で再生できるリージョン番号でないディスクではないですか。 →ディスクを確認する。 • ディスクによごれまたは傷が付いていませんか。 →ディスクのよごれを取る、または交換する。 • 内蔵HDDモードになっていませんか。 →「DVD」ボタンを押す。
■内蔵HDDが再生できない	• DVDモードになっていませんか。 →「HDD」ボタンを押す。
■再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	• 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 －元の映像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合 －天候などによって、受信状態が悪化した状態での録画の場合 －画像レート設定が低い状態での録画の場合 －画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 －ディスク上の物理エラーによる場合 （なお、内蔵HDDの寿命によって大量に発生する場合は内蔵HDDの交換が必要です。販売店または「東芝家電修理ご相談センター」にご相談ください。） 再生でディスクからデータを読み出すときにエラーが発生すると、その部分でブロック状のノイズ（ブロックノイズ）が発生する場合があります。 この現象は、エラーが発生した部分を何度もくり返して読み出す（リトライ）と起こりにくくなりますが、そのかわりに再生が途中で遅くなったりとまったりする可能性が高くなるので、本機ではエラー発生時の読み直し回数を制限して、そのときの再生が遅れたり止まったりしないようにしています。
録画	
■DVD-RAMに録画ができない	• ディスクに誤消去防止がされていませんか。 →ディスクのライトプロテクトタブを「PROTECT」の反対側にしてください。（➡30ページ） • ディスクにソフトプロテクトが設定されていませんか。 →ディスクのソフトプロテクトを解除してください。（➡操作ガイド122ページ） • パソコンやDVDレコーダーでディスクにプロテクトがかけられていませんか。 →設定した機器でプロテクトを解除してください。 • ディスクの空き容量が足りなくなっていませんか。 →不要な部分を消去するか（➡71ページ）、または新たなディスクを準備してください。 • ディスクの初期化をすると、問題が解決される場合があります。 →ディスクを初期化する（➡38ページ） →DVD-RAM物理フォーマットをする（➡39ページ）
■内蔵HDDに録画ができない	• DVDモードになっていませんか。 →「HDD」ボタンを押してください。 • 内蔵HDDの空き容量が足りなくなっていませんか。 →不要な部分を消去するか（➡71ページ）、またはDVD-RAMなどに移動してください（➡90ページ）。 →「設定メニュー」「管理設定」の「HDD記録領域設定」で内蔵HDD内の容量の設定を変更することで、空き容量が増やせる場合もあります。（➡操作ガイド10ページ） • 停電などでディスクに保護がかかっていませんか。 →必要な部分をDVD-RAMなどにコピー後、HDDの初期化（全削除）をしてください。

このようなとき	ここをお調べください
■DVD-R/RW（VRモード）に録画ができない	• ディスクにソフトプロテクトが設定されていませんか。 →ディスクのソフトプロテクトを解除してください。（⇨操作ガイド122ページ） • パソコンや他社機でディスクにプロテクトがかけられていませんか。 →設定した機器でプロテクトを解除してください。（DVD-RWの場合） • ディスクの空き容量が足りなくなっていませんか。 →不要な部分を消去するか（DVD-RWの場合）（⇨71ページ）、または新たなディスクを準備してください。 • ディスクの初期化をすると、問題が解決される場合があります。（DVD-RWの場合） →ディスクを初期化する（⇨38ページ）
予約	
■録画予約ができない	• 時計の時刻設定はしていますか。 →時刻設定をしてください（⇨接続・設定編31ページ） • 予約内容がいっぱいになっていませんか。 →不要な予約を取り消してください（⇨61ページ）
■Gコード予約が正しく働かない	• 地域番号またはガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 →⇨接続・設定編36ページ～ • 本機では、地上アナログ放送の番組でだけ、Gコード予約ができます。
リモコン	
■リモコンがきかない	• リモコンの電池が消耗していませんか。 →電池を交換してください。（⇨接続・設定編30ページ） • リモコンが受光部に向けられていない。 →リモコン送信部を本機受光部に向けて操作してください。 • リモコンと受光部が遠すぎる。 →約7m以内のところで操作してください。 • リモコンと受光部の間に障害物がある。 →障害物を取り除いてください。 • リモコンモードが合っていない。 →本機とリモコンのリモコンモードを合わせてください。（⇨接続・設定編79ページ） • 本機がリモコンオフモードになっている。 →リモコンオフモードを解除してください。（⇨接続・設定編82ページ） • TV/DVDスイッチが「TV」になっている。 →「DVD」側にしてから操作してください。
時計	
■時計表示が「0:00」で点滅している	• 販売店または「東芝家電修理ご相談センター」にご連絡ください。
その他	
■本機が操作中に止まってしまい、15分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった	• 本体の「ON/STANDBY」を約10秒間押し続けると、強制的に電源を切ることができます。ただし、非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用されるときは、十分注意していただくとともに、頻繁に行なわないでください。正常な動作中、特に「読込み中」、「処理中」のアイコンの表示中などに行なうと、ディスクを初期化しなければならなくなる場合があります。

■ アフターサービスをご依頼になる前に

本機を修理に出す前には、内蔵 HDD の内容とライブラリ情報を DVD-RAM にダビングし、バックアップしてください。修理の際に内蔵 HDD の記録内容が消える場合があります。内蔵 HDD が異常になった場合でも、再生できるものはダビングしてください。修理の依頼をされるときは、付属の診断カルテへの記入をお願いします。なお、破損・消失した記録内容の復旧はできませんので、あらかじめご了承ください。

本体表示窓のエラー表示

メッセージ画面表示と同時に本体表示窓にもエラーの表示が出ます。
以下の表は、エラー表示の一部です。
「ERR－＊＊」で、＊＊の部分にエラーコードが表示されます。エラーの内容を確認してください。この表示を消すには、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

エラー表示	エラーの内容	
ERR−01	物理フォーマットエラー	
ERR−05	ソフトウェアダウンロード失敗	
ERR−10	容量オーバー	・DVD-Video作成時
ERR−11	タイトル数オーバー	
ERR−12	チャプター数オーバー	
ERR−13	コピープロテクションエラー	
ERR−14	DVDエラー（メディアが不良で書けない）	
ERR−15	その他のエラー	
ERR−16	HDDエラー（メディアが不良で書けない）	
ERR−17	SIFはワイド禁止	
ERR−18	異なるアスペクトの混在	
ERR−19	異なる解像度の混在	
ERR−1A	異なるオーディオ属性の混在	
ERR−1B	無効な管理情報	
ERR−1C	当社製以外のビデオレコーダーで録画されたストリーム	
ERR−1D	「DVD互換モード」が「切」で録画されたストリーム	
ERR−1E	無効なビデオ	
ERR−1F	予期せぬエラー	
ERR−2E	メニュー作成中エラーまたはメニューエンコードエラー	・DVD-Video作成時 ・DVD-R/RWへの録画時 ・DVD-R/RWへのダビング時
ERR−2F	メニューサイズオーバー	
ERR−30	メニュー数の上限オーバー	
ERR−31	ドライブとメディアの相性によって、書込み修復を実施	
ERR−32	ディスクのフォーマットモードに互換性がない	・DVD-R/RWへの録画時
ERR−33	ディスクへの書込みが禁止されている	
ERR−34	書込み不可または管理情報エラー	
ERR−35	録画前空き容量チェックによるディスクオーバー	
ERR−36	録画失敗（タイトルは残らない）	
ERR−37	録画失敗（タイトルは残る）	
ERR−38	書込み失敗（タイトルは残らない）	
ERR−39	書込み失敗（タイトルは残る）	
ERR−3A	予期せぬエラー	
ERR−3B	EDID取得エラー	・HDMI端子使用時
ERR−3C	認証エラー	
ERR−3D	リボークエラー	
ERR−3E	リピーターエラー	
ER-7000	HDDにトラブルが発生している可能性があります。	

録画可能時間一覧表 (RD-Z1)

本一覧表は、工場出荷時の設定（HDD の TS 録画領域 30%、VR 録画領域 70%）での録画可能時間を表しています。
HDD 内の TS/VR 録画領域の割合を変更することができます。（➡操作ガイド 11 ページ）

■HDD（VR記録領域：初期設定値70%）

音質レート / 画質レート	DD D/M1(192kbps) HDD（VR） 時間	分	DD D/M1(192kbps) DVD-RAM 時間	分	DD D/M2(384kbps) HDD（VR） 時間	分	DD D/M2(384kbps) DVD-RAM 時間	分	L-PCM HDD（VR） 時間	分	L-PCM DVD-RAM 時間	分	備考
1.0	749	56	08	06	649	22	07	01	359	51	03	52	
1.4	566	19	06	07	507	02	05	28	311	24	03	21	
2.0	405	42	04	22	374	20	04	02	255	43	02	44	DD D/M2時のLPの画質モードです。
2.2	373	08	04	01	346	26	03	44	242	23	02	36	DD D/M1時のLPの画質モードです。
2.4	345	25	03	43	322	25	03	28	230	22	02	28	
2.6	321	31	03	27	301	30	03	14	219	30	02	21	
2.8	300	43	03	14	283	08	03	02	209	36	02	14	
3.0	282	27	03	02	266	53	02	52	200	33	02	08	
3.2	266	16	02	51	252	23	02	42	192	15	02	03	
3.4	251	51	02	42	239	24	02	34	184	37	01	58	
3.6	238	54	02	33	227	40	02	26	177	34	01	53	
3.8	227	13	02	26	217	02	02	19	171	02	01	49	
4.0	216	38	02	19	207	21	02	13	164	58	01	45	
4.2	206	59	02	13	198	30	02	07	159	18	01	41	
4.4	198	10	02	07	190	22	02	02	154	02	01	38	DD D/M2時のSPの画質モードです。
4.6	190	03	02	02	182	53	01	57	149	05	01	35	DD D/M1時のSPの画質モードです。
4.8	182	35	01	57	175	57	01	52	144	27	01	32	
5.0	175	41	01	52	169	32	01	48	140	06	01	29	
5.2	169	17	01	48	163	34	01	44	136	00	01	26	
5.4	163	20	01	44	158	00	01	41	132	08	01	24	
5.6	157	48	01	40	152	49	01	37	128	29	01	21	
5.8	152	37	01	37	147	57	01	34	125	01	01	19	
6.0	147	46	01	34	143	23	01	31	121	45	01	17	
6.2	143	12	01	31	139	05	01	28	118	38	01	15	
6.4	138	55	01	28	135	03	01	26	115	41	01	13	
6.6	134	54	01	26	131	14	01	23	112	52	01	11	
6.8	131	05	01	23	127	38	01	21	110	12	01	09	
7.0	127	29	01	21	124	13	01	19	107	39	01	08	
7.2	124	05	01	18	120	59	01	16	105	12	01	06	
7.4	120	51	01	16	117	55	01	14	102	53	01	05	
7.6	117	48	01	14	115	00	01	13	100	39	01	03	
7.8	114	53	01	12	112	13	01	11	98	31	01	02	
8.0	112	07	01	11	109	34	01	09	96	28	01	00	L-PCM時のマニュアル最高値です。
8.2	109	28	01	09	107	03	01	07					
8.4	106	57	01	07	104	38	01	06					
8.6	104	33	01	06	102	20	01	04					
8.8	102	15	01	04	100	08	01	03					
9.0	100	02	01	03	98	01	01	01					
9.2	97	56	01	01	95	59	01	00					マニュアルモードの上限値

■HDD（TS記録領域）

画質レート	HDD(TS：初期設定値30%) 時間	分	HDD(TS：100%の場合) 時間	分	備考
24.0	16	30	55	05	TS画質のレートは放送によります。

- 本一覧表は録画時間を保証するものではありません。
- 内蔵HDDおよびDVD-RAMを初期化状態で連続録画した場合（内蔵HDDでは9時間の録画をくり返した場合）の録画可能時間です。ディスクによって表示が若干ばらつくことがあります。
- 録画後の残量は、本一覧表に書かれた時間から録画時間を引いた時間にはなりません。
- 録画された映像や音声の状態によって、使用される容量は異なります。
- 録画後の内蔵HDDおよびDVD-RAMの残量は、本機の残量表示機能で確認できます。
- 録画できる最大タイトル数（HDD：792、DVD-RAM：99）を超えた場合は、上記の表に記載された時間まで録画できません。

DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。設定1として DD D /M1はDolby Digital 192Kbps、設定2として DD D /M2はDolby Digital 384Kbpsとなっています。

出力される音声の種類

ディスク	音声方式		設定画面での「音声出力設定」(➡ 112ページ)と出力端子					
			「ビットストリーム」		「アナログ 2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク*1	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	PCM	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*2	○	―	○	PCM*2	○
	DTS		ビットストリーム	―	ビットストリーム	―	―	―
	MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)	ビットストリーム	(ノイズ)
内蔵HDD	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○
DVD-RAM/R/RW	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
デジタル放送	AAC		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○

*1 DVD ビデオディスクには本機で作成した DVD-R/RW は含まれません。
上表で「(ノイズ)」の表示のある接続と設定はしないでください。
*2 ダウンサンプリング PCM

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS および DTS Digital Out は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

お知らせ

- DVD ビデオディスクを使用しているとき、ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたとき、およびディスクを交換したときは、設定(➡ 112 ページ)どおりの音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- ビットストリーム/ PCM 音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「音声出力設定」を「PCM」にしてください。
- 「DVD 互換モード」(➡ 114 ページ)を「入」にして録画したタイトルは、二カ国語の音声切換はできません。

言語コード表

記号	言語名
―――	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

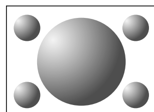
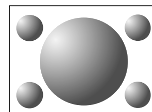
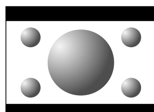
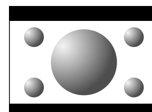
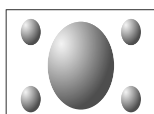
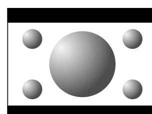
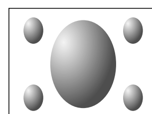
記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語

記号	言語名
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語

記号	言語名
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

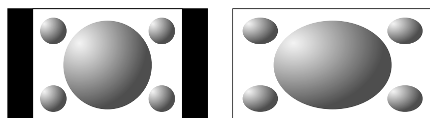
アスペクト比（画面比）について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4:3 放送とワイド放送(スクィーズ放送、レターボックス放送) があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

放送で送られてくる映像	4：3テレビで再生する場合
4：3放送（通常放送）  通常は4:3または「ノーマル」と呼ばれています。(地上波、BS アナログ、CATV、CS 放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送、地上デジタル放送)	 収録した映像をそのまま画面いっぱいに再生します。
ワイド放送（レターボックス放送）  ハイビジョンやワイドサイズで撮影した映像を、DVD や LD、一部のビデオソフトに編集する際に上下に黒い帯を入れることによってノートリミングで収録したものです。 (地上波、BS アナログ、CATV、CS 放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送、地上デジタル放送)	 放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、その状態でだけ再生できます。
ワイド放送（スクィーズ放送）  16:9のワイド映像を放送時に左右方向を縮めてほぼ4：3の比率で放送し、受信したワイドテレビ側で引き伸ばすことで16：9を復元します。（CATV、BSデジタル放送）	■「4：3LB」時（○） ■「16：9ワイド」時（×） スクィーズ記録された映像の場合、本機の初期設定の「TV 画面形状」の設定に応じて表示のしかたが変わります。「4：3LB」の場合、上下に黒い帯がはいるレターボックス状態となり、画面は正常な比率で表示されます。4：3 テレビの場合はこの設定にしてください。「16：9 ワイド」を選択しますと画面が縦長に見える状態となりますので、設定を「4：3LB」にしてください。設定が「4：3LB」にもかかわらず、画面が縦長につぶれたように見える場合、録画時に正しくスクィーズ信号が記録されていないことになります。S1 出力対応の外部チューナー端子から、本機の S1 対応の入力端子に接続されているかどうかご確認ください。

ワイドテレビで再生する場合

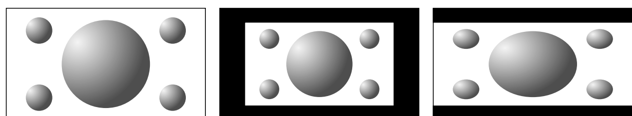
▼「ノーマル」時（○）　▼「フル」時（×）



＊

テレビの設定によって表示のしかたは変わりますが、「ノーマル」などで表示した場合、左右に黒い帯がはいった状態となり、「ワイド」などの設定の場合、左右が引き伸ばされたように表示されます。

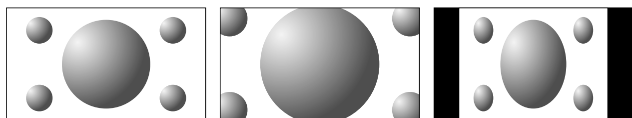
▼「ズーム」時（○）　▼「ノーマル」時（△）　▼「フル」時（×）



＊

「ズーム」などの設定にすることによって、上下左右の黒い部分を除いて拡大することで、正常かつ画面いっぱいのワイド映像を楽しむことができます。テレビ側の設定が「ノーマル」などの場合、放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、上下の黒い帯に加えてテレビ側が付加する左右の黒い部分が加わった状態となり、アスペクトは正常となります。テレビ側の設定が「フル」の場合、上下の帯はそのままにさらに左右に引き伸ばされた状態となります。

▼「フル」時（○）　▼「ズーム」時（×）　▼「ノーマル」時（×）



ほぼ4:3に縮めて収録した映像の左右方向だけをテレビ側の設定によって16:9に左右引き伸ばして再生します。テレビの設定は「フル」などの名称のものになっている必要があり、「ズーム」などの場合には、上下左右が欠けた映像になりますので、ご注意ください。「ノーマル」などの場合、左右につぶれた状態となり、さらに左右に黒がテレビによって追加されます。

■：本機側の設定　▼：テレビ側の設定

＊「TV画面形状」を「16：9シュリンク」（⇨接続・設定編34ページ）に設定し、再生した場合は、テレビ側で設定しなくてもこのような画面になります。

● アスペクト比（画面比）に関する注意点について

録画する際は、放送に含まれるスクィーズ情報に応じてGOPと呼ばれる約0.5秒単位ごとに4：3か16：9であるという区別を書き込んでいます。
デジタル放送などはスクィーズ放送が多数あり、一部チャンネルでは番組直前の宣伝と番組で4：3と16：9が切り換わることがあります。

VRモードで録画する場合、放送側でこの情報が切り換わっても、約0.5秒の単位内と続く約1秒は先に来た情報で記録され、実際の映像と異なる場合がありますが異なる画面比を混在して記録することができます。

DVD-R/RWのVideoモードでは、規格の制約によって、通常の4：3放送と16：9のスクィーズ放送が1タイトル内に混在することが許されません。（タイトルごとに異なるアスペクト比になることは問題ありません。）そのため、直接録画する場合は、録画する番組ごとにVideoモード記録時設定（画面比）を正しく設定する必要があります。

「DVD-Video 作成」をする場合は、「チャプター編集」画面内の「画面比」の項目を見ながら混在しないようにチャプターを分割してからパーツ登録をするか、「DVD-Video 作成」の「画面比設定」で「4：3固定」か「16：9固定」を設定してください。いずれの場合でも、通常の4：3放送で上下に黒い帯がはいる場合は、ワイドではなく、単なる4:3放送ですので、「16：9固定」に設定しないでください。

「フル」、「ズーム」、「ワイド」、「ノーマル」などのモードの呼びかたはテレビによって異なる場合があります。詳しくはお使いになるテレビの取扱説明書をご覧ください。

仕様

■ 動作時消費電力
68W（BS アンテナ供給時かつ USB 使用時 75W）

■ 待機時消費電力
3.0W（待機時省エネ設定：切）
1.4W（待機時省エネ設定：セーブ）

■ 電源
AC100V　50/60Hz

■ 質量
10.8kg

■ 外形寸法
幅 430 ×高さ 115 ×奥行 356mm
（突起含まず）

■ 受信チャンネル
地上アナログ：VHF（1〜12）、UHF（13〜62）、
CATV（C13〜63）
地上デジタル：VHF（1〜12）、UHF（13〜62）、
CATV（C13〜63）
BSデジタル：BS000〜BS999、
110度CSデジタル：CS000〜CS999

■ アンテナ入出力端子
VHF/UHF：75Ω　F 型コネクター

■ BS・110 度 CS アンテナ入出力端子
75Ω　F 型コネクター、
入力端子（最大 DC15V、4W）

■ 地上デジタル入出力端子
75Ω　F 型コネクター

■ 信号方式
NTSC カラーテレビジョン方式

■ 使用レーザー
半導体レーザー　波長 650nm/780nm

■ フォーマット
DVD-VR 規格 /DVD-Video 規格

■ 録画方式
MPEG2

■ 録音方式
ドルビーデジタル M1 ／ M2、リニア PCM、AAC

■ 録画使用ディスク
DVD-RAM ディスク
（片面：4.7GB ／両面：9.4GB）*
DVD-R ／ RW ディスク
（片面：4.7GB）*

■ 内蔵 HDD 容量
600GB*

■ 映像入力
1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 3 系統、背面 2、前面 1

■ 映像出力
1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 2 系統、背面 3

■ S1 映像入力
（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 3 系統、背面 2、前面 1

■ S1 映像出力
（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 2 系統、背面 3

■ コンポーネント映像出力（Y、C_B、C_R）
Y 出力 1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、
BNC ジャック× 1 系統
C_B、C_R 出力 0.7V（p-p）（75Ω）、
BNC ジャック×各 1 系統

■ D1 端子入力
14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　入力信号 D1
Y 入力 1.0V（p-p）（75Ω）
C_B 入力 0.7V（p-p）（75Ω）
C_R 入力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ D1/D2/D3 端子出力
14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　出力信号 D1/D2/D3
Y 出力 1.0V（p-p）（75Ω）
C_B 出力 0.7V（p-p）（75Ω）
C_R 出力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ 音声入力
2.0V（rms）、入力インピーダンス 22KΩ 以上、
ピンジャック（L、R）× 3 系統
背面 2、前面 1

■ 音声出力
2.0V（rms）、出力インピーダンス 2.2KΩ 以下、
ピンジャック（L、R）× 3 系統
背面 3

■ 音声出力（ビットストリーム／ PCM 端子）
光コネクター× 1 系統
同軸ピンジャック× 1 系統　0.5V（p-p）、75Ω

●ディスク容量に関して
・HDD、DVD-RAM/DVD-RW/DVD-R の容量は 1GB=10億バイト、として計算しています。
・実際に記録できる容量は、ファイル管理システムや製品固有の管理領域等の使用によって、物理的な容量より少なくなります。

■ スカパー連動（CS データ）端子
CS データコネクター× 1 系統

■ DV 入力
4 ピン× 1 系統、前面 1
（IEEE1394 準拠）

■ LAN ポート（LAN 端子）
100BASE-TX/10BASE-T × 1

■ i.LINK（TS）端子
4 ピン× 1 系統、背面 1
（IEEE1394 準拠）

■ HDMI 出力端子
19 ピン、背面 1

■ 電話回線接続端子
背面 1
モジュラージャック方式

■ リモコン
ワイヤレスリモコン
SE-R0150

■ 使用条件
温度：5℃ ～ 35℃、動作姿勢：水平

■ 時計表示
24 時間デジタル表示

■ 時間精度
クォーツ方式（月差約± 30 秒程度）

- 意匠、仕様、ソフトウェアなどは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

索引

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下､「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。
ホームページアドレス http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/contact
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお､「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし､「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので､適用法令の範囲内で､当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで､当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文（英文）**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kemel, busybox	Exhibit A
glibc, gcc	Exhibit B
OpenSSL	Exhibit C
ppxp	Exhibit D
pMON	その他

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

ExhibitA

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.
(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. Toachieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely welldefined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License.

Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

E x h i b i t C

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by

Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ExhibitD

●利用と配布

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します：

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。
このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい：

この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責

PPxP 開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

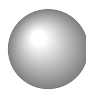
●意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

●本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

※この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

※この製品には OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。



インフォメーション

本機に関する取扱い方法などのお問い合わせ

『RDシリーズサポートダイヤル』

0570-00-0233

電話受付：月～金　10：00～18：00
（12：30～13：30は休止、年末年始、祝日等を除く）
※FOMA・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、番組データ提供に関する情報、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。

『http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/』

本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されておりますので、東芝ホームページをご覧いただくことをお勧めいたします。

ホームページ：http://www.toshiba.co.jp/　または　http://www.rd-style.com/

B-CAS カード ID 番号記入欄

●下欄に B-CAS カードの ID 番号をご記入ください。
・お問い合わせの際に役立ちます。

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、HDD＆DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	HDD&DVDビデオレコーダー
形名	RD-Z1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トーシバ ヨイ）
電話受付：365日・24時間受付

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）
044-543-0220（通話料がかかります）
西日本地区（上記以外）　06-6440-4411（通話料がかかります）

新製品などの商品選びのご相談
（操作に関するご質問は本取扱説明書「インフォメーション」に記載のRDシリーズサポートダイヤルにお問い合わせ願います。）

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755
（通話料がかかります）
（PHS・FOMAなど一部の電話ではご利用になれません）
月～土 10：00～20：00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）
日曜日・祝日 10：00～16：00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHS など一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。



古紙配合率70%再生紙を使用しています

79101171
ⒽPM0019089013